

平成31年度
(2019年度)

入学者選抜要項



平成30年7月

国立大学法人 琉球大学

問 い 合 わ せ 先 一 覧

事 項	問 い 合 わ せ 先	電 話 番 号
大学入試センター試験に関すること	大学入試センター 事業第一課	03-3465-8600
個別学力検査等に関すること	学生部入試課	098-895-8141 098-895-8142
	人文社会学部学務係	098-895-9056
	国際地域創造学部学務係	098-895-8184
	教育学部学務係	098-895-8317
	理学部学務係	098-895-8595
	医学部学務課入試・学事係	098-895-1032
	工学部学務係	098-895-8583
	農学部学務係	098-895-8738
入学者選抜に関する統計資料 ・志願者数及び志願倍率等 ・合格者の最高点、最低点、平均点 ・過去の試験問題	○本学ホームページ http://www.u-ryukyu.ac.jp → [入試情報]	
入学料、授業料の <u>納付</u> に関すること	財務部経理課収入・支出係	098-895-8058
入学料、授業料の <u>免除</u> に関すること	学生部学生支援課学生援護係	098-895-8135
奨学金に関すること	学生部学生支援課奨学係	098-895-8136
学生寮（千原寮）に関すること	学寮事務室	098-895-8101 098-895-8133
受験時の合理的配慮等に関すること	障がい学生支援室	098-895-8750

※お問い合わせ対応時間：月曜日～金曜日（休日を除く）午前8時30分～午後5時15分

※お問い合わせは、原則として志願者本人が行ってください。

琉球大学の入試情報やイベント情報などが携帯電話で閲覧できます。



入試情報ケータイサイト
<http://daigakuic.jp/u-ryukyu/>

目 次

○インターネット出願について	Web 1
○琉球大学入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	A P 1
1. 平成31年度琉球大学入学者選抜日程の概要	1
2. 募集人員	3
○「2. 募集人員」の留意事項	5
3. 出願資格	8
4. 入学者選抜の概要	8
5. 平成31年度入学者選抜方法等	10
（1）入学者選抜方法等	
（一般入試，専門高校・総合学科卒業生入試，アドミッション・オフィス入試）	10
（2）特別入試等の概要	12
6. 平成31年度入学者選抜の実施教科・科目等（一般入試）	14
○「6. 平成31年度入学者選抜の実施教科・科目等（一般入試）」の読み方・留意事項	14
平成31年度入学者選抜の実施教科・科目等（一般入試）	16
7. 実技検査等実施方法（教育学部）	42
8. AO入試（アドミッション・オフィス入試）	44
9. 推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない）	46
○「英語重視」	49
10. 推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す）	51
11. 社会人特別入試	72
12. 帰国子女特別入試	74
13. 私費外国人留学生入試	78
14. 出願に関する第2志望の取扱い（理学部数理科学科，物質地球科学科，海洋自然科学科化学系）	80
15. 人文社会学部のプログラムの配属等について	81
16. 国際地域創造学部のプログラムの配属等について	81
17. 教育学部の専修の決定方法等について	82
18. 工学部の選抜方法等について	82
19. 2段階選抜（医学部医学科）	83
20. 欠員補充	83
21. 受験時における合理的配慮等について	83

2 2. 入試情報開示に関する事項	8 4
(1) 個別学力検査等の採点・評価基準	8 4
(2) 合否判定基準	9 4
(3) 入学試験問題及び解答例又は出題意図等	9 9
(4) 合格者の成績（合格者の最高点，最低点，平均点）	9 9
(5) 試験成績開示	9 9
(6) 調査書開示	9 9
2 3. 学生募集要項等の発表時期等について	1 0 0
(1) 学生募集要項等の発表時期	1 0 0
(2) 「大学案内」の請求方法	1 0 0
～《テレメール》での請求（郵便配達を利用する場合）～	1 0 0
～《モバっちょ》での請求（宅配を利用する場合）～	1 0 1
○琉球大学案内図	表紙ウラ

○インターネット出願について

琉球大学では、平成31年度学部入試（平成30年度実施）から、インターネット出願を開始します。

このことに伴い、従来の冊子の学生募集要項の発行は廃止します。学生募集要項はインターネット上で確認するか、プリントアウトして必ずご確認ください。

インターネット出願は、専用サイトで登録を行い、入学検定料を支払い、出願書類等を本学に郵送・受理されることで出願完了となりますので、ご注意ください。

《インターネット出願サイト》

http://www.u-ryukyu.ac.jp/admission/web_apply/
琉球大学入試課ホームページ内「インターネット出願」からアクセスできます。

インターネット出願登録期間は次のページをご確認ください。

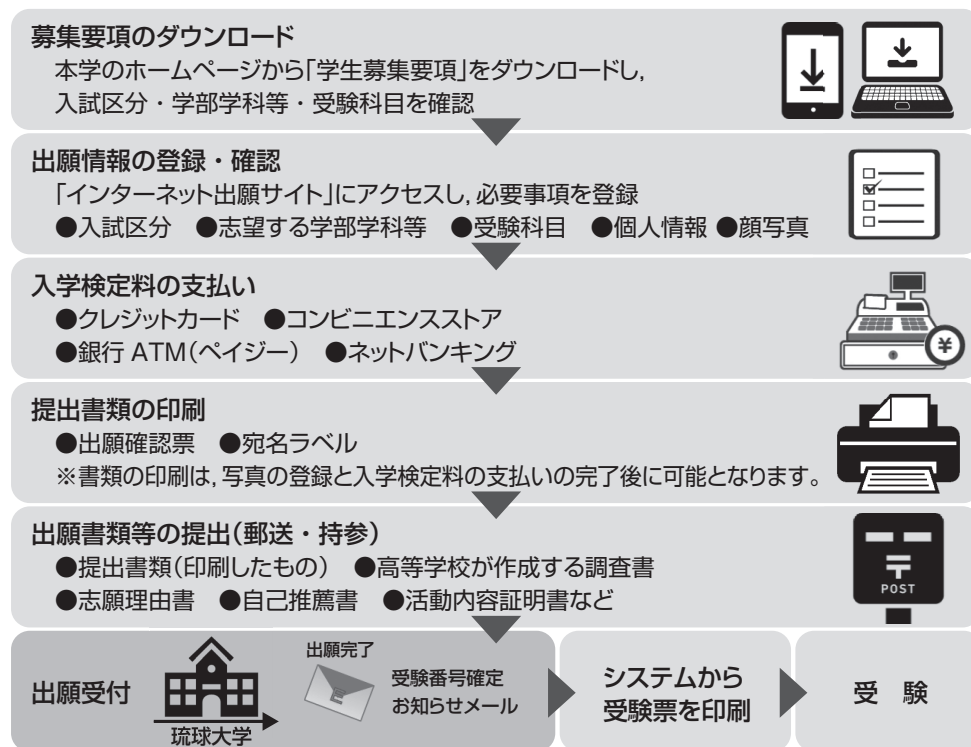
* 登録期間以外は、登録できません。

* インターネット出願を理解していただくための体験版を次のページの日程でご利用できます。
体験版からは出願できません。

《インターネット出願登録方法ガイド》

http://www.u-ryukyu.ac.jp/admission/web_apply/

【インターネット出願の流れとスケジュール】



【インターネット出願の注意点】

1. インターネット出願サイトでの登録、入学検定料の支払い、出願書類等の本学への郵送が必要です。本学で受理されましたら、折り返し受験番号確定お知らせメールを送信します。このメールを受信・確認してはじめて出願完了となります。

インターネット出願サイトで登録、入学検定料の支払いのみでは出願は完了しません。

2. 受験票は自身でプリントアウトし、試験当日に持参してください。

受験票は受験番号確定お知らせメールを受信した後、プリントアウトが可能になります。

インターネット出願の登録期間及び体験版利用期間について

募集区分	対象学部	インターネット出願登録期間	体験版利用期間
A O 入 試	工 学 部	平成30年 7月23日(月) \` 平成30年 8月 7日(火) 午後5時まで	平成30年 7月 2日(月) \` 平成30年 7月19日(木)
推 薦 入 試 I	国際地域創造学部, 教育学部, 農学部	平成30年10月23日(火) \` 平成30年11月 8日(木) 午後5時まで	平成30年 7月 2日(月) \` 平成30年 7月19日(木) 平成30年 9月21日(金) \` 平成30年10月19日(金)
推 薦 入 試 II	人文社会学部, 教育学部, 理学部, 医学部, 工学部		
社 会 人 特 別 入 試 (12月試験)	国際地域創造学部		
帰 国 子 女 特 別 入 試 (12月試験)	国際地域創造学部, 教育学部, 理学部地 学系を除く学部等		
社 会 人 特 別 入 試 (2月試験)	工 学 部	平成31年 1月11日(金) \` 平成31年 1月25日(金) 午後5時まで	平成30年 7月 2日(月) \` 平成30年 7月19日(木) 平成30年 9月21日(金) \` 平成30年10月19日(金)
帰 国 子 女 特 別 入 試 (2,3月試験)	国際地域創造学部, 教育学部, 理学部地 学系		
私 費 外 国 人 留 学 生 入 試	全 学 部		
一 般 入 試	前期日程：全学部	平成31年 1月21日(月) \` 平成31年 2月 6日(水) 午後5時まで	平成30年12月 7日(金) \` 平成31年 1月 9日(水)
	後期日程：全学部		

※体験版からは出願できません。

※出願登録期間中は体験版を利用することはできません。

※体験版の開設期間は、都合により日程変更を行う場合があります。

日程を変更する場合は本学入試課ホームページでお知らせします。

琉球大学入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

〔平成29年2月9日〕
制 定

1. 琉球大学の教育の目的と理念

琉球大学は、「自由平等、寛容平和」の建学の精神の下、「普遍的価値を身につけた21世紀型市民として、地域社会及び国際社会の発展に寄与できる人材」の育成を掲げ、さらに具体的に以下の4つを目指し人材を育成します。

- (1) 豊かな教養と自己実現力を有し、総合的な判断力を備えた人材
- (2) 優れた専門性を持ち、地域社会及び国際社会に貢献する人材
- (3) 外国語運用能力と国際感覚を有し、国際社会で活躍する人材
- (4) 地域の歴史と自然に学び、世界の平和及び人類と自然の共生に貢献する人材

2. 求める学生像

琉球大学は、このような教育理念を理解し、本学で学ぶ強い意欲を持ち、次のような資質をもった人を積極的に受け入れます。

- (1) 高等学校段階までの教育において、基礎的な知識・技能を習得し、問題意識を持ち続け、主体的に学習に取り組む態度を身につけた人
- (2) 異なる歴史的・文化的特性や価値観を理解し、地域社会及び国際社会で貢献する意欲のある人
- (3) 自分自身の可能性を信じ、自己の個性を生かし、自己実現に意欲のある人

3. 入学者選抜の基本方針

琉球大学は、各学部・学科等の求める学生像に沿って、多様な入試方法により知識・技能やそれらの活用能力の評価だけでなく、意欲と主体性をもって学ぶことができるかを、多面的・総合的に評価し、社会人や留学生など多様な人を広く受け入れます。

各学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）については、
琉球大学入試課ホームページ

http://www.u-ryukyu.ac.jp/univ_info/three_policy/admission_policy.html

をご覧ください。

1. 平成31年度琉球大学入学者選抜日程の概要

○一般入試

日程	対象学部	大学入試センター試験	出願期間	個別学力検査等	合格発表	入学手続	追加合格
前期日程	人文社会学部 国際地域学部 創造学部 教育学部 理学部 医学部 工学部 農学部	(平成31年) 1月19日(土) 1月20日(日)	(平成31年) 1月28日(月) 2月6日(水)	2月25日(月)・26日(火)	3月7日(木)	3月14日(木) 3月15日(金)	3月28日(木) 3月31日(日)
				※日程については、学部学科等によって異なります。詳しくは「6.平成31年度入学者選抜の実施教科・科目等(一般入試)」(16～41ページ)を参照してください。			
後期日程	人文社会学部 国際地域学部 創造学部 教育学部 理学部 医学部 工学部 農学部			3月12日(火)・13日(水)	3月21日(木)	3月26日(火) 3月27日(水)	※追加合格によるが、場合によっては欠員補充第2次募集を行うことがある。

○AO入試(アドミッション・オフィス入試)

学部・学科等	大学入試センター試験	出願期間	試験日程	合格発表	入学手続	備考
工学部 工学科	—	(平成30年) 8月1日(水) 8月7日(火)	第1次選考 書類選考 第2次選考 ○1次面接 9月6日(木)※(8日(土)) ○2次面接 9月20日(木)※(21日(金)) ※()内は暴風警報の発令等で期日に試験ができない場合の日程	第1次選考 8月22日(水) 最終合格発表 10月2日(火)	10月16日(火)	※AO入試の詳細については、平成30年6月発表の「学生募集要項」を参照してください。 募集要項は本学ホームページに掲載します。

○特別入試

事 項	対象学部・学科等	大 学 入 試 センター試験	出 願 期 間	個 別 学 力 検 査 等	合 格 発 表	入 学 手 続
推薦入試Ⅰ (大学入試センター試験を課さない) (英語重視を含む)	国際地域創造学部・教育学部・農学部 (ただし、対象となる学科等については、46～50, 71ページを参照してください。)	—	(平成30年) 11月1日(木) } 11月8日(木)	(平成30年) 12月4日(火)	(平成30年) 12月14日(金)	(平成31年) 2月18日(月) 2月19日(火)
推薦入試Ⅱ (大学入試センター試験を課す)	人文社会学部・教育学部・理学部・医学部・工学部 (ただし、対象となる学科等については、51～71ページを参照してください。)	(平成31年) 1月19日(土) 1月20日(日)			(平成31年) 2月8日(金)	
社 会 人	国際地域創造学部 (詳細は、72ページを参照してください。)	—			(平成30年) 12月14日(金)	
	工学部 (詳細は、73ページを参照してください。)	—	(平成31年) 1月21日(月) } 1月25日(金)	2月26日(火)	3月7日(木)	3月14日(木) 3月15日(金)
帰 国 子 女	下記学部等を除く学部 (ただし、対象となる学科等については74～77ページを参照してください。)	—	(平成30年) 11月1日(木) } 11月8日(木)	(平成30年) 12月4日(火)	(平成30年) 12月14日(金)	(平成31年) 2月18日(月) 2月19日(火)
	国際地域創造学部 教育学部 (ただし、対象となる学科等については、75～76ページを参照してください。)	—	(平成31年) 1月21日(月) } 1月25日(金)	2月25日(月) 2月26日(火) (26日は教育学部のみ)	3月7日(木)	3月14日(木) 3月15日(金)
	理学部物質地球科学科 (地学系)	—	—	3月12日(火)	3月21日(木)	3月26日(火) 3月27日(水)

○私費外国人留学生入試

事 項	対象学部・学科等	大 学 入 試 センター試験	出 願 期 間	個 別 学 力 検 査 等	合 格 発 表	入 学 手 続
私費外国人留学生	全学部 (ただし、対象となる学科等については、78～80ページを参照してください。)	—	(平成31年) 1月21日(月) } 1月25日(金)	2月25日(月) 2月26日(火)	3月7日(木)	3月14日(木) 3月15日(金)

2. 募集人員

学部	学科・課程・(入試方式)等		入学員 入定	募集人員									
				一般入試		AO 入試	特別入試				私費 外国人		
				分離分割方式			推薦 入試Ⅰ	推薦 入試Ⅱ	社会人	帰国 子女			
				前期日程	後期日程								
人文社会学部	国際法政学科		80名	54名	14名			12名		若干名	若干名		
	人間社会学科	哲学・教育学プログラム	80名	41名	18名			5名		若干名	若干名		
		心理学プログラム						8名					
		社会学プログラム						8名					
	琉球アジア文化学科		40名	25名	9名			6名		若干名	若干名		
計			200名	120名	41名			39名					
国際地域創造学部	昼間主 コース	国際地域創造学科	(国際的思考系)	265名	60名	15名		50名		若干名	若干名		
			(論理的思考系)									90名	20名
			(数学的思考系)									30名	
	夜間主 コース	国際地域創造学科	(国際的思考系)	80名	20名	5名		13名	10名				
			(論理的思考系)									24名	8名
計			345名	224名	48名		63名		10名				
教育学部	小学校教育コース	教科教育専攻	学校教育専攻	140名	30名	8名			12名				
			国語教育専修						2名				
			社会科教育専修						2名				
			数学教育専修						2名				
			理科教育専修						2名				
			音楽教育専修						2名				
			美術教育専修						2名				
			保健体育専修						2名				
			技術教育専修						2名				
			生活科学教育専修						2名				
	英語教育専修	2名											
	中学校教育コース	教科教育専攻	国語教育専修	4名									
			社会科教育専修	3名									
			数学教育専修	5名									
			理科教育専修	5名									
			音楽教育専修	3名									
			美術教育専修	3名							若干名	若干名	
			保健体育専修	3名									
			技術教育専修	2名			1名				若干名		
	特別 支援 コース	特別 支援 専攻	特別支援教育専修	8名					2名				
計			140名	91名	13名		2名	34名					

学部	学科・課程等		入学定員	募集人員								
				一般入試		AO入試	特別入試				私費外国人	
				分離分割方式			推薦入試Ⅰ	推薦入試Ⅱ	社会人	帰国子女		
				前期日程	後期日程							
理学部	数 理 科 学 科		40名	30名	10名							若干名
	物 質 地 球 科 学 科	物 理 系	65名	28名	7名			5名		若干名	若干名	
		地 学 系		20名	5名				若干名	若干名		
	海 洋 自 然 科 学 科	化 学 系	95名	32名	10名			5名		若干名	若干名	
		生 物 系		37名	10名			1名		若干名	若干名	
計			200名	147名	42名			11名				
医学部	医 学 科		112名	70名	25名			17名				
	保 健 学 科		60名	41名	10名			9名		若干名	若干名	
	計			172名	111名	35名			26名			
工学部	工 学 科	機 械 工 学 コ ー ス	350名	206名	40名		6名	11名	若干名		若干名	
		エ ネ ル ギ ー 環 境 工 学 コ ー ス				10名	7名	若干名		若干名		
		電 気 シ ス テ ム 工 学 コ ー ス				2名	9名	若干名		若干名		
		電 子 情 報 通 信 コ ー ス				4名	7名	若干名		若干名		
		社 会 基 盤 デ ザ イ ン コ ー ス				5名	10名	若干名		若干名		
		建 築 学 コ ー ス				2名	10名	若干名		若干名		
		知 能 情 報 コ ー ス				7名	14名	若干名		若干名		
	計			350名	206名	40名	36名		68名			
農学部	亜 熱 帯 地 域 農 学 科		35名	22名	5名		7名	2名			若干名	若干名
	亜 熱 帯 農 林 環 境 科 学 科		35名	21名	7名		7名				若干名	若干名
	地 域 農 業 工 学 科		25名	17名	3名		5名				若干名	若干名
	亜 熱 帯 生 物 資 源 科 学 科		45名	22名	6名		6名				若干名	若干名
		健 康 栄 養 科 学 コ ー ス		8名			2名					
計			140名	90名	21名		29名					
合 計			1,547名	989名	240名	36名	94名	178名	10名			

- 国際地域創造学部の一般入試は入試方法（・・・的思考系）毎に募集人員を設定しています。詳細については、5ページの「2. 募集人員」の留意事項（2）国際地域創造学部関係⑤、⑥を参照してください。
- 農学部の推薦入試Ⅰ（英語重視）は、学部一括で2名を募集します。
- 帰国子女特別入試及び私費外国人留学生入試の募集人員の取扱いについては、5～7ページの「2. 募集人員」の留意事項を参照してください。

○「2. 募集人員」の留意事項

(1) 人文社会学部関係

- ① 推薦入試の入学手続完了者が募集人員に満たない場合は、満たない分の募集人員を前期日程の募集人員に加えます。
- ② 前期日程の募集人員には、帰国子女特別入試の募集人員を含みます。
- ③ 後期日程の募集人員には、私費外国人留学生入試の募集人員を含みます。
- ④ 国際法政学科及び琉球アジア文化学科は、学科一括で募集します。入学後は、1年次後学期を修了した時点で、本人の希望と1年次の成績等に基づきプログラムに配属されます。(プログラムの配属等についての詳細は81ページ「15. 人文社会学部のプログラムの配属等について」参照。)
- ⑤ 人間社会学科の推薦入試は、各プログラムで募集し、一般入試は、学科一括で募集します。ただし、どの入試区分で合格しても入学後は、1年次後学期を修了した時点で、本人の希望と1年次の成績等に基づきプログラムに配属されます。(プログラムの配属等についての詳細は81ページ「15. 人文社会学部のプログラムの配属等について」参照。)

(2) 国際地域創造学部関係

- ① 推薦入試の入学手続完了者が募集人員に満たない場合は、満たない分の募集人員を前期日程(それぞれ対応する昼間主コース・夜間主コース)の論理的思考系の募集人員に加えます。
- ② 社会人特別入試の入学手続完了者が募集人員に満たない場合は、満たない分の募集人員を後期日程(夜間主コース)の論理的思考系の募集人員に加えます。
- ③ 前期日程(昼間主コース)の国際的思考系の募集人員には、帰国子女特別入試の募集人員(若干名)を含みます。
- ④ 前期日程(昼間主コース)の国際的思考系の募集人員には、私費外国人留学生入試の募集人員(若干名)を含みます。
- ⑤ 国際地域創造学科(昼間主コース)は、学科一括で募集します。また、一般入試は、学科一括で募集を行いますが、入試方式毎に募集人員を設けています(前期日程は、国際的思考系、論理的思考系、数学的思考系の3方式。後期日程は、国際的思考系、論理的思考系の2方式)。どの入試区分、入試方式で合格し入学しても、入学後は2年次前学期を修了した時点で本人の希望と3箇学期(2年次前学期まで)の年次の成績等に基づきプログラムに配属されます。(プログラムの配属等についての詳細は81ページ「16. 国際地域創造学部のプログラムの配属等について」参照。)
- ⑥ 国際地域創造学科(夜間主コース)は、学科一括で募集します。また、一般入試は、学科一括で募集を行いますが、入試方式毎に募集人員を設けています(前期日程は、国際的思考系、論理的思考系の2方式。後期日程は、国際的思考系、論理的思考系の2方式)。どの入試区分、入試方式で合格し入学しても、入学後は1年次後学期を修了した時点で本人の希望と2箇学期(1年次後学期まで)の年次の成績等に基づきプログラムに配属されます。(プログラムの配属等についての詳細は81ページ「16. 国際地域創造学部のプログラムの配属等について」参照。)

(3) 教育学部関係

- ① 学校教育教員養成課程中学校教育コース教科教育専攻及び特別支援教育コース特別支援教育専攻の一般入試については前期日程のみの選抜です。
- ② 推薦入試の入学手続完了者が募集人員に満たない場合は、満たない分の募集人員を前期日程の募集人員に加えます。
- ③ 学校教育教員養成課程中学校教育コース教科教育専攻(美術教育専修)の前期日程の募集人員には、帰国子女特別入試の募集人員を含みます。

- ④ 学校教育教員養成課程中学校教育コース教科教育専攻（美術教育専修・技術教育専修）の前期日程の募集人員には、私費外国人留学生入試の募集人員を含みます。
- ⑤ 学校教育教員養成課程小学校教育コース学校教育専攻の一般入試は、学校教育専攻一括で募集します。大学入試センター試験と個別学力検査等の総合点の上位者から順に、学校教育専攻全体として合格者を決定します。（専修配属・所属についての詳細は82ページ「17. 教育学部の専修の決定方法等について」参照。）
- ⑥ 学校教育教員養成課程小学校教育コース学校教育専攻の特別入試（推薦入試Ⅱ）の選抜は、専攻で行います。合格者は学校教育専攻に所属します。
- ⑦ 学校教育教員養成課程小学校教育コース教科教育専攻の一般入試は、教科教育専攻一括で募集します。大学入試センター試験と個別学力検査等の総合点の上位者から順に、教科教育専攻全体として合格者を決定します。（専修配属・所属についての詳細は82ページ「17. 教育学部の専修の決定方法等について」参照。）
- ⑧ 学校教育教員養成課程小学校教育コース教科教育専攻の特別入試（推薦入試Ⅱ）の選抜は、専修毎に行います。合格者は志望専修に所属します。
- ⑨ 学校教育教員養成課程中学校教育コース教科教育専攻の選抜は、専修毎に行います。合格者は志望専修に所属します。

（4）理学部関係

- ① 物質地球科学科は、物理系（40名）と地学系（25名）に分け、海洋自然科学科は、化学系（47名）と生物系（48名）に分けて、それぞれ募集します。また、2年次に進級する際に他の系へ進路変更の希望があれば、各系（物理系、地学系、化学系、生物系）とも3名以内に限り、選考の上、受入れが可能です（特別入試入学者は除く）。
- ② 推薦入試Ⅱには物質地球科学科の物理系、海洋自然科学科の化学系と生物系があり、募集人員は物理系が5名、化学系が5名、生物系が1名です。
- ③ 推薦入試の入学手続完了者が募集人員に満たない場合は、満たない分の募集人員を前期日程の募集人員に加えます。
- ④ 物質地球科学科（物理系）、海洋自然科学科（化学系・生物系）の前期日程の募集人員には、帰国子女特別入試の募集人員を含みます。
- ⑤ 物質地球科学科（地学系）の後期日程の募集人員には、帰国子女特別入試の募集人員を含みます。
- ⑥ 各学科の後期日程の募集人員には、私費外国人留学生入試の募集人員を含みます。

（5）医学部関係

- ① 医学科では、推薦入試Ⅱの入学手続完了者が募集人員に満たない場合は、満たない分の募集人員を前期日程の募集人員に加えます。
- ② 保健学科の前期日程の募集人員には、帰国子女特別入試及び私費外国人留学生入試の募集人員を含みます。
- ③ 保健学科の推薦入試Ⅱの入学手続完了者が募集人員に満たない場合は、満たない分の募集人員を前期日程の募集人員に加えます。
- ④ 保健学科では、入学後、看護学コース、検査技術学コースの2つのコースに分かれます。なお、看護学コースの学生は、2年次以降に、保健師（15名程度）、または助産師（6名程度）もしくは養護教諭（10名程度）の免許取得のためのカリキュラムをいずれか1つ選択することができます。選抜にあたっては、入学後の成績等を考慮します。

(6) 工学部関係

- ① AO入試（アドミッション・オフィス入試）及び推薦入試の入学手続完了者が募集人員に満たない場合は、満たない分の募集人員を前期日程の募集人員に加えます。
- ② 後期日程の募集人員には、社会人特別入試および私費外国人留学生入試の募集人員を含みます。
- ③ 一般入試の選抜は工学科で実施します。
大学入試センター試験と個別学力検査等の総合点の上位から順に、工学科として合格者を決定し、その上で、志望に沿って合格者を各コースに配属します。（詳細は82ページ「18. 工学部の選抜方法等について」参照。）
- ④ 特別入試（AO入試，推薦入試Ⅱ，社会人特別入試，私費外国人留学生入試）の選抜はコース毎に行います。合格者は志望コースに配属されます。

(7) 農学部関係

- ① 亜熱帯地域農学科では推薦入試Ⅰ（農業に関する学科から4名，その他の学科から3名，合計7名）を実施します。
- ② 亜熱帯農林環境科学科では推薦入試Ⅰ（農業に関する学科から4名，その他の学科から3名，合計7名）を実施します。
- ③ 地域農業工学科では推薦入試Ⅰ（農業に関する学科から2名，その他の学科から3名，合計5名）を実施します。
- ④ 亜熱帯生物資源科学科（健康栄養科学コースを除く）では推薦入試Ⅰ（農業に関する学科から3名，その他の学科から3名，合計6名）を実施します。
- ⑤ 亜熱帯生物資源科学科（健康栄養科学コース）では推薦入試Ⅰ（2名）を実施します。
- ⑥ 亜熱帯生物資源科学科（健康栄養科学コース）は，卒業までの教育課程に沿って，1年次からコース教育が実施されるため，他コースからの転コースはできません。
- ⑦ 学部一括募集による推薦入試Ⅰ（英語重視）（募集人員：2名）（健康栄養科学コースを除く）を実施します。
- ⑧ 推薦入試Ⅰの入学手続完了者が募集人員に満たない場合は，満たない分の募集人員を前期日程の募集人員に加えます。
- ⑨ 各学科の前期日程の募集人員には，帰国子女特別入試の募集人員を含みます。
- ⑩ 各学科の後期日程の募集人員には，私費外国人留学生入試の募集人員を含みます。

「昼間主コース」は，主に昼間に授業を行い，「夜間主コース」は，主に夜間に授業を行います。
「夜間主コース」の授業時間は，18時から21時55分までです。

3. 出願資格

本学に入学を志願できる者は、次の各号のいずれかに該当し、かつ平成31年度大学入試センター試験で本学の各学部・学科等が指定する教科・科目を受験した者です。ただし、AO入試については44～45ページを、特別入試（推薦入試・社会人・帰国子女）については46～77ページを、私費外国人留学生入試については78～80ページを参照してください。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は平成31年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は平成31年3月までに修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は平成31年3月31日までにこれに該当する見込みの者（詳細については、大学入試センターから9月ごろ発刊される「平成31年度大学入学者選抜大学入試センター試験受験案内」の出願の項を参照してください。）
- (4) 本学において、入学資格認定書の交付を受けた者

○上記(4)の入学資格審査を希望する者は、平成30年8月31日（金）までにあらかじめ本学入試課へ相談してください。（AO入試は7月6日（金）までに工学部学務係へ相談ください）

【入学資格審査申請関係書類の提出期限：平成30年9月14日（金）】（AO入試は7月13日（金））

4. 入学者選抜の概要

(1) 一般入試（前期日程・後期日程）

大学入試センター試験の成績、個別学力検査等の成績及び調査書の内容を総合判定して、入学者を選抜します（16～41ページを参照）。

(2) AO入試（アドミッション・オフィス入試）

工学部工学科において、面接・プレゼンテーション等により入学者を選抜します（44～45ページを参照）。

(3) 特別入試

※国公立大学の推薦入試は、大学入試センター試験を課すもの及び課さないものを含め、1つの大学・学部にしき出願できません。

①-1 推薦入試 I（大学入試センター試験を課さない）

学部名	学科等名
国際地域創造学部	国際地域創造学科（昼間主コース・夜間主コース）
教育学部	学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻 技術教育専修
農学部	亜熱帯地域農学科，亜熱帯農林環境科学科，地域農業工学科， 亜熱帯生物資源科学科（健康栄養科学コースを含む）

①-2 推薦入試 I（大学入試センター試験を課さない）「英語重視」

学部名	学科等名
教育学部	学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻 英語教育専修
農学部	亜熱帯地域農学科，亜熱帯農林環境科学科，地域農業工学科， 亜熱帯生物資源科学科（健康栄養科学コースを除く）

上記①-1・2の学部・学科等において、高等学校等の長の推薦に基づき、大学入試センター試験を免除し、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合判定して入学者を選抜します（46～50, 71ページを参照）。

② 推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す）

学部名	学科等名
人文社会学部	国際法政学科，人間社会学科，琉球アジア文化学科
教育学部	学校教育教員養成課程 小学校教育コース 学校教育専攻，教科教育専攻（国語教育専修，社会科教育専修，数学教育専修，理科教育専修，音楽教育専修，美術教育専修，保健体育専修，技術教育専修，生活科学教育専修，英語教育専修），特別支援教育コース 特別支援教育専攻 特別支援教育専修
理学部	物質地球科学科（物理系），海洋自然科学科（化学系・生物系）
医学部	医学科，保健学科
工学部	工学科（機械工学コース，エネルギー環境工学コース，電気システム工学コース，電子情報通信コース，社会基盤デザインコース，建築学コース，知能情報コース）

上記②の学部・学科等において，高等学校等の長の推薦に基づき，大学入試センター試験の成績，各学部が定める個別学力検査等の成績，調査書，推薦書及び志願理由書を総合判定して，入学者を選抜します（51～71ページを参照）。

③ 社会人特別入試

学部名	学科等名
国際地域創造学部	国際地域創造学科（夜間主コース）
工学部	工学科（機械工学コース，エネルギー環境工学コース，電気システム工学コース，電子情報通信コース，社会基盤デザインコース，建築学コース，知能情報コース）

上記③の学部・学科においては，大学入試センター試験を免除し，各学部が定める個別学力検査等の成績，志願理由書，履歴書，調査書を総合判定して，入学者を選抜します（72～73ページを参照）。

④ 帰国子女特別入試

学部名	学科等名
人文社会学部	国際法政学科，人間社会学科，琉球アジア文化学科
国際地域創造学部	国際地域創造学科（昼間主コース）
教育学部	学校教育教員養成課程 中学校教育コース 美術教育専修
理学部	物質地球科学科（物理系・地学系），海洋自然科学科（化学系・生物系）
医学部	保健学科
農学部	亜熱帯地域農学科，亜熱帯農林環境科学科，地域農業工学科，亜熱帯生物資源科学科（健康栄養科学コースを除く）

上記④の学部・学科等においては，大学入試センター試験を免除し，各学部が定める個別学力検査等の成績，成績証明書（調査書）を総合判定して，入学者を選抜します（74～77ページを参照）。

（4）私費外国人留学生入試

全学部（一部学科等を除く）において，大学入試センター試験を免除し，独立行政法人日本学生支援機構が平成30年6月と11月に実施する「日本留学試験」のいずれかの成績及び個別学力検査等の成績等を総合判定して，入学者を選抜します。「日本留学試験」を2回受験した場合は，成績利用を希望する回の成績を提出してください（78～80ページを参照）。

5. 平成31年度入学者選抜方法等

(1) 入学者選抜方法等（一般入試、専門高校・総合学科卒業生入試、アドミッション・オフィス入試）

選抜方法等			個別学力検査等						専門高校・総合学科卒業生入試				アドミッション・オフィス入試	個別学力検査等の日程	備考		
			個別学力検査を課する	実技検査等			2段階選抜			個別学力検査を課する	実技検査等					募集人員	
				実技検査を課する	面接又は口頭試問を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	大学入試センター試験の成績により第1次段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う	第1次段階の選抜による合格者		その他	実技検査を課する					面接又は口頭試問を行う
学部・学科等																	
人文社会学部	国際法政学科	前期	○	×	×	×	×	実施しない	実施しない	×	2月25日	追加合格によるが、場合によっては欠員補充第2次募集を行うことがある					
		後期	×	×	×	○	×			×	3月12日						
	人間社会学科	前期	×	×	×	○	×			×	2月25日						
		後期	×	×	○	×	×			×	3月12日						
	琉球アジア文化学科	前期	×	×	○	○	×			×	2月25日 2月26日						
		後期	×	×	○	×	×			×	3月12日						
国際地域創造学部	昼間主コース	国際地域創造学科 (国際的思考系)	前期	○	×	×	×	実施しない	実施しない	×	2月25日						
			後期	×	×	×	○			×	×	3月12日					
		(論理的思考系)	前期	×	×	×	○			×	×	2月25日					
			後期	×	×	×	○			×	×	3月12日					
	夜間主コース	国際地域創造学科 (国際的思考系)	前期	○	×	×	×			実施しない	実施しない	×	2月25日				
			後期	×	×	×	○					×	×	3月12日			
		(論理的思考系)	前期	×	×	×	○					×	×	2月25日			
			後期	×	×	×	○					×	×	3月12日			
教育学部	小学校教育コース	学校教育専攻	前期	×	×	○	○	実施しない	実施しない			×	2月25日 2月26日				
			後期	×	○	○	×					×	×	3月12日 3月13日			
		教科教育専攻	前期	○	×	○	×					×	×	2月25日 2月26日			
			後期	×	×	○	○					×	×	3月12日			
	中学校教育コース	教科教育専攻	国語教育専修	前期	○	×	○			×	×	×	2月25日				
			社会科教育専修	前期	×	×	○			○	×	×	2月25日				
			数学教育専修	前期	○	×	○			×	×	×	2月25日				
			理科教育専修	前期	○	×	○			×	×	×	2月25日				
			音楽教育専修	前期	○	○	○			×	×	×	2月25日 2月26日				
			美術教育専修	前期	○	○	○			×	×	×	2月25日 2月26日				
			保健体育専修	前期	×	○	○			×	×	×	2月25日 2月26日				
			技術教育専修	前期	○	×	○			×	×	×	2月25日				
			生活科学教育専修	前期	×	×	○			×	×	×	2月25日				
			英語教育専修	前期	○	×	○			×	×	×	2月25日 注5参照				
特別支援	特別支援教育専修	前期	×	×	○	○	×	×	2月25日								

学部・学科等		選抜方法等		個別学力検査等						専門高校・総合学科卒業生入試			アドミッション・オフィス入試	個別学力検査等の日程	備考 欠員の補充の方法等														
				個別学力検査を課する	実技検査等			2段階選抜			個別学力検査を課する	実技検査等				募集人員													
					実技検査を課する	面接又は口頭試問を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	大学入試センター試験の成績により第1次段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う	第1次段階の選抜による合格者		定員に対する倍率					その他	実技検査を課する	面接又は口頭試問を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する								
理学部	数 理 科 学 科	前期	○	×	×	×	×	実施しない	実施しない	○	約5倍	×	×	2月25日	追加合格によるが、場合によっては欠員補充第2次募集を行うことがある														
		後期	○	×	×	×	×						×	×		3月12日													
	物 質 地 球 科 学 科	前期	○	×	×	×	×						実施しない	実施しない		○	約5倍	×	×	2月25日									
		後期物理系	×	×	×	×	×												×	×	注6参照								
	後期地学系	×	×	×	○	×	×												×	×	3月12日								
	海 洋 自 然 科 学 科	前期	○	×	×	×	×												実施しない	実施しない	○	約5倍	×	×	2月25日				
後期化学系		×	×	×	×	×	×	×	注6参照																				
後期生物系	×	×	×	○	×	×	×	×	3月12日																				
医 学 部	医 学 科	前期	○	×	○	×	×	○	約5倍	×	実施しない	×	×	2月25日 2月26日															
		後期	×	×	○	○	×	○	約5倍	×			×	3月12日															
保 健 学 科	前期	○	×	○	×	×	×	×	×	×			実施しない	×		×	2月25日 2月26日												
	後期	×	×	○	○	×	×	×	×	×						3月12日													
工学部	工 学 科	前期	○	×	×	×	×	実施しない	実施しない	○					約5倍	×	○	2月25日											
		後期	×	×	×	×	×										×	×	注6参照										
農学部	亜 熱 帯 地 域 農 学 科	前期	○	×	×	×	×				実施しない	実施しない					○	約5倍	×	×	2月25日								
		後期	×	×	×	×	×													×	×	注6参照							
	亜 熱 帯 農 林 環 境 科 学 科	前期	○	×	×	×	×						実施しない	実施しない						○	約5倍	×	×	2月25日					
		後期	×	×	×	×	×																×	×	注6参照				
	地 域 農 業 工 学 科	前期	○	×	×	×	×	実施しない	実施しない	○					約5倍	×							×	2月25日					
		後期	×	×	×	×	×																×	×	注6参照				
	亜 熱 帯 生 物 資 源 科 学 科	前期	○	×	×	×	×																実施しない	実施しない	○	約5倍	×	×	2月25日
		後期	×	×	×	×	×																					×	×
健康栄養科学コース	前期	○	×	×	×	×	実施しない				実施しない	○					約5倍	×	×									2月25日	

注：

- 印は実施する。×印は実施しない。
- 後期日程の人文社会学部琉球アジア文化学科の個別学力検査は、「口頭試問」を行う。
- 人文社会学部琉球アジア文化学科は、推薦入試Ⅱ及び一般入試（前期日程の面接、後期日程の口頭試問）を効果的に実施するために、各試験日に受験者にアンケートを実施する。なお、このアンケートは採点の対象としない。
- 前期日程の教育学部学校教育教員養成課程中学校教科教育コース教科教育専攻（音楽教育専修・美術教育専修・保健体育専修）及び後期日程の学校教育教員養成課程小学校教育コース学校教育専攻の試験実施方法は、「7. 実技検査等実施方法（教育学部）」（42～44ページ）を参照すること。
- 教育学部学校教育教員養成課程中学校教科教育コース教科教育専攻（英語教育専修）の面接は、英語による面接試験を行う。
- 後期日程の選抜で個別学力検査等を課さない場合は、大学入試センター試験の成績及び調査書の内容を総合して判定する。

(2) 特別入試等の概要

学部・学科等		選抜方法等	推 薦 入 試						帰国子女・社会人のための特別入試及び私費外国人留学生のための入試			備考		
			入学定員の一部について、出身高校等の長の推薦に基づき、学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する。											
			推薦Ⅰ	推薦Ⅱ	実 技 検 査 等				推 薦 入 試 募 集 人 員	帰 国 子 女	社 会 人		私 費 外 国 人 留 学 生	
			個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する	個別学力検査を免除し大学入試センター試験を課する	実技検査を課する	面接又は口頭試問を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する						
人文社会学部	国際法政学科	×	○	×	○	○	×	12名	○	×	○			
	人間社会学科	哲学・教育学プログラム	×	○	×	○	○	×	5名	○	×	○		
		心理学プログラム	×	○	×	○	○	×	8名	○	×	○		
		社会学プログラム	×	○	×	○	○	×	8名	○	×	○		
	琉球アジア文化学科	×	○	×	○	○	×	6名	○	×	○			
創造学部	国際地域	昼コ 主ス 問一	国際地域創造学科	○	×	×	○	○	×	50名	○	×	○	
		夜コ 主ス 問一	国際地域創造学科	○	×	×	○	○	×	13名	×	○	×	
教育学部	学校教育専攻	教科教育専攻	学校教育専攻	×	○	×	○	○	×	※1 12名	×	×	×	
			国語教育専修	×	○	×	○	○	×	2名	×	×	×	
			社会科教育専修	×	○	×	○	○	×	2名	×	×	×	
			数学教育専修	×	○	×	○	×	×	2名	×	×	×	
			理科教育専修	×	○	×	○	×	×	2名	×	×	×	
			音楽教育専修	×	○	○	○	○	×	2名	×	×	×	
			美術教育専修	×	○	×	○	○	×	2名	×	×	×	
			保健体育専修	×	○	×	○	×	×	2名	×	×	×	
			技術教育専修	×	○	×	○	×	×	2名	×	×	×	
			生活科学教育専修	×	○	×	○	×	×	2名	×	×	×	
	中学校教育専攻	教科教育専攻	国語教育専修	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
			社会科教育専修	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
			数学教育専修	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
			理科教育専修	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
			音楽教育専修	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
			美術教育専修	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	
			保健体育専修	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
			技術教育専修	○	×	×	○	×	×	1名	×	×	○	
			生活科学教育専修	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
			英語教育専修	○	×	×	○	×	×	1名	×	×	×	
	教特別 育別専支 育別専支 攻援	特別支援教育専修	×	○	×	○	×	×	2名	×	×	×		

選抜方法等		推 薦 入 試							帰国子女・社会人のための特別入試及び私費外国人留學生のための入試			備考		
		入学定員の一部について、出身高校等の長の推薦に基づき、学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する。												
		推薦Ⅰ	推薦Ⅱ	実 技 検 査 等				推 薦 入 試 募 集 人 員	帰 国 子 女	社 会 人	私 費 外 国 人 留 学 生			
		個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する	個別学力検査を免除し大学入試センター試験を課する	実技検査を課する	面接又は口頭試問を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する							
学部・学科等	数 理 科 学 科	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○		
	理 学 部	物質地球科学科	物 理 系	×	○	×	○	×	×	5名	○	×	○	
			地 学 系	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	
	海洋自然科学科	化 学 系	×	○	×	○	×	×	5名	○	×	○		
生 物 系		×	○	×	○	×	×	1名	○	×	○			
医 学 部	医 学 科	×	○	×	○	○	×	※2 17名	×	×	×			
	保 健 学 科	×	○	×	○	×	×	9名	○	×	○			
工 学 部	工 学 科	機 械 工 学 コ ー ス	×	○	×	○	×	×	11名	×	○	○		
		エ ネ ル ギ ー 環 境 工 学 コ ー ス	×	○	×	○	×	×	7名	×	○	○		
		電 気 シ ス テ ム 工 学 コ ー ス	×	○	×	○	×	×	9名	×	○	○		
		電 子 情 報 通 信 コ ー ス	×	○	×	○	×	×	7名	×	○	○		
		社 会 基 盤 デ ザ イン コ ー ス	×	○	×	○	×	×	10名	×	○	○		
		建 築 学 コ ー ス	×	○	×	○	×	×	10名	×	○	○		
		知 能 情 報 コ ー ス	×	○	×	○	×	×	14名	×	○	○		
農 学 部	地 域 農 業 工 学 科	亜 熱 帯 地 域 農 学 科	○	×	×	○	○	×	7名	※3	○	×	○	
		亜 熱 帯 農 林 環 境 科 学 科	○	×	×	○	○	×	7名	2名 (英語重視)	○	×	○	
		地 域 農 業 工 学 科	○	×	×	○	○	×	5名		○	×	○	
		亜 熱 帯 生 物 資 源 科 学 科	○	×	×	○	○	×	6名		○	×	○	
		健康栄養科学コース	○	×	×	○	○	×	2名	×	×	×	×	

※1 沖縄県内地域指定推薦4名，一般推薦8名。

※2 地域枠14名，離島・北部枠3名。

※3 小論文は課さず，面接のみを行う。

6. 平成31年度入学者選抜の実施教科・科目等（一般入試）

○「6. 平成31年度入学者選抜の実施教科・科目等（一般入試）」の読み方・留意事項

【大学入試センター試験及び個別学力検査の教科・科目名の略記について】

大学入試センター試験及び個別学力検査の教科・科目名は、以下のとおり略記しています。

教科	科目名
国語→国	国語→国, 国語総合→国総, 国語表現→国表, 古文→古, 漢文→漢
地理歴史→地歴	世界史A→世A, 世界史B→世B, 日本史A→日A, 日本史B→日B
公民→公	現代社会→現社, 倫理→倫, 政治・経済→政経, 「倫理, 政治・経済」→倫・政経
数学→数	数学Ⅰ→数Ⅰ, 数学Ⅱ→数Ⅱ, 数学Ⅲ→数Ⅲ, 数学A→数A, 数学B→数B, 簿記・会計→簿・会, 情報関係基礎→情報
理科→理	物理基礎→物基, 化学基礎→化基, 生物基礎→生基, 地学基礎→地基
外国語→外	英語→英, ドイツ語→独, フランス語→仏, 中国語→中, 韓国語→韓 コミュニケーション英語Ⅰ→コミュ英Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ→コミュ英Ⅱ コミュニケーション英語Ⅲ→コミュ英Ⅲ, 英語表現Ⅰ→英表Ⅰ, 英語表現Ⅱ→英表Ⅱ
家庭→家	

【「大学入試センター試験の利用教科・科目名」欄について】

1. 各学部・学科等共通

- 大学入試センター試験の「地理歴史」及び「公民」は、この2教科を同一の試験時間において実施するが、出題教科としては、それぞれ独立した教科です。
- 「地理歴史」・「公民」及び「理科」の試験時間において2科目を受験する場合は、解答順に前半に受験した科目を「第1解答科目」、後半に受験した科目を「第2解答科目」とします。
- 本学が指定している教科、科目以外を「第1解答科目」としている場合は、その科目を利用できなくなり、出願できません。
- 「理科」の「基礎を付した科目」とは「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」を指します。また、「基礎を付していない科目」とは「物理」、「化学」、「生物」、「地学」を指します。同一名称を付した科目、すなわち物理基礎と物理、化学基礎と化学、生物基礎と生物、地学基礎と地学を選択することは認めません。

2. 教科・科目の選択例（〔前期日程〕理学部物質地球科学科物理系）

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成30年度〕 〔志願倍率〕	区分 学力検査 日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		教科	教科
		教科	科目名等		
物質地球科学科 65人	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報から1〔注1〕〔計2科目〕 *下記の①, ②のいずれかから選択する。	数	教科：国語 国語（必須）を1科目選択する。 【計1科目】
					理
物理系 前期28 後期7 その他5	前期20 後期5	物理系	①物基 化基, 生基, 地基から1 化学, 生物, 地学から1〔計3科目〕 ※ただし、「同一名称を付した科目」の選択は認めない。(注2) ②物理 化基, 生基, 地基から2〔計3科目〕 又は 化学, 生物, 地学から1〔計2科目〕	理	教科：数学 数Ⅰ・数A（必須）を1科目選択する。 数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報から1科目選択する。 【計2科目】
					外
(5教科7科目又は5教科8科目)					

教科：理科 《①の場合》

物基（必須）を1科目選択する。
化基, 生基, 地基から1科目選択する。
化学, 生物, 地学から1科目選択する。
【計3科目】

※同一名称を付した科目の選択は認めない。

《②の場合》

物理（必須）を1科目選択する。
（化基, 生基, 地基から2科目選択する。）又は
（化学, 生物, 地学から1科目選択する。）
【計3科目または計2科目】

3. 大学入試センター試験の利用教科・科目の得点の採用について

本学が指定する大学入試センター試験の利用教科・科目数	本学の指定した科目数を超えて受験した場合の取扱い
「地理歴史」・「公民」から1科目を選択する。	「地理歴史」・「公民」から2科目を受験した場合は、受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を採用します。
「数学」から1科目を選択する。	「数学」から2科目を受験した場合は、受験した科目のうち、高得点の1科目を採用します。
「理科」の「基礎を付していない科目」から1科目を選択する。	「理科」の「基礎を付していない科目」から2科目を受験した場合は、受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を採用します。
「理科」の「基礎を付した科目」から2科目または「基礎を付していない科目」から1科目を選択する。	① 「理科」の「基礎を付した科目」から2科目並びに「基礎を付していない科目」から1科目の計3科目を受験した場合は、「基礎を付した科目(2科目の合計点)」と「基礎を付していない科目」のうち得点の高い方を採用します。 ② 「理科」の「基礎を付していない科目」から2科目を受験した場合は、受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を採用します。
「地理歴史」・「公民」及び「数学」から2科目を選択する。 *人文社会学部 国際法政学科 後期日程 *国際地域創造学部(夜間主コース) 国際地域創造学科 後期日程	「地理歴史」・「公民」及び「数学」から3科目以上受験した場合は、「地理歴史」・「公民」の「第1解答科目」を採用後、「地理歴史」・「公民」の「第2解答科目」の得点もしくは「数学」の得点のうち、高得点の1科目の得点を採用します。

【「個別学力検査等」欄について】

1. 数学(甲)の出題範囲については、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲの全範囲、数学Aの全範囲、数学Bの「数列」と「ベクトル」とする。
数学(乙)の出題範囲については、数学Ⅰ、数学Ⅱの全範囲、数学Aの全範囲、数学Bの「数列」と「ベクトル」とする。
※理学部数理科学科が後期日程において課す「数学」の出題範囲は、数学(甲)の出題範囲と同一とする。
※数学(甲)とは、「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B」を、数学(乙)とは、「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B」をいう。
2. 物理基礎・物理の出題範囲については、物理基礎と物理をあわせた範囲から出題する。
3. 化学基礎・化学の出題範囲については、化学基礎と化学をあわせた範囲から出題する。
4. 生物基礎・生物の出題範囲については、生物基礎と生物をあわせた範囲から出題する。
5. 地学基礎・地学の出題範囲については、地学基礎と地学をあわせた範囲から出題する。

【「大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等」欄について】

1. 配点に*印を付してある教科は、選択教科を表す。
2. 大学入試センター試験の英語の筆記試験(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計得点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにする。なお、入学者選抜の配点にあたっては、各学部・学科等の外国語の配点に換算する。また、リスニングを受験しなかった場合の取扱いについては、リスニングは、0点扱いとし、筆記試験の得点のみを利用する。
リスニングを免除された者の取扱いについては、筆記試験(200点満点)の得点のみを利用する。

【前年度以前の大学入試センター試験の成績利用について】

本学では、平成31年度入学者選抜において、前年度以前の大学入試センター試験の成績は利用しない。

6. 平成31年度入学者選抜の実施教科・科目等（一般入試）

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成30年度〕 〔志願倍率〕	学力検査等の 区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	
人文社会 学部 〔4.9〕 200人 前期120 後期41 その他39	国際法政 学科 80人 前期 54人 2月25日	国 地歴 公民 数理 外	国 世B, 日B, 地理Bから1 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報から1 (注) 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英 (リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1 (6教科6科目又は6教科7科目)	外	英(コミュ英Ⅰ ・コミュ英Ⅱ ・コミュ英Ⅲ ・英表Ⅰ ・英表Ⅱ) ※リスニング は除く		
	後期 14人 3月12日	国 地歴 公民 数理 外	国 世B, 日B, 地理Bから1 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報から1 (注) } から2※ ※地理歴史, 公民, 数学から2科目選択する。 英 (リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1 (4教科4科目)	その他	小論文		
人間社会 学科 80人	前期 41人 2月25日	国 地歴 公民 数理 外	国 世B, 日B, 地理Bから2①※ 世B, 日B, 地理Bから1 } ②※ 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 } ②※ ※地歴・公民は, ①②のいずれかを選択する。 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報から1 (注) 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英 (リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科6科目若しくは5教科7科目) 又は (6教科6科目若しくは6教科7科目)	その他	小論文		
	後期 18人 3月12日			その他	面接		
琉球アジ ア文化学 科 40人	前期 25人 2月25日 2月26日	国 地歴 公民 数理 外	国 世B, 日B, 地理Bから1 現社, 倫・政経から1 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報から1 (注) 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英 (リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1 (6教科6科目又は6教科7科目)	その他	小論文 面接		
	後期 9人 3月12日			その他	口頭試問		

(注) 数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は, 高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の
○ 配点に*印を付してある教科は, 選択教科を表す。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等													特別の選抜方法等	
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査 音楽必須	音楽選択 筆記試験	面接	口頭 試問	小論文	調査書		配点 合計
センター試験	200	100	100	100	100	200							800	推 薦 婦国子女 外 国 人 追加合格
個別学力検査等						200							200	
計	200	100	100	100	100	400							1000	
センター試験	200	*200 *1科目100点				200							600	推 薦 婦国子女 外 国 人 追加合格
個別学力検査等											200		200	
計	200	200				200					200		800	
センター試験	200	*200 *1科目100点		100	100	200							800	推 薦 婦国子女 外 国 人 追加合格
個別学力検査等											200		200	
計	200	200		100	100	200					200		1000	
センター試験	200	*200 *1科目100点		100	100	200							800	推 薦 婦国子女 外 国 人 追加合格
個別学力検査等									200				200	
計	200	200		100	100	200			200				1000	
センター試験	200	100	100	50	50	200							700	推 薦 婦国子女 外 国 人 追加合格
個別学力検査等									200		250	50	500	
計	200	100	100	50	50	200			200		250	50	1200	
センター試験	100	50	50	50	50	100							400	追加合格
個別学力検査等										200			200	
計	100	50	50	50	50	100				200			600	

指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。

平成31年度入学選抜の実施教科・科目等（一般入試）

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成30年度〕 〔志願倍率〕	学力検査等の 区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	
国際地域 創造学部 〔4.3〕 345人 前期224 後期48 その他73	国際地域 創造学科 (昼間主) 265人 前期180 後期35 その他50	(国際的思考系) 前期 60人 2月25日	国 地歴 公民 数理 外	国 世B, 日B, 地理Bから2①※ 世B, 日B, 地理Bから1 } ②※ 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 } ※地歴・公民は、①②のいずれかを選択する。 数I・数A, 数II・数B, 簿・会, 情報から1 (注) 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英 (リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1 (6教科6科目若しくは6教科7科目) 又は (5教科6科目若しくは5教科7科目)	外	英(コミュ英I ・コミュ英II ・コミュ英III ・英表I ・英表II) ※リスニング は除く	
		(論理的思考系) 前期 90人 2月25日			その他	小論文	
		(数学的思考系) 前期 30人 2月25日			数	(数I・数II・ 数A・数B)	
		(国際的思考系) 後期 15人 3月12日			その他	小論文(英語 資料読解)	
		(論理的思考系) 後期 20人 3月12日			その他	小論文	

(注) 数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の
○ 配点に*印を付してある教科は、選択教科を表す。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等														特別の選抜方法等
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査 音楽必須	音楽選択 筆記試験	面接	口頭 試問	小論文	調査書	配点 合計	
センター試験	200	*200 *1科目100点		100	100	200							800	推薦 国子女 外国人 追加合格
個別学力検査等						200							200	
計	200	200		100	100	400							1000	
センター試験	200	*200 *1科目100点		100	100	200							800	
個別学力検査等											200		200	
計	200	200		100	100	200					200		1000	
センター試験	200	*200 *1科目100点		100	100	200							800	
個別学力検査等				200									200	
計	200	200		300	100	200							1000	
センター試験	200	*200 *1科目100点		100	100	200							800	
個別学力検査等											300		300	
計	200	200		100	100	200					300		1100	
センター試験	200	*200 *1科目100点		100	100	200							800	
個別学力検査等											300		300	
計	200	200		100	100	200					300		1100	

指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。

平成31年度入学選抜の実施教科・科目等（一般入試）

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成30年度〕 〔志願倍率〕	学力検査等の 区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	
国際地域 創造学部 345人 前期224 後期48 その他73	国際地域 創造学科 (夜間主) 80人 前期44 後期13 その他23	(国際的思考系) 前期 20人 2月25日	国 地歴 公民 数理 外	国 世B, 日B, 地理Bから1 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 数I・数A, 数II・数B, 簿・会, 情報から1 (注) 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英 (リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1 (6教科6科目又は6教科7科目)	外	英(コミュ英I ・コミュ英II ・コミュ英III ・英表I ・英表II) ※リスニング は除く	
		(論理的思考系) 前期 24人 2月25日			その他	小論文	
		(国際的思考系) 後期 5人 3月12日	国 地歴 公民 数 外	国 世B, 日B, 地理Bから1 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 数I・数A, 数II・数B, 簿・会, 情報から1 (注) } から2※ ※地理歴史, 公民, 数学から2科目選択する。 英 (リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1 (4教科4科目)	その他	小論文(英語 資料読解)	
		(論理的思考系) 後期 8人 3月12日			その他	小論文	

(注) 数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の
○ 配点に*印を付してある教科は、選択教科を表す。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等													特別の選抜方法等	
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査 音楽必須	音楽選択 筆記試験	面接	口頭 試問	小論文	調査書		配点 合計
センター試験	200	100	100	100	100	200							800	推 薦 社 会 人 追加合格
個別学力検査等						300							300	
計	200	100	100	100	100	500							1100	
センター試験	200	100	100	100	100	200							800	
個別学力検査等											300		300	
計	200	100	100	100	100	200					300		1100	
センター試験	200	*200 *1科目100点					200						600	
個別学力検査等											200		200	
計	200	200					200				200		800	
センター試験	200	*200 *1科目100点					200						600	
個別学力検査等											200		200	
計	200	200					200				200		800	

指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。

平成31年度入学者選抜の実施教科・科目等（一般入試）

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成30年度〕 志願倍率	区 学 分 力 検 査 等 程 の	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等		
		教科	科 目 名 等		教科等	科目名等	2段階 選 抜
教育学部 〔3.7〕 140人 前期 91 後期 13 その他36	小学校教 育コース 学校教育 専攻 50人 前期 30 後期 8 その他12	前期 2月 25日 26日	国 地歴 公民 数	国 世B, 日B, 地理B } から1 現社, 倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英 (リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科6科目又は5教科7科目)	その他	小論文 面接	
		後期 3月 12日 13日	外		その他	実技検査 (面接を含む) *実技検査に ついては 44ページ 参照	
学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	小学校教 育コース 教科教育 専攻 45人 前期 20 後期 5 その他20	前期 2月 25日 26日	国 地歴 公民 数 理	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報から1 (注) 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英 (リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科5科目又は5教科6科目)	国 数	(国総・国表) (数Ⅰ・数Ⅱ・ 数A・数B)	
		後期 3月 12日	外		その他	面接 小論文	
	中学校教 育コース 教科教育 専攻 国語教育 専修 4人 前期 4	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数 理	国 世B, 日B, 地理B } から2 現社, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報から1 (注) 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英 (リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科6科目, 5教科7科目, 6教科6科目又は6教科7科目) ◎現社と倫・政経を2科目選択することはできない。	国 その他	(国総・国表) 面接	
	中学校教 育コース 教科教育 専攻 社会科教 育専修 3人 前期 3	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数 理	国 世B, 日B, 地理Bから1 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報から1 (注) 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英 (リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1 (6教科6科目又は6教科7科目)	その他	小論文 面接	

(注) 数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の
○ 配点に*印を付してある教科は、選択教科を表す。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等

試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査 音楽必須	音楽選択 筆記試験	面接	口頭 試問	小論文	調査書	配点 合計	特別の選 抜方法等
センター試験	200	*150		200	150	200							900	推 薦 追加合格
個別学力検査等								150			200	50	400	
計	200	*150		200	150	200			150		200	50	1300	
センター試験	200	*150		200	150	200							900	推 薦 追加合格
個別学力検査等							実技検査 600		実技検査 に含む				600	
計	200	*150		200	150	200	実技 検査 600						1500	
センター試験	200	*200		200	200	200							1000	推 薦 追加合格
個別学力検査等	200			200					100			50	550	
計	400	*200		400	200	200			100			50	1550	
センター試験	200	*200		200	200	200							1000	追加合格
個別学力検査等									100		400	50	550	
計	200	*200		200	200	200			100		400	50	1550	
センター試験	200	*200		100	100	200							800	追加合格
個別学力検査等	400								100				500	
計	600	*200		100	100	200			100				1300	
センター試験	200	200	200	100	100	200							1000	追加合格
個別学力検査等									100		500		600	
計	200	200	200	100	100	200			100		500		1600	

指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。

平成31年度入学者選抜の実施教科・科目等（一般入試）

学部・学科等名 及び入学定員等	区分 学力検査等 日程の	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等		
		教科	科目名等		教科等	科目名等	2段階 選抜
教育学部	中学校教育 コース 教科教育 専攻 数学教育 専修 5人 前期 5	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B } から1 現社, 倫・政経 数I・数A 数II・数B 物理, 化学, 生物, 地学から2 英 (リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目)	数 その他	(数I・数II・ 数III・数A・ 数B) 面接	
	中学校教育 コース 教科教育 専攻 理科教育 専修 5人 前期 5	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B } から1 現社, 倫・政経 数I・数A 数II・数B *下記の①, ②のいずれかから選択する。 ①物基, 化基, 生基, 地基から2 物理, 化学, 生物, 地学から1 [計3科目] ※ただし「同一名称を付した科目」の選択は認めない。(注1) ②物理, 化学, 生物, 地学から2 [計2科目] 英 (リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目又は5教科8科目)	理 数 その他	(物基・物理, 化基・化学, 生基・生物, 地基・地学 から1) (数I・数II・ 数A・数B) 面接	
	中学校教育 コース 教科教育 専攻 音楽教育 専修 3人 前期 3	前期 2月 25日 26日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B } から1 現社, 倫・政経 数I・数A, 数II・数B, 簿・会, 情報から1 (注2) 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英 (リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科5科目又は5教科6科目)	その他	音楽必須 (基礎 実技・筆記試験) 音楽選択 (選択実技) *実技検査等 については 42・43 ページ参照 面接(口頭試験を含む)	
	中学校教育 コース 教科教育 専攻 美術教育 専修 3人 前期 3	前期 2月 25日 26日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫・政経 数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, 簿・会, 情報から1 (注2) 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英 (リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科5科目又は5教科6科目) ※世A, 日A, 地理Aの科目を選択解答できる者は, 高等学校等 でこれらの科目を履修した者に限る。	その他	実技検査 筆記試験 *実技検査等 については 43ページ 参照 面接	
中学校教育 コース 教科教育 専攻 保健体育 専修 3人 前期 3	前期 2月 25日 26日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B } から1 現社, 倫・政経 数I・数A 数II・数B, 簿・会, 情報から1 (注2) [計2科目] 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英 (リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科6科目又は5教科7科目)	その他	実技検査 *実技検査に ついては 43ページ 参照 面接		

(注1) 「同一名称を付した科目の選択は認めない」とは, 物理基礎と物理, 化学基礎と化学, 生物基礎と生物, 地学基礎と地学の
(注2) 数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は, 高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣
○ 配点に*印を付してある教科は, 選択教科を表す。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等

試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査 音楽必須	音楽選択 筆記試験	面接	口頭 試問	小論文	調査書	競技歴 調査書	配点 合計	特別の選 抜方法等
センター試験	200	*100		200	200	200								900	追加合格
個別学力検査等				400					50					450	
計	200	*100		600	200	200			50					1350	
センター試験	200	*100		200	200	200								900	追加合格
個別学力検査等				100	200				200					500	
計	200	*100		300	400	200			200					1400	
センター試験	200	*100		100	100	200								700	追加合格
個別学力検査等							音楽 必須 250	音楽 選択 150	50			50		500	
計	200	*100		100	100	200	音楽 必須 250	音楽 選択 150	50			50		1200	
センター試験	200	*100		100	100	200								700	追加合格 帰国子女 外国人
個別学力検査等							実技 検査 300	筆記 試験 300	100					700	
計	200	*100		100	100	200	実技 検査 300	筆記 試験 300	100					1400	
センター試験	200	*100		200	100	200								800	追加合格
個別学力検査等							実技 検査 250		300			50	面接に 含む	600	
計	200	*100		200	100	200	実技 検査 250		300			50		1400	

科目を選択することは認めないことを指す。
の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。

平成31年度入学者選抜の実施教科・科目等（一般入試）

学部・学科等名 及び入学定員等		区分 学力検査 日程の	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		
			教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜
教育学部 学校教育 教育 教員 養成 課程	中学校教育 コース 教科教育 専攻 技術教育 専修 3人 前期 2 その他 1	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B } から1 現社, 倫・政経 数I・数A 数II・数B, 簿・会, 情報から1 (注) [計2科目] 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英 (リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科6科目又は5教科7科目)	数 その他	(数I・数II・ 数A・数B) 面接	
	中学校教育 コース 教科教育 専攻 生活科学 教育専修 3人 前期 3	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, 簿・会, 情報から1 (注) 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英 (リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科5科目又は5教科6科目)	その他	面接	
	中学校教育 コース 教科教育 専攻 英語教育 専修 3人 前期 2 その他 1	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bから1 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 数I・数A, 数II・数B, 簿・会, 情報から1 (注) 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英 (リスニングを含む) (6教科6科目又は6教科7科目)	外 その他	英(コミュ英I ・コミュ英II ・コミュ英III ・英表I ・英表II) ※リスニング は除く 英語による面接	
	特別支援 教育コース 特別支援 教育専攻 特別支援 教育専修 10人 前期 8 その他 2	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bから1 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 数I・数A 数II・数B, 簿・会, 情報から1 (注) [計2科目] 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英 (リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1 (6教科7科目又は6教科8科目)	その他	小論文 面接	

(注) 数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の
○ 配点に*印を付してある教科は、選択教科を表す。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等														特別の選抜方法等
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査 音楽必須	音楽選択 筆記試験	面接	口頭 試問	小論文	調査書	配点 合計	
センター試験	200	*50		200	200	200							850	推 薦 外 国 人 追加合格
個別学力検査等				200					200				400	
計	200	*50		400	200	200			200				1250	
センター試験	200	*100		100	100	200							700	追加合格
個別学力検査等									200			100	300	
計	200	*100		100	100	200			200			100	1000	
センター試験	200	100	100	50	100	300							850	推 薦 追加合格
個別学力検査等						250			200			50	500	
計	200	100	100	50	100	550			200			50	1350	
センター試験	200	50	50	200	100	200							800	推 薦 追加合格
個別学力検査等									200		100		300	
計	200	50	50	200	100	200			200		100		1100	

指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。

平成31年度入学者選抜の実施教科・科目等（一般入試）

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成30年度〕 〔志願倍率〕		区分・ 学力検査 日程の 日等	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等		
			教科	科目名等		教科等	科目名等	2段階 選抜
理学部 〔3.8〕 200人 前期147 後期42 その他11	数理科学科 40人 前期30 後期10	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B } から1 現社, 倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物理, 化学, 生物から2 英 (リスニングを含む)	(5教科7科目)	数	(数Ⅰ・数Ⅱ・ 数Ⅲ・数A・ 数B)	
		後期 3月 12日				理	(物基・物理, 化基・化学, 生基・生物 から1)	
物質地球 科学科 65人 物理系 前期28 後期7 その他5 地学系 前期20 後期5	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数 理 物 理 系 外	国 世B, 日B, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報から1 (注1) [計2科目] *下記の①, ②のいずれかから選択する。 ①物基 化基, 生基, 地基から1 化学, 生物, 地学から1 [計3科目] ※ただし, 「同一名称を付した科目」の選択は認めない。(注2) ②物理 化基, 生基, 地基から2 [計3科目] 又は 化学, 生物, 地学から1 [計2科目] 英 (リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目又は5教科8科目)	数	理	(数Ⅰ・数Ⅱ・ 数Ⅲ・数A・ 数B)	(物基・物理)	
						地学系	数	
		地学系 外	国 世B, 日B, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報から1 (注1) [計2科目] *下記の①, ②のいずれかから選択する。 ①物基, 化基, 生基, 地基から2 物理, 化学, 生物, 地学から1 [計3科目] ※ただし「同一名称を付した科目」の選択は認めない。(注2) ②物理, 化学, 生物, 地学から2 [計2科目] 英 (リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目又は5教科8科目)	数	理	(数Ⅰ・数Ⅱ・ 数Ⅲ・数A・ 数B)	(物基・物理, 化基・化学, 地基・地学 から1)	

(注1) 数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の
(注2) 「同一名称を付した科目の選択は認めない」とは、物理基礎と物理, 化学基礎と化学, 生物基礎と生物, 地学基礎と地学の科
○ 配点に*印を付してある教科は、選択教科を表す。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等														特別の選抜方法等
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査 音楽必須	音楽選択 筆記試験	面接	口頭 試問	小論文	調査書	配点 合計	
センター試験	200	*100		200	200	200							900	外国人 追加合格
個別学力検査等				400	200								600	
計	200	*100		600	400	200							1500	
センター試験	200	*100		200	200	200							900	
個別学力検査等				600									600	
計	200	*100		800	200	200							1500	
パターン A	センター試験	200	*100		200	200	200						900	推 薦 (物理系) 帰国子女 外国人 追加合格
	個別学力検査等				200	200							400	
	計	200	*100		400	400	200						1300	
パターン B	センター試験	100	*50		100	100	100						450	
	個別学力検査等				400	450							850	
	計	100	*50		500	550	100						1300	
上記のパターンA（大学入試センター試験重視）とパターンB（個別学力検査重視）のそれぞれの合計点を比較し、高得点の点数を利用して合否判定を行います。														
センター試験	200	*100		400	400	200							1300	
個別学力検査等				200	200								400	
計	200	*100		600	600	200							1700	

指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。
目を選択することは認めないことを指す。

平成31年度入学者選抜の実施教科・科目等（一般入試）

学部・学科等名 及び入学定員等		区分・ 学力検査等 日程の	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等		
			教科	科目名等		教科等	科目名等	2段階 選抜
理学部	物質地球 科学科 65人 物理系 前期28 後期7 その他5 地学系 前期20 後期5	後期	物理系	国 地歴 公民 数	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物理 物基, 生基, 地基から2 [計3科目] 又は 化学, 生物, 地学から1 [計2科目] 英 (リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目又は5教科8科目)	個別学力検査等は課さない		
		後期 3月 12日		地学系	国 地歴 公民 数	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B *下記の①, ②のいずれかから選択する。 ①物基, 化基, 生基, 地基から2 物理, 化学, 生物, 地学から1 [計3科目] ※ただし「同一名称を付した科目」の選択は認めない。(注1) ②物理, 化学, 生物, 地学から2 [計2科目] 英 (リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目又は5教科8科目)	その他	小論文
海洋自然 科学科 95人 化学系 前期32 後期10 その他5 生物系 前期37 後期10 その他1	前期 2月 25日	化学系	国 地歴 公民 数	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報から1 (注2) [計2科目] 化学 物基, 生基, 地基から2 [計3科目] 又は 物理, 生物, 地学から1 [計2科目] 英 (リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目又は5教科8科目)	数	(数Ⅰ・数Ⅱ・ 数Ⅲ・数A・ 数B)	理	(化基・化学)
			生物系	国 地歴 公民 数	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報から1 (注2) [計2科目] 物理, 化学, 生物, 地学から2 英 (リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目)	数		

(注1) 「同一名称を付した科目の選択は認めない」とは、物理基礎と物理、化学基礎と化学、生物基礎と生物、地学基礎と地学の科
(注2) 数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の
○ 配点に*印を付してある教科は、選択教科を表す。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等														特別の選抜方法等
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査 音楽必須	音楽選択 筆記試験	面接	口頭 試問	小論文	調査書	配点 合計	
センター試験	200	*100		400	400	200							1300	推薦 (物理系) 帰国子女 外国人 追加合格
個別学力検査等	大学入試センター試験の成績及び調査書の内容を総合判定して行う													
計														
センター試験	200	*100		400	400	200							1300	
個別学力検査等											200		200	
計	200	*100		400	400	200					200		1500	
センター試験	200	*100		200	200	200							900	推薦 帰国子女 外国人 追加合格
個別学力検査等				200	200								400	
計	200	*100		400	400	200							1300	
センター試験	200	*100		200	200	200							900	
個別学力検査等				100	300								400	
計	200	*100		300	500	200							1300	

目を選択することは認めないことを指す。
指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。

平成31年度入学者選抜の実施教科・科目等（一般入試）

学部・学科等名 及び入学定員等		区分 学力検査等 日程の	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等		
			教科	科目名等		教科等	科目名等	2段階 選抜
理学部	海洋自然科学科 95人	後期	化学系	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 化学 物基, 生基, 地基から2 [計3科目] 又は 物理, 生物, 地学から1 [計2科目] 英 (リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目又は5教科8科目)	個別学力検査等は課さない		
	化学系 前期32 後期10 その他5	後期 3月 12日			生物系	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物理, 化学, 生物, 地学から2 英 (リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目)	その他	小論文
	生物系 前期37 後期10 その他1							

○ 配点に*印を付してある教科は、選択教科を表す。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等														特別の選抜方法等
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査 音楽必須	音楽選択 筆記試験	面接	口頭 試問	小論文	調査書	配点 合計	
センター試験	200	*100		200	200	200							900	推 薦 婦国子女 外 国 人 追加合格
個別学力検査等	大学入試センター試験の成績及び調査書の内容を総合判定して行う													
計														
センター試験	200	*100		200	200	200							900	
個別学力検査等											200		200	
計	200	*100		200	200	200					200		1100	

平成31年度入学者選抜の実施教科・科目等（一般入試）

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成30年度〕 〔志願倍率〕	区分 学力検査等 日程の	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等		
		教科	科目名等		教科等	科目名等	2段階 選抜
医学部 〔6.2〕 172人 前期111 後期35 その他26 医学科 112人 前期70 後期25 その他17	前期 2月 25日 26日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B } から1 現社, 倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物理, 化学, 生物から2 英 (リスニングを含む)	(5教科7科目)	外	英(コミュ英Ⅰ ・コミュ英Ⅱ ・コミュ英Ⅲ ・英表Ⅰ ・英表Ⅱ) ※リスニング は除く	約5倍
	後期 3月 12日				数	(数Ⅰ・数Ⅱ・ 数Ⅲ・数A・ 数B)	
					その他	面接	
					その他	小論文 面接	約5倍
保健学科 60人 前期41 後期10 その他9	前期 2月 25日 26日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B } から1 現社, 倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物理, 化学, 生物から2 英 (リスニングを含む)	(5教科7科目)	数	(数Ⅰ・数Ⅱ・ 数Ⅲ・数A・ 数B)	
	後期 3月 12日				理	(物基・物理, 化基・化学, 生基・生物 から1)	
					その他	面接	
					その他	小論文 面接	

○ 配点に*印を付してある教科は、選択教科を表す。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等														特別の選抜方法等
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査 音楽必須	音楽選択 筆記試験	面接	口頭 試問	小論文	調査書	配点 合計	
センター試験	200	*100		200	200	200							900	推 薦 追加合格
個別学力検査等				200	200	200			200				800	
計	200	*100		400	400	400			200				1700	
センター試験	200	*100		200	200	300							1000	推 薦 帰国子女 外国人 追加合格
個別学力検査等									200		100		300	
計	200	*100		200	200	300			200		100		1300	
センター試験	300	*100		200	200	300							1100	推 薦 追加合格
個別学力検査等				100	200				100				400	
計	300	*100		300	400	300			100				1500	
センター試験	300	*100		200	200	300							1100	推 薦 追加合格
個別学力検査等									200		100		300	
計	300	*100		200	200	300			200		100		1400	

平成31年度入学選抜の実施教科・科目等（一般入試）

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成30年度〕 〔志願倍率〕	区 学 分 力 検 査 等 の 日 程	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等		
		教科	科 目 名 等		教科等	科目名等	2段階 選 抜
工学部 〔3.9〕 350人 前期206 後期40 その他104	工学科 350人 前期206 後期40 その他104	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物理 化基, 生基, 地基から2 [計3科目] 又は 化学, 生物, 地学から1 [計2科目] 英 (リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目又は5教科8科目)	数 理	(数Ⅰ・数Ⅱ・ 数Ⅲ・数A・ 数B) (物基・物理)	
		後期	数 理 外	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物理 化基, 生基, 地基から2 [計3科目] 又は 化学, 生物, 地学から1 [計2科目] 英 (リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1 (3教科5科目又は3教科6科目)		個別学力検査等は課さない	

○ 配点に*印を付してある教科は、選択教科を表す。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等													特別の選抜方法等	
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査 音楽必須	音楽選択 筆記試験	面接	口頭 試問	小論文	調査書		配点 合計
センター試験	200	*100		300	200	200							1000	AO入試 推薦 社会人 外国人 追加合格
個別学力検査等				300	200							150	650	
計	200	*100		600	400	200						150	1650	
センター試験				400	400	200							1000	
個別学力検査等												100	100	
計				400	400	200						100	1100	

平成31年度入学者選抜の実施教科・科目等（一般入試）

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成30年度〕 志願倍率		区分・検査等 の 日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		
			教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜
農学部 〔3.4〕 140人 前期 90 後期 21 その他 29	亜熱帯地 域農学科 35人 前期 22 後期 5 その他 8	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数 理	国 世B, 日B, 地理B } から1 現社, 倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B * 下記の①, ②のいずれかから選択する。 ①物基, 化基, 生基, 地基から2 物理, 化学, 生物, 地学から1 [計3科目] ※ただし「同一名称を付した科目」の選択は認めない。(注) ②物理, 化学, 生物, 地学から2 [計2科目]	数 理	(数Ⅰ・数Ⅱ・ 数A・数B) (物基・物理, 化基・化学, 生基・生物, 地基・地学 から1)	
		後期	外	英 (リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目又は5教科8科目)			
	亜熱帯農 林環境科 学科 35人 前期 21 後期 7 その他 7	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数 理	国 世B, 日B, 地理B } から1 現社, 倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B * 下記の①, ②のいずれかから選択する。 ①物基, 化基, 生基, 地基から2 物理, 化学, 生物, 地学から1 [計3科目] ※ただし「同一名称を付した科目」の選択は認めない。(注) ②物理, 化学, 生物, 地学から2 [計2科目]	数 理	(数Ⅰ・数Ⅱ・ 数A・数B) (物基・物理, 化基・化学, 生基・生物, 地基・地学 から1)	
		後期	外	英 (リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目又は5教科8科目)			
	地域農業 工学科 25人 前期 17 後期 3 その他 5	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数 理	国 世B, 日B, 地理B } から1 現社, 倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B * 下記の①, ②のいずれかから選択する。 ①物基, 化基, 生基, 地基から2 物理, 化学, 生物, 地学から1 [計3科目] ※ただし「同一名称を付した科目」の選択は認めない。(注) ②物理, 化学, 生物, 地学から2 [計2科目]	数 理	(数Ⅰ・数Ⅱ・ 数A・数B) (物基・物理, 化基・化学, 生基・生物, 地基・地学 から1)	
		後期	外	英 (リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目又は5教科8科目)			

(注) 「同一名称を付した科目の選択は認めない」とは、物理基礎と物理、化学基礎と化学、生物基礎と生物、地学基礎と地学の科目
○ 配点に*印を付してある教科は、選択教科を表す。

大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 ・ 個 別 学 力 検 査 等 の 配 点 等

試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査 音楽必須	音楽選択 筆記試験	面接	口頭 試問	小論文	調査書	配点 合計	特別の選 抜方法等
センター試験	200	*100		200	200	200							900	推 薦 帰国子女 外 国 人 追加合格
個別学力検査等				200	200								400	
計	200	*100		400	400	200							1300	
センター試験	200	*100		200	400	200							1100	推 薦 帰国子女 外 国 人 追加合格
個別学力検査等	大学入試センター試験の成績及び調査書の内容を総合判定して行う													
計														
センター試験	200	*100		200	200	200							900	推 薦 帰国子女 外 国 人 追加合格
個別学力検査等				200	200								400	
計	200	*100		400	400	200							1300	
センター試験	200	*100		200	400	200							1100	推 薦 帰国子女 外 国 人 追加合格
個別学力検査等	大学入試センター試験の成績及び調査書の内容を総合判定して行う													
計														
センター試験	200	*100		200	200	200							900	推 薦 帰国子女 外 国 人 追加合格
個別学力検査等				200	200								400	
計	200	*100		400	400	200							1300	
センター試験	200	*100		200	400	200							1100	推 薦 帰国子女 外 国 人 追加合格
個別学力検査等	大学入試センター試験の成績及び調査書の内容を総合判定して行う													
計														

を選択することは認めないことを指す。

平成31年度入学者選抜の実施教科・科目等（一般入試）

学部・学科等名 及び入学定員等		区分 学力検査 日程の	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			
			教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	
農学部	亜熱帯生物資源科学科 35人 前期22 後期6 その他7	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B } から1 現社, 倫・政経 数I・数A 数II・数B ＊下記の①, ②のいずれかから選択する。 ①物基, 化基, 生基, 地基から2 物理, 化学, 生物, 地学から1 [計3科目] ※ただし「同一名称を付した科目」の選択は認めない。(注) ②物理, 化学, 生物, 地学から2 [計2科目] 英 (リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目又は5教科8科目)	数 理	(数I・数II・ 数A・数B)	(物基・物理, 化基・化学, 生基・生物 から1)	2段階 選抜
		後期				個別学力検査等は課さない		
	亜熱帯生物資源科学科 健康栄養科学コース 10人 前期8 その他2	前期 2月 25日			数 理	(数I・数II・ 数A・数B)	(物基・物理, 化基・化学, 生基・生物 から1)	

(注)「同一名称を付した科目の選択は認めない」とは、物理基礎と物理、化学基礎と化学、生物基礎と生物、地学基礎と地学の科目
○ 配点に*印を付してある教科は、選択教科を表す。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等													特別の選抜方法等	
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査 音楽必須	音楽選択 筆記試験	面接	口頭 試問	小論文	調査書		配点 合計
センター試験	200	*100		200	200	200							900	推 薦 帰国子女 外国人 追加合格
個別学力検査等				200	200								400	
計	200	*100		400	400	200							1300	
センター試験	200	*100		200	400	200							1100	推 薦 追加合格
個別学力検査等	大学入試センター試験の成績及び調査書の内容を総合判定して行う													
計														
センター試験	200	*100		200	200	200							900	推 薦 追加合格
個別学力検査等				200	200								400	
計	200	*100		400	400	200							1300	

を選択することは認めないことを指す。

7. 実技検査等実施方法（教育学部）

（1）学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 音楽教育専修（推薦入試Ⅱ）

A ピアノによる弾き歌い

○次の楽曲のなかから任意の1曲を選んで、ピアノで弾き歌いをする。演奏・歌唱の際には、必ず1番と2番など、最低2コーラスは行うものとする。

「もみじ」 高野辰之 作詞・岡野貞一 作曲

「ふじ山」 文部省唱歌

「冬げしき」 文部省唱歌

注1：暗譜の必要はない。伴奏譜の選択は任意とし、各自で用意する。移調可とする。

2：試験前のピアノの練習は、可能です。

B 選択実技

下記の（ア）～（ウ）より1つ選択すること。

（ア）ピアノ

○F.J.ハイドン、W.A.モーツァルト、L.V.ベートーヴェンのソナタより第1楽章を演奏すること。

注：試験前のピアノの練習は、可能です。

（イ）声楽

○任意の声楽曲1曲を歌うこと。

注1：写真票の裏に、曲名、作曲者名を明記のこと。

2：伴奏の必要な者は、願書提出時にピアノ伴奏譜を同封すること（伴奏者は大学で準備する）。

（ウ）管弦打楽器

○任意の楽曲1曲を演奏すること。

○楽器は、次に指示したものより、1つ選択すること。

①管楽器

フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、リコーダー

②弦楽器

ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

③打楽器

マリンバ

注1：写真票の裏に曲名、作曲者名及び楽器名を明記のこと。

2：伴奏の必要な者は、願書提出時にピアノ伴奏譜を同封すること（伴奏者は大学で準備する）。

3：楽器は各自持参すること。

C 面接（口頭試問を含む）

（2）学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻 音楽教育専修（前期日程）

A 音楽必須（基礎実技・筆記試験）

（ア）聴音：8～12小節程度の単旋律書き取り

（イ）音楽理論の筆記試験

（ウ）ピアノによる弾き歌い

○次の楽曲のなかから任意の1曲を選んで、ピアノで弾き歌いをする。演奏・歌唱の際には、必ず1番と2番など、最低2コーラスは行うものとする。

「帰れソレントへ」 G.B.デ・クルティス 作詞・E.デ・クルティス 作曲
(原語・邦語のどちらでもよい)

「BELIEVE」 杉本竜一 作詞・作曲

「夏の思い出」 江間章子 作詞・中田喜直 作曲

注1：音楽理論については、基礎的な楽典、用語、音楽史などの内容を課す。

2：ピアノによる弾き歌いについては、暗譜の必要はない。伴奏譜の選択は任意とし、各自で用意する。移調可とする。

3：試験前のピアノの練習は、可能です。

B 音楽選択（選択実技）

下記の（ア）～（ウ）より1つ選択すること。

（ア）ピアノ

○F.J.ハイドン、W.A.モーツァルト、L.V.ベートーヴェンのソナタより第1楽章を演奏すること。

注：試験前のピアノ練習は、可能です。

（イ）声楽

○任意の声楽曲1曲を歌うこと。

注1：写真票の裏に、曲名を明記のこと。

2：伴奏の必要な者は、願書提出時にピアノ伴奏譜を同封すること（伴奏者は大学で準備する。）

（ウ）管弦打楽器

○任意の楽曲1曲を演奏すること。

○楽器は、次に指示したものより、1つ選択すること。

①管楽器

フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、リコーダー

②弦楽器

ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

③打楽器

マリンバ

注1：写真票の裏に曲名、作曲者名及び楽器名を明記のこと。

2：伴奏の必要な者は、願書提出時にピアノ伴奏譜を同封すること（伴奏者は大学で準備する。）

3：楽器は各自持参すること。

C 面接（口頭試問を含む）

（3）学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻 美術教育専修（前期日程）

A 実技検査	発想力及び造形力を評価する。	【解答時間 4時間】
B 筆記試験	鑑賞力や知識、造形教育への関心度及び発想力を評価する。	【解答時間 2時間】
C 面接	受験の動機、学習意欲、表現力及び適性を評価する。	

※実技検査に必要な用具・材料は大学側で準備する。

（4）学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻 保健体育専修（前期日程）

A 実技検査（「新体力テスト」を実施）

- ①握力 ②上体起こし ③長座体前屈 ④反復横とび ⑤20mシャトルラン
⑥50m走 ⑦立ち幅とび ⑧ハンドボール投げ

注1：上記のテスト8項目を体育館で全員が受験すること。

2：実技検査の際には、実技の服装及び体育館用運動靴を準備すること。

3：受験番号を記入したゼッケン（15cm×25cm）を各自で準備し、胸部につけること。

4：更衣室あり。

B 面接

学校教員としての資質や適性、運動・スポーツの専門家となるための資質や適性、専門種目についての理解と競技実績・成績（所定の「競技歴調査書」用紙に記載）などを総合的に評価する。

(5) 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 学校教育専攻 (後期日程)

実技検査 (面接を含む)

当日与えられた課題についての理解力・思考力・表現力を以下の3点からみる。

- (ア) 作文
- (イ) 身体, 言葉, 音楽, 造形による創造的な表現
- (ウ) 面接 (課題についての口述試験も含む)

注1: 実技検査は大学が当日準備する用具 (原稿用紙, 画材, 楽器など) を用いて行う。

2: 運動着が必要な者は各自で準備する。

3: (イ) の創造的な表現については, 一人3分以内でプレゼンテーションを行う。

8. AO入試 (アドミッション・オフィス入試)

実施学部 ・学科等	工学部 工学科																
募集人員	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">機械工学コース</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">6名</td> <td style="width: 50%;">エネルギー環境工学コース</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">10名</td> </tr> <tr> <td>電気システム工学コース</td> <td style="text-align: center;">2名</td> <td>電子情報通信コース</td> <td style="text-align: center;">4名</td> </tr> <tr> <td>社会基盤デザインコース</td> <td style="text-align: center;">5名</td> <td>建築学コース</td> <td style="text-align: center;">2名</td> </tr> <tr> <td>知能情報コース</td> <td style="text-align: center;">7名</td> <td></td> <td style="text-align: center;">計36名</td> </tr> </table>	機械工学コース	6名	エネルギー環境工学コース	10名	電気システム工学コース	2名	電子情報通信コース	4名	社会基盤デザインコース	5名	建築学コース	2名	知能情報コース	7名		計36名
機械工学コース	6名	エネルギー環境工学コース	10名														
電気システム工学コース	2名	電子情報通信コース	4名														
社会基盤デザインコース	5名	建築学コース	2名														
知能情報コース	7名		計36名														
出願要件	<p>1. 次のいずれかに該当し, 合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は平成31年3月31日までに卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は平成31年3月31日までに修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則 (昭和22年文部省令第11号) 第150条の規定により, 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は平成31年3月31日までにこれに該当する見込みの者 <p>2. 学業成績優秀で, 全体の評定平均値が3.5以上の者</p> <p>3. 工学部工学科で学ぶための一定の基礎学力と強い意欲を持つ者</p> <p>※1. の(3)に該当する志願者は, 平成30年7月6日 (金) までに, あらかじめ工学部学務係へ相談すること。</p>																
選抜方法等	<p>志願理由書, 自己推薦書, 活動内容を証明する資料, 活動内容を証明する資料の概要, 調査書を総合して第1次選考を行い, 合格者に対し第2次選考 (個別面接) を実施し, 総合して選考する。</p> <p>1. 第1次選考 (書類選考)</p> <p>○提出書類</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 志願理由書 (入学後に何をどのように学びたいか1000字程度で記述してください。) (2) 自己推薦書 (高等学校における学業等に関する活動 (勉学の経過, 資格取得, 科学作品等の受賞等) とその他の活動 (生徒会活動, クラブ活動, ボランティア活動等) について, 合計1000字程度で自己のアピールをしてください。自己推薦書の内容を1次面接で確認して2次面接の課題を決定します。) (3) 活動内容を証明する資料 (上記自己推薦書に記載した活動の証拠となる資料を最大5件まで添付してください。) (4) 活動内容を証明する資料の概要 (上記証明資料の概要を記入してください。) (5) 調査書 (高等学校長等が発行するもの) <p>2. 第2次選考 (個別面接)</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 1次面接 志願理由書及び自己推薦書を基に面接します。また, 数学, 物理の基礎に関する口頭試問を実施します。 																

選抜方法等	<p>(2) 2次面接（プレゼンテーション） 1次面接終了後、興味がある技術分野や高等学校等における活動に関する2次面接の課題を決定します。2次面接では、受験者は、決定した課題について10分程度の口頭発表形式でプレゼンテーション（液晶プロジェクター、レジュメ、ポスター等を使用）を行った後、質疑応答を実施します。各コースの課題は以下のとおりです。</p> <p>【機械工学コース】 本コースでは以下の2つの課題についてプレゼンテーションをしてもらいます。 1) 機械工学分野（材料力学、材料・工作、熱工学、流体力学、制御工学等）における本人の興味ある技術内容について出題 2) これまでの本人の活動における優れた特質、経験や成果について出題</p> <p>【エネルギー環境工学コース】 本コースでは以下の2つの課題についてプレゼンテーションをしてもらいます。 1) エネルギー・環境分野（エネルギー工学、環境システム、設計・計測等）における本人の興味ある技術内容について出題 2) これまでの本人の活動における優れた特質、経験や成果について出題</p> <p>【電気システム工学コース】 電力工学、電力変換、電気機器、制御工学、ロボティックスの専門分野から出題</p> <p>【電子情報通信コース】 電子材料・デバイス、電子回路、通信工学、計測工学、計算機工学の専門分野から出題</p> <p>【社会基盤デザインコース】 本コースでは以下の2つの課題についてプレゼンテーションをもらいます。 1) ①自然環境を生かした観光都市・しまづくり、②自然災害に対する防災・減災技術、③橋・ダム・空港・鉄道等の社会基盤施設の3分野のうち、興味のある技術分野について出題 2) これまでの本人の活動における優れた特質、経験や成果について出題</p> <p>【建築学コース】 建築のデザインと技術、防災と安全性、気候風土と生活環境、都市計画の専門課題の中から出題</p> <p>【知能情報コース】 本コースでは以下の2つの課題の中から1つもしくは両方についてプレゼンテーションをもらいます。 1) これから知能情報技術関連で学びたいことに関する意欲をはかる出題 2) これまでの本人の活動における優れた特質、経験や成果について出題</p> <p>※第2次選考においては、1次面接及び2次面接が第1次選考の合格者全員に課せられます。</p>
出願期間	平成30年8月1日（水）～8月7日（火）
第2次選考	1次面接：平成30年9月 6日（木）、（ 8日（土）） 2次面接：平成30年9月20日（木）、（21日（金）） ※（ ）内は暴風警報の発令等で期日に試験が実施できない場合の日程
合格発表	第1次選考合格発表：平成30年8月22日（水） 最終合格発表：平成30年10月2日（火）
入学手続	平成30年10月16日（火）
その他	入学前教育：必要に応じて個別に対応します。

9. 推薦入試 I (大学入試センター試験を課さない)

推薦入試 I - 1

実施学部 ・学科等	国際地域創造学部 国際地域創造学科	
	昼間主コース	夜間主コース
募集人員	50名 (うち専門高校卒業生枠 5名)	13名 (うち専門高校卒業生枠 2名)
出願要件	<p>次の(1)～(3)又は(4)に該当する者</p> <p>(1) 高等学校等(*)を平成31年3月卒業(修了)見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者 なお、専門高校卒業生枠にあっては高等学校の商業または観光関連学科を平成31年3月に卒業見込みの者</p> <p>(2) 学習成績・人物が優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者 なお、学習成績概評が㊤又はAに属する者</p> <p>(3) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(4) 本学において、個別の入学資格審査により、上記(1)～(3)と同等以上であると認められ、入学資格認定書の交付を受けた者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>○上記(4)に該当する志願者は、平成30年8月31日(金)までにあらかじめ本学入試課へ相談すること。</p>	
選抜方法等	<p>大学入試センター試験を免除し、高等学校等の長の推薦に基づき、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考する。</p> <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小論文 ・面接 	
出願期間	平成30年11月1日(木)～11月8日(木)	
選抜期日	平成30年12月4日(火)	
合格発表	平成30年12月14日(金)	
その他	各高等学校等の長が推薦できる人数は、別表1(71ページ)に定めるとおりとする。	

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程をいう。

実施学部 ・学科等	教育学部 学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻 技術教育専修
募集人員	1名
出願要件	<p>次の(1)～(3)又は(4)に該当する者</p> <p>(1) 高等学校等(*)を平成31年3月卒業(修了)見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(2) 高等学校等の学習成績・人物が優秀で、技術の分野に強い関心と勉学意欲を有し、数学及び理科の評定平均値が各々4.3以上かつ全体の評定平均値が4.0以上の者で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者</p> <p>(3) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(4) 本学において、個別の入学資格審査により、上記(1)～(3)と同等以上であると認められ、入学資格認定書の交付を受けた者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>○上記(4)に該当する志願者は、平成30年8月31日(金)までにあらかじめ本学入試課へ相談すること。</p>
選抜方法等	<p>大学入試センター試験を免除し、高等学校等の長の推薦に基づき、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考する。</p> <p>○個別学力検査等</p> <p>・口頭試問を含む面接</p>
出願期間	平成30年11月1日(木)～11月8日(木)
選抜期日	平成30年12月4日(火)
合格発表	平成30年12月14日(金)
その他	各高等学校等の長が推薦できる人数は、別表1(71ページ)に定めるとおりとする。

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程をいう。

実施学部 ・学科等	農学部 亜熱帯地域農学科・亜熱帯農林環境科学科・地域農業工学科 ・亜熱帯生物資源科学科（健康栄養科学コースを含む）
募集人員	27名 ①亜熱帯地域農学科 7名（農業関連学科枠 4名，その他学科枠 3名） ②亜熱帯農林環境科学科 7名（農業関連学科枠 4名，その他学科枠 3名） ③地域農業工学科 5名（農業関連学科枠 2名，その他学科枠 3名） ④亜熱帯生物資源科学科 6名（農業関連学科枠 3名，その他学科枠 3名） ⑤亜熱帯生物資源科学科（健康栄養科学コース） 2名（募集枠は区分しない）
出願要件	次の（１）～（３）又は（４）に該当する者 （１）高等学校等（*）を平成31年3月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者 （２）高等学校等の学習成績・人物が優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者 なお、学習成績概評が㊸に属する者 （３）合格した場合は、入学することを確約できる者 （４）本学において、個別の入学資格審査により、上記（１）～（３）と同等以上であると認められ、入学資格認定書の交付を受けた者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの ○上記（４）に該当する志願者は、平成30年8月31日（金）までにあらかじめ本学入試課へ相談すること。
選抜方法等	大学入試センター試験を免除し、高等学校等の長の推薦に基づき、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考する。 ○個別学力検査等 ・小論文 ・面接
出願期間	平成30年11月1日（木）～11月8日（木）
選抜期日	平成30年12月 4日（火）
合格発表	平成30年12月14日（金）
その他	各高等学校等の長が推薦できる人数は、別表1（71ページ）に定めるとおりとする。

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程をいう。

○「英語重視」

推薦入試 I - 4 「英語重視」

実施学部・学科等	教育学部 学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻 英語教育専修
募集人員	1名
出願要件	<p>次の(1)～(4)又は(5)に該当する者</p> <p>(1) 高等学校等(*)を平成31年3月卒業(修了)見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(2) 学習成績・人物が優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で全体の評定平均値が4.2以上のもの</p> <p>(3) 高等学校等在学時に外国留学(英語圏に限定しない)の経験年数が10か月以上あり、かつ次のいずれかに該当する者</p> <p>① 実用英語技能検定試験で準1級以上を取得した者</p> <p>② TOEFL試験でiBT61点以上を取得した者</p> <p>③ TOEIC Listening & Reading Testで600点以上を取得した者</p> <p>(4) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(5) 本学において、個別の入学資格審査により、上記(1)～(4)と同等以上であると認められ、入学資格認定書の交付を受けた者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>○上記(5)に該当する志願者は、平成30年8月31日(金)までにあらかじめ本学入試課へ相談すること。</p>
選抜方法等	<p>大学入試センター試験を免除し、高等学校等の長の推薦に基づき、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考する。</p> <p>○個別学力検査等</p> <p>・面接(英語による面接)</p>
出願期間	平成30年11月1日(木)～11月8日(木)
選抜期日	平成30年12月4日(火)
合格発表	平成30年12月14日(金)
その他	各高等学校等の長が推薦できる人数は、別表1(71ページ)に定めるとおりとする。

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程をいう。

実施学部 ・学科等	農学部 亜熱帯地域農学科・亜熱帯農林環境科学科・地域農業工学科 ・亜熱帯生物資源科学科（健康栄養科学コースを除く）
募集人員	4学科で2名
出願要件	<p>次の（１）～（５）又は（６）に該当する者</p> <p>（１）高等学校等（*）を平成31年3月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込の者</p> <p>（２）特に農林畜産業，食料・環境問題，生物資源・環境（動植物，土壌，森林等）の分野に強い関心と勉学意欲がある者</p> <p>（３）高等学校等の学習成績・人物が優秀で，出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で全体の評定平均値が4.0以上のもの</p> <p>（４）高等学校在学時に外国留学（英語圏に限定しない）の経験年数が10か月以上あり，かつ次のいずれかに該当する者</p> <p>① 実用英語技能検定試験で2級以上を取得した者</p> <p>② TOEFL試験でiBT48点以上を取得した者</p> <p>③ TOEIC Listening & Reading Test で520点以上を取得した者</p> <p>（５）格した場合は，入学することを確約できる者</p> <p>（６）本学において，個別の入学資格審査により，上記（１）～（５）と同等以上であると認められ，入学資格認定書の交付を受けた者で，平成31年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>○上記（６）に該当する志願者は，平成30年8月31日（金）までにあらかじめ本学入試課へ相談すること。</p>
選抜方法等	<p>大学入試センター試験を免除し，高等学校等の長の推薦に基づき，個別学力検査等の成績，調査書，推薦書及び志願理由書を総合して選考する。</p> <p>○個別学力検査等</p> <p>・面接（英語による面接）</p>
出願期間	平成30年11月1日（木）～11月8日（木）
選抜期日	平成30年12月 4日（火）
合格発表	平成30年12月14日（金）
その他	各高等学校等の長が推薦できる人数は，別表1（71ページ）に定めるとおりとする。

*「高等学校等」とは，高等学校，高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程をいう。

10. 推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す）

推薦入試Ⅱ－1

実施学部・学科等	人文社会学部 国際法政学科
募集人員	12名
出願要件	<p>次の（１）～（３）又は（４）に該当する</p> <p>（１）高等学校等（＊）を平成31年3月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者</p> <p>（２）学習成績・人物が優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者 なお、学習成績概評が㊤に属する者</p> <p>（３）合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>（４）本学において、個別の入学資格審査により、上記（１）～（３）と同等以上であると認められ、入学資格認定書の交付を受けた者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>○上記（４）に該当する志願者は、平成30年8月31日（金）までにあらかじめ本学入試課へ相談すること。</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、大学入試センター試験の成績、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考する。</p> <p>○大学入試センター試験利用教科・科目（6教科6科目又は6教科7科目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国（国） ・地歴（世B、日B、地理Bから1） ・公民（現社、倫、政経、倫・政経から1） ・数（数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B、簿・会、情報から1）（注） ・理（物基、化基、生基、地基から2） 又は （物理、化学、生物、地学から1） ・外（英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1） <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小論文 ・面接 <p>備考 （注）：数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。</p>
出願期間	平成30年11月1日（木）～11月8日（木）
選抜期日	平成30年12月4日（火）
合格発表	平成31年2月8日（金）
その他	各高等学校等の長が推薦できる人数は、別表1（71ページ）に定めるとおりとする。

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程をいう。

実施学部 ・学科等	人文社会学部 人間社会学科
募集人員	哲学・教育学プログラム 5名
	心理学プログラム 8名
	社会学プログラム 8名
出願要件	<p>次の（１）～（３）又は（４）に該当する者</p> <p>（１）高等学校等(*)を平成31年3月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者</p> <p>（２）学習成績・人物が優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者 なお、学習成績概評が㊤又はAに属する者</p> <p>（３）合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>（４）本学において、個別の入学資格審査により、上記（１）～（３）と同等以上であると認められ、入学資格認定書の交付を受けた者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>○上記（４）に該当する志願者は、平成30年8月31日（金）までにあらかじめ本学入試課へ相談すること。</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、大学入試センター試験の成績、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考する。 ただし、大学入試センター試験の合計点が50%に満たない場合は不合格とする。</p> <p>○大学入試センター試験利用教科・科目 （5教科6科目若しくは5教科7科目）又は（6教科6科目若しくは6教科7科目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国（国） ・地歴（世B、日B、地理Bから2）①※ ・地歴（世B、日B、地理Bから1） ・公民（現社、倫、政経、倫・政経から1） <p style="margin-left: 2em;">} ②※</p> <p style="margin-left: 2em;">※地歴・公民は、①②のいずれかを選択する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数（数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B、簿・会、情報から1）（注） ・理（物基、化基、生基、地基から2） 又は （物理、化学、生物、地学から1） ・外（英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1） <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小論文 ・面接 <p>備考 （注）：数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。</p>
出願期間	平成30年11月1日（木）～11月8日（木）
選抜期日	平成30年12月4日（火）
合格発表	平成31年2月8日（金）
その他	各高等学校等の長が推薦できる人数は、別表1（71ページ）に定めるとおりとする。

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程をいう。

実施学部 ・学科等	人文社会学部 琉球アジア文化学科
募集人員	6名
出願要件	<p>次の(1)～(3)又は(4)に該当する者</p> <p>(1) 高等学校等(*)を平成31年3月卒業(修了)見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(2) 学習成績・人物が優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者 なお、学習成績概評が㊤に属する者</p> <p>(3) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(4) 本学において、個別の入学資格審査により、上記(1)～(3)と同等以上であると認められ、入学資格認定書の交付を受けた者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>○上記(4)に該当する志願者は、平成30年8月31日(金)までにあらかじめ本学入試課へ相談すること。</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、大学入試センター試験の成績、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考する。</p> <p>○大学入試センター試験利用教科・科目(6教科6科目又は6教科7科目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国 (国) ・地歴 (世B, 日B, 地理Bから1) ・公民 (現社, 倫・政経から1) ・数 (数I・数A, 数II・数B, 簿・会, 情報から1)(注) ・理 (物基, 化基, 生基, 地基から2) 又は (物理, 化学, 生物, 地学から1) ・外 (英(リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1) <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小論文 ・面接 <p>備考 (注): 数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)の者に限る。</p>
出願期間	平成30年11月1日(木)～11月8日(木)
選抜期日	平成30年12月4日(火)
合格発表	平成31年2月8日(金)
その他	各高等学校等の長が推薦できる人数は、別表1(71ページ)に定めるとおりとする。

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程をいう。

実施学部・学科等	教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 学校教育専攻	
募集人員	沖縄県内地域指定推薦 4名	一般推薦 8名
出願要件	<p>いずれの推薦枠も、出身高等学校等の長が次の件について人物および能力等に責任を持って推薦できる者とする。</p> <p>(1) 学習成績が優秀で、小学校教員として活躍する強い意欲およびそれにふさわしい資質を持つ者</p> <p>(2) 児童の育成に熱意をもってあたり、地域の教育の担い手として活躍できる者として認めることができる者</p>	
	<p>次の(1)～(5)又は(6)に該当する者</p> <p>(1) 高等学校等(*)を平成31年3月卒業(修了)見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(2) 沖縄県北部地域(大宜味村, 今帰仁村, 本部町, 名護市, 宜野座村)ならびに沖縄県内離島地域(宮古島市, 石垣市, 久米島町)に所在する高等学校を卒業見込みの者</p> <p>(3) 学習成績・人物ともに優秀で、出身高等学校等の長が責任を持って推薦できる者で、全体の評定平均値が4.3以上のもの</p> <p>(4) 将来沖縄本島北部地域ならびに離島地域における小学校教育活動に貢献する強い意志がある者</p> <p>(5) 合格した場合には、入学することを確約できる者</p> <p>(6) 本学において、個別の入学資格審査により、上記(1)～(5)と同等以上であると認められ、入学資格認定書の交付を受けた者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>○上記(6)に該当する志願者は、平成30年8月31日(金)までにあらかじめ本学入試課へ相談すること。</p>	<p>次の(1)～(4)又は(5)に該当する者</p> <p>(1) 高等学校等(*)を平成31年3月卒業(修了)見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(2) 学習成績・人物ともに優秀で、出身高等学校等の長が責任を持って推薦できる者で、全体の評定平均値が4.3以上のもの</p> <p>(3) 将来小学校教育活動に貢献する強い意志がある者</p> <p>(4) 合格した場合には、入学することを確約できる者</p> <p>(5) 本学において、個別の入学資格審査により、上記(1)～(4)と同等以上であると認められ、入学資格認定書の交付を受けた者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>○上記(5)に該当する志願者は、平成30年8月31日(金)までにあらかじめ本学入試課へ相談すること。</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、大学入試センター試験の成績の合計点が450点以上の者で、個別学力検査等の成績を中心に、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考する。</p> <p>○大学入試センター試験利用教科・科目(5教科6科目又は5教科7科目)</p> <p>・国(国)</p> <p>・地歴(世B, 日B, 地理B) } から1</p> <p>・公民(現社, 倫・政経)</p> <p>・数(数I・数A)</p> <p>(数II・数B)</p> <p>・理(物基, 化基, 生基, 地基から2)</p> <p>又は</p> <p>(物理, 化学, 生物, 地学から1)</p> <p>・外(英(リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1)</p> <p>○個別学力検査等</p> <p>・小論文</p> <p>・面接</p>	
出願期間	平成30年11月1日(木)～11月8日(木)	
選抜期日	平成30年12月4日(火)	
合格発表	平成31年2月8日(金)	
その他	各高等学校等の長が推薦できる人数は、別表1(71ページ)に定めるとおりとする。	

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程をいう。

実施学部・学科等	教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 国語教育専修
募集人員	2名
出願要件	<p>小学校教員になることを目指しており，次の（１）～（３）又は（４）に該当する者</p> <p>（１）高等学校等（＊）を平成２９年４月１日から平成３１年３月３１日までに卒業（修了）した者又は卒業（修了）見込みの者</p> <p>（２）学習成績・人物ともに優秀で，出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で，全体の評定平均値が４．３以上のもの</p> <p>（３）合格した場合は，入学することを確約できる者</p> <p>（４）本学において，個別の入学資格審査により，上記（１）～（３）と同等以上であると認められ，入学資格認定書の交付を受けた者で，平成３１年３月３１日までに１８歳に達するもの</p> <p>○上記（４）に該当する志願者は，平成３０年８月３１日（金）までにあらかじめ本学入試課へ相談すること。</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき，大学入試センター試験の成績が合計点の５０％以上の者で，小論文と面接（口頭試問を含む）の成績を中心に，調査書，推薦書及び志願理由書を総合して選考する。</p> <p>○大学入試センター試験利用教科・科目（５教科５科目又は５教科６科目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国（国） ・地歴（世Ａ，世Ｂ，日Ａ，日Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ） ・公民（現社，倫，政経，倫・政経） ・数（数Ⅰ，数Ⅰ・数Ａ，数Ⅱ，数Ⅱ・数Ｂ，簿・会，情報から１）（注） ・理（物基，化基，生基，地基から２） <p>又は</p> <ul style="list-style-type: none"> （物理，化学，生物，地学から１） ・外（英（リスニングを含む），独，仏，中，韓から１） <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小論文 ・口頭試問を含む面接 <p>備考 （注）：数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は，高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。</p>
出願期間	平成３０年１１月１日（木）～１１月８日（木）
選抜期日	平成３０年１２月４日（火）
合格発表	平成３１年２月８日（金）
その他	各高等学校等の長が推薦できる人数は，別表１（７１ページ）に定めるとおりとする。

*「高等学校等」とは，高等学校，高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程をいう。

実施学部・学科等	教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 社会科教育専修
募集人員	2名
出願要件	<p>小学校教員になることを目指しており、次の(1)～(3)又は(4)に該当する者</p> <p>(1) 高等学校等(*)を平成29年4月1日から平成31年3月31日までに卒業(修了)した者又は卒業(修了)見込みの者</p> <p>(2) 学習成績・人物ともに優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者</p> <p>(3) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(4) 本学において、個別の入学資格審査により、上記(1)～(3)と同等以上であると認められ、入学資格認定書の交付を受けた者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>○上記(4)に該当する志願者は、平成30年8月31日(金)までにあらかじめ本学入試課へ相談すること。</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、大学入試センター試験の成績が合計点の50%以上の者で、小論文と面接の成績を中心に、推薦書及び志願理由書を総合して選考する。</p> <p>○大学入試センター試験利用教科・科目(5教科5科目又は5教科6科目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国 (国) ・地歴 (世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B) } から1 ・公民 (現社, 倫, 政経, 倫・政経) ・数 (数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, 簿・会, 情報から1) (注) ・理 (物基, 化基, 生基, 地基から2) <p>又は</p> <p>(物理, 化学, 生物, 地学から1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外 (英(リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1) <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小論文 ・面接 <p>備考</p> <p>(注): 数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)の者に限る。</p>
出願期間	平成30年11月1日(木)～11月8日(木)
選抜期日	平成30年12月4日(火)
合格発表	平成31年2月8日(金)
その他	各高等学校等の長が推薦できる人数は、別表1(71ページ)に定めるとおりとする。

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程をいう。

実施学部 ・学科等	教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 数学教育専修
募集人員	2名
出願要件	<p>小学校教員になることを目指しており、次の(1)～(3)又は(4)に該当する者</p> <p>(1) 高等学校等(*)を平成29年4月1日から平成31年3月31日までに卒業(修了)した者又は卒業(修了)見込みの者</p> <p>(2) 学習成績・人物ともに優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、全体の評定平均値が4.3以上のもの</p> <p>(3) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(4) 本学において、個別の入学資格審査により、上記(1)～(3)と同等以上であると認められ、入学資格認定書の交付を受けた者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>○上記(4)に該当する志願者は、平成30年8月31日(金)までにあらかじめ本学入試課へ相談すること。</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、大学入試センター試験の成績、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考する。</p> <p>○大学入試センター試験利用教科・科目(5教科5科目又は5教科6科目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国 (国) ・地歴(世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B) ・公民(現社, 倫, 政経, 倫・政経) ・数(数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, 簿・会, 情報から1)(注1) ・理(物基, 化基, 生基, 地基から2) <p style="text-align: center;">又は</p> <ul style="list-style-type: none"> (物理, 化学, 生物, 地学から1) ・外(英(リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1) <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口頭試問(数I・数II・数III・数A・数B)を含む面接(注2) <p>備考</p> <p>(注1): 数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)の者に限る。</p> <p>(注2): 口頭試問の出題範囲については、数I, 数II, 数IIIの全範囲, 数Aの全範囲, 数Bの「数列」と「ベクトル」とする。</p>
出願期間	平成30年11月1日(木)～11月8日(木)
選抜期日	平成30年12月4日(火)
合格発表	平成31年2月8日(金)
その他	各高等学校等の長が推薦できる人数は、別表1(71ページ)に定めるとおりとする。

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程をいう。

実施学部・学科等	教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 理科教育専修
募集人員	2名
出願要件	<p>小学校教員になることを目指しており、次の（１）～（３）又は（４）に該当する者</p> <p>（１）高等学校等（＊）を平成２９年４月１日から平成３１年３月３１日までに卒業（修了）した者又は卒業（修了）見込みの者</p> <p>（２）学習成績・人物ともに優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、全体の評定平均値が４．０以上のもの</p> <p>（３）合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>（４）本学において、個別の入学資格審査により、上記（１）～（３）と同等以上であると認められ、入学資格認定書の交付を受けた者で、平成３１年３月３１日までに１８歳に達するもの</p> <p>○上記（４）に該当する志願者は、平成３０年８月３１日（金）までにあらかじめ本学入試課へ相談すること。</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、大学入試センター試験および面接（口頭試問を含む）の成績を中心に、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考する。</p> <p>○大学入試センター試験利用教科・科目（５教科５科目又は５教科６科目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国（国） ・地歴（世Ａ，世Ｂ，日Ａ，日Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ） ・公民（現社，倫，政経，倫・政経） ・数（数Ⅰ，数Ⅰ・数Ａ，数Ⅱ，数Ⅱ・数Ｂ，簿・会，情報から１）（注） ・理（物基，化基，生基，地基から２） <p style="text-align: right;">} から１</p> <p style="text-align: center;">又は</p> <ul style="list-style-type: none"> （物理，化学，生物，地学から１） ・外（英（リスニングを含む），独，仏，中，韓から１） <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口頭試問を含む面接 <p>備考 （注）：数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。</p>
出願期間	平成３０年１１月１日（木）～１１月８日（木）
選抜期日	平成３０年１２月４日（火）
合格発表	平成３１年２月８日（金）
その他	各高等学校等の長が推薦できる人数は、別表１（７１ページ）に定めるとおりとする。

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程をいう。

実施学部 ・学科等	教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 音楽教育専修
募集人員	2名
出願要件	<p>小学校教員になることを目指しており、次の(1)～(3)又は(4)に該当する者</p> <p>(1) 高等学校等(*)を平成29年4月1日から平成31年3月31日までに卒業(修了)した者又は卒業(修了)見込みの者</p> <p>(2) 学習成績・人物ともに優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、全体の評定平均値が4.0以上のもの</p> <p>(3) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(4) 本学において、個別の入学資格審査により、上記(1)～(3)と同等以上であると認められ、入学資格認定書の交付を受けた者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>○上記(4)に該当する志願者は、平成30年8月31日(金)までにあらかじめ本学入試課へ相談すること。</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、大学入試センター試験の成績、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考する。</p> <p>ただし、大学入試センター試験の合計点が50%に満たない場合は不合格とする。</p> <p>○大学入試センター試験利用教科・科目(5教科5科目又は5教科6科目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国 (国) ・地歴(世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B) } から1 ・公民(現社, 倫, 政経, 倫・政経) ・数(数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, 簿・会, 情報から1)(注) ・理(物基, 化基, 生基, 地基から2) <p>又は</p> <p>(物理, 化学, 生物, 地学から1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外(英(リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1) <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実技検査(ピアノによる弾き歌い・選択実技) ・小論文 ・口頭試問を含む面接 <p>備考 (注): 数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)の者に限る。</p>
出願期間	平成30年11月1日(木)～11月8日(木)
選抜期日	平成30年12月4日(火)
合格発表	平成31年2月8日(金)
その他	各高等学校等の長が推薦できる人数は、別表1(71ページ)に定めるとおりとする。

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程をいう。

実施学部・学科等	教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 美術教育専修
募集人員	2名
出願要件	<p>小学校教員になることを目指しており、次の（１）～（３）又は（４）に該当する者</p> <p>（１）高等学校等（＊）を平成２９年４月１日から平成３１年３月３１日までに卒業（修了）した者又は卒業（修了）見込みの者</p> <p>（２）学習成績・人物が優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、全体の評定平均値が４．０以上のもの</p> <p>（３）合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>（４）本学において、個別の入学資格審査により、上記（１）～（３）と同等以上であると認められ、入学資格認定書の交付を受けた者で、平成３１年３月３１日までに１８歳に達するもの</p> <p>○上記（４）に該当する志願者は、平成３０年８月３１日（金）までにあらかじめ本学入試課へ相談すること。</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、大学入試センター試験の成績、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考する。</p> <p>○大学入試センター試験利用教科・科目（５教科５科目又は５教科６科目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国（国） ・地歴（世Ａ，世Ｂ，日Ａ，日Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ） ・公民（現社，倫，政経，倫・政経） <p style="text-align: right;">} から１</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数（数Ⅰ，数Ⅰ・数Ａ，数Ⅱ，数Ⅱ・数Ｂ，簿・会，情報から１）（注） ・理（物基，化基，生基，地基から２） <p style="text-align: center;">又は</p> <ul style="list-style-type: none"> （物理，化学，生物，地学から１） ・外（英（リスニングを含む），独，仏，中，韓から１） <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小論文 ・面接 <p>備考 （注）：数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。</p>
出願期間	平成３０年１１月１日（木）～１１月８日（木）
選抜期日	平成３０年１２月４日（火）
合格発表	平成３１年２月８日（金）
その他	各高等学校等の長が推薦できる人数は、別表１（７１ページ）に定めるとおりとする。

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程をいう。

実施学部・学科等	教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 保健体育専修
募集人員	2名
出願要件	<p>小学校教員になることを目指しており、次の(1)～(3)又は(4)に該当する者</p> <p>(1) 高等学校等(*)を平成29年4月1日から平成31年3月31日までに卒業(修了)した者又は卒業(修了)見込みの者</p> <p>(2) 学習成績・人物が優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、全体の評定平均値が4.3以上のもの</p> <p>(3) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(4) 本学において、個別の入学資格審査により、上記(1)～(3)と同等以上であると認められ、入学資格認定書の交付を受けた者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>○上記(4)に該当する志願者は、平成30年8月31日(金)までにあらかじめ本学入試課へ相談すること。</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、大学入試センター試験の成績、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書、志願理由書及び競技歴調査書を総合して選考する。</p> <p>ただし、大学入試センター試験の合計点が55%に満たない場合は不合格とする。</p> <p>○大学入試センター試験利用教科・科目(5教科5科目又は5教科6科目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国 (国) ・地歴(世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B) } から1 ・公民(現社, 倫, 政経, 倫・政経) ・数(数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, 簿・会, 情報から1)(注) ・理(物基, 化基, 生基, 地基から2) <p>又は</p> <ul style="list-style-type: none"> (物理, 化学, 生物, 地学から1) <ul style="list-style-type: none"> ・外(英(リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1) <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接 <p>備考</p> <p>(注): 数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)の者に限る。</p>
出願期間	平成30年11月1日(木)～11月8日(木)
選抜期日	平成30年12月4日(火)
合格発表	平成31年2月8日(金)
その他	各高等学校等の長が推薦できる人数は、別表1(71ページ)に定めるとおりとする。

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程をいう。

実施学部・学科等	教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 技術教育専修
募集人員	2名
出願要件	<p>小学校教員になることを目指しており、次の(1)～(3)又は(4)に該当する者</p> <p>(1) 高等学校等(*)を平成29年4月1日から平成31年3月31日までに卒業(修了)した者又は卒業(修了)見込みの者</p> <p>(2) 学習成績・人物が優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、全体の評定平均値が4.0以上のもの</p> <p>(3) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(4) 本学において、個別の入学資格審査により、上記(1)～(3)と同等以上であると認められ、入学資格認定書の交付を受けた者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>○上記(4)に該当する志願者は、平成30年8月31日(金)までにあらかじめ本学入試課へ相談すること。</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、大学入試センター試験の成績と面接(口頭試問を含む)の成績を中心に、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考する。</p> <p>○大学入試センター試験利用教科・科目(5教科5科目又は5教科6科目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国 (国) ・地歴(世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B) ・公民(現社, 倫, 政経, 倫・政経) ・数(数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, 簿・会, 情報から1)(注) ・理(物基, 化基, 生基, 地学から2) <p style="text-align: right;">} から1</p> <p style="text-align: center;">又は</p> <ul style="list-style-type: none"> (物理, 化学, 生物, 地学から1) ・外(英(リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1) <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口頭試問を含む面接 <p>備考 (注): 数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)の者に限る。</p>
出願期間	平成30年11月1日(木)～11月8日(木)
選抜期日	平成30年12月4日(火)
合格発表	平成31年2月8日(金)
その他	各高等学校等の長が推薦できる人数は、別表1(71ページ)に定めるとおりとする。

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程をいう。

実施学部・学科等	教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 生活科学教育専修
募集人員	2名
出願要件	<p>小学校教員になることを目指しており、次の(1)～(3)又は(4)に該当する者</p> <p>(1) 高等学校等(*)を平成29年4月1日から平成31年3月31日までに卒業(修了)した者又は卒業(修了)見込みの者</p> <p>(2) 学習成績・人物ともに優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、全体の評定平均値が4.0以上のもの</p> <p>(3) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(4) 本学において、個別の入学資格審査により、上記(1)～(3)と同等以上であると認められ、入学資格認定書の交付を受けた者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>○上記(4)に該当する志願者は、平成30年8月31日(金)までにあらかじめ本学入試課へ相談すること。</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、大学入試センター試験の成績、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考する。</p> <p>○大学入試センター試験利用教科・科目(5教科5科目又は5教科6科目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国 (国) ・地歴(世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B) } から1 ・公民(現社, 倫, 政経, 倫・政経) ・数(数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, 簿・会, 情報から1)(注) ・理(物基, 化基, 生基, 地学から2) <p>又は</p> <p>(物理, 化学, 生物, 地学から1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外(英(リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1) <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口頭試問(家庭総合)を含む面接 <p>備考</p> <p>(注): 数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)の者に限る。</p>
出願期間	平成30年11月1日(木)～11月8日(木)
選抜期日	平成30年12月4日(火)
合格発表	平成31年2月8日(金)
その他	各高等学校等の長が推薦できる人数は、別表1(71ページ)に定めるとおりとする。

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程をいう。

実施学部・学科等	教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 英語教育専修
募集人員	2名
出願要件	<p>小学校教員になることを目指しており、次の(1)～(3)又は(4)に該当する者</p> <p>(1) 高等学校等(*)を平成29年4月1日から平成31年3月31日までに卒業(修了)した者又は卒業(修了)見込みの者</p> <p>(2) 学習成績・人物ともに優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、全体の評定平均値が4.2以上のもの</p> <p>(3) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(4) 本学において、個別の入学資格審査により、上記(1)～(3)と同等以上であると認められ、入学資格認定書の交付を受けた者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>○上記(4)に該当する志願者は、平成30年8月31日(金)までにあらかじめ本学入試課へ相談すること。</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、大学入試センター試験の成績が合計点の55%以上の者で、面接(口頭試問を含む)の成績を中心に、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考する。</p> <p>○大学入試センター試験利用教科・科目(5教科5科目又は5教科6科目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国 (国) ・地歴(世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B) ・公民(現社, 倫, 政経, 倫・政経) ・数(数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, 簿・会, 情報から1)(注) ・理(物基, 化基, 生基, 地学から2) <p style="text-align: right;">} から1</p> <p style="text-align: center;">又は</p> <ul style="list-style-type: none"> (物理, 化学, 生物, 地学から1) ・外(英(リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1) <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口頭試問を含む面接(一部英語で行う) <p>備考</p> <p>(注): 数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)の者に限る。</p>
出願期間	平成30年11月1日(木)～11月8日(木)
選抜期日	平成30年12月4日(火)
合格発表	平成31年2月8日(金)
その他	各高等学校等の長が推薦できる人数は、別表1(71ページ)に定めるとおりとする。

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程をいう。

実施学部 ・学科等	教育学部 学校教育教員養成課程 特別支援教育コース 特別支援教育専攻 特別支援教育専修
募集人員	2名
出願要件	<p>次の(1)～(3)又は(4)に該当する者</p> <p>(1) 高等学校等(*)を平成31年3月卒業(修了)見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(2) 学習成績・人物ともに優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、全体の評定平均値が4.0以上のもの</p> <p>(3) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(4) 本学において、個別の入学資格審査により、上記(1)～(3)と同等以上であると認められ、入学資格認定書の交付を受けた者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>○上記(4)に該当する志願者は、平成30年8月31日(金)までにあらかじめ本学入試課へ相談すること。</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、大学入試センター試験の成績、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考する。</p> <p>○大学入試センター試験利用教科・科目(6教科7科目又は6教科8科目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国 (国) ・地歴 (世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bから1) ・公民 (現社, 倫, 政経, 倫・政経から1) ・数 (数Ⅰ・数A) (数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報から1) (注) [計2科目] ・理 (物基, 化基, 生基, 地基から2) 又は (物理, 化学, 生物, 地学から1) ・外 (英(リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1) <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接 <p>備考 (注): 数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)の者に限る。</p>
出願期間	平成30年11月1日(木)～11月8日(木)
選抜期日	平成30年12月4日(火)
合格発表	平成31年2月8日(金)
その他	各高等学校等の長が推薦できる人数は、別表1(71ページ)に定めるとおりとする。

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程をいう。

実施学部 ・学科等	理学部 物質地球科学科 物理系
募集人員	5名
出願要件	<p>次の(1)～(5)又は(6)に該当する者</p> <p>(1) 高等学校等(*)を平成31年3月卒業(修了)見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(2) 学習成績・人物ともに優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、全体の評定平均値が4.0以上のもの</p> <p>(3) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(4) 特に、物理の分野に強い関心と勉学意欲がある者</p> <p>(5) 物理及び数学Ⅲを履修又は履修中の者</p> <p>(6) 本学において、個別の入学資格審査により、上記(1)～(5)と同等以上であると認められ、入学資格認定書の交付を受けた者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>○上記(6)に該当する志願者は、平成30年8月31日(金)までにあらかじめ本学入試課へ相談すること。</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、大学入試センター試験の成績、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考する。</p> <p>○大学入試センター試験利用教科・科目(5教科7科目又は5教科8科目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国 (国) ・地歴(世B, 日B, 地理B) ・公民(現社, 倫, 政経, 倫・政経) <p style="text-align: right;">} から1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数 (数Ⅰ・数A) (数Ⅱ・数B) ・理 (物理) (化基, 生基, 地基から2) [計3科目] 又は (化学, 生物, 地学から1) [計2科目] ・外 (英(リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1) <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接
出願期間	平成30年11月1日(木)～11月8日(木)
選抜期日	平成30年12月4日(火)
合格発表	平成31年2月8日(金)
その他	各高等学校等の長が推薦できる人数は、別表1(71ページ)に定めるとおりとする。

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程をいう。

実施学部・学科等	理学部 海洋自然科学科	
募集人員	化学系 5名	生物系 1名(水産に関する学科のみ)
出願要件	<p>次の(1)～(5)又は(6)に該当する者</p> <p>(1) 高等学校等(*)を平成31年3月卒業(修了)見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(2) 特に化学の分野に強い関心と勉学意欲がある者</p> <p>(3) 高等学校等での全体の評定平均値が4.2以上で、かつ出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者</p> <p>(4) 高等学校において、理科は物理、化学、生物、地学(理数科においては理数物理、理数化学、理数生物、理数地学)の中から化学(理数科においては理数化学)を含んで2科目以上を履修した者、若しくは現在履修している者</p> <p>(5) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(6) 本学において、個別の入学資格審査により、上記(1)～(5)と同等以上であると認められ、入学資格認定書の交付を受けた者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>○上記(6)に該当する志願者は、平成30年8月31日(金)までにあらかじめ本学入試課へ相談すること。</p>	<p>次の(1)～(3)又は(4)に該当する者</p> <p>(1) 高等学校等(*)の水産に関する学科を平成31年3月卒業(修了)見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成30年度中に高等学校(水産に関する学科)を卒業又は卒業見込みの者</p> <p>なお、水産高等学校専攻科在学中又は平成31年3月卒業見込みの者も対象とする</p> <p>(2) 特に生物学に強い関心と学習意欲を持ち、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者</p> <p>なお、学習成績概評がAに属する者</p> <p>(3) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(4) 本学において、個別の入学資格審査により、上記(1)～(3)と同等以上であると認められ、入学資格認定書の交付を受けた者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>○上記(4)に該当する志願者は、平成30年8月31日(金)までにあらかじめ本学入試課へ相談すること。</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、大学入試センター試験の成績、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考する。</p> <p>○大学入試センター試験利用教科・科目 (5教科7科目又は5教科8科目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国 (国) ・地歴 (世B, 日B, 地理B) ・公民 (現社, 倫, 政経, 倫・政経) ・数 (数I・数A) <p>} から1</p> <p>(数II・数B, 簿・会, 情報から1)(注)[計2科目]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理 (化学) (物基, 生基, 地基から2) [計3科目] <p>又は</p> <p>(物理, 生物, 地学から1) [計2科目]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外 (英(リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1) <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接 	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、大学入試センター試験の成績、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考する。</p> <p>○大学入試センター試験利用教科・科目 (5教科7科目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国 (国) ・地歴 (世B, 日B, 地理B) ・公民 (現社, 倫, 政経, 倫・政経) ・数 (数I・数A) <p>} から1</p> <p>(数II・数B, 簿・会, 情報から1)(注)[計2科目]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理 (物理, 化学, 生物, 地学から2) ・外 (英(リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1) <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接
備考	<p>(注)：数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)の者に限る。</p>	
出願期間	平成30年11月1日(木)～11月8日(木)	
選抜期日	平成30年12月4日(火)	
合格発表	平成31年2月8日(金)	
その他	各高等学校等の長が推薦できる人数は、別表1(71ページ)に定めるとおりとする。	

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程をいう

実施学部 ・学科等	医学部 医学科	
募集人員	地域枠 14名 ※出願要件(2)除く	離島・北部枠 3名
出願要件	<p>次の(1)～(5)に該当する者</p> <p>(1) 沖縄県に居住し、沖縄県の高等学校等(*)を平成29年4月1日以降に卒業した者及び平成31年3月に卒業見込みの者で出身学校長から推薦を受けたもの</p> <p>(2) 沖縄県に居住し、沖縄県内離島地域(石垣市、宮古島市、久米島町)ならびに沖縄県本島北部地域(大宜味村、今帰仁村、本部町、名護市、宜野座村)に所在する高等学校等を卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(3) 沖縄県で将来の医療を担う強い意志があり、かつ沖縄県が貸与する奨学金の受給を希望する者</p> <p>(4) 人物、学力ともに優れ、健康で、高等学校等における学習成績概評がA段階(全体の評定平均値が4.3以上)の者</p> <p>(5) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>※沖縄県からの奨学金(医師修学資金)の概要 本選抜での入学者全員に対し、沖縄県が学費、生活費など修学に必要な資金を貸し付けます。 入学者は入学時に沖縄県から奨学金貸与決定を受け、卒業までの6年間奨学金を受給することになっています。なお、卒業後、原則として琉球大学医学部附属病院にて初期研修医として勤務し、その後は沖縄県地域医療支援センターのキャリアプログラムのもとで沖縄県知事が指定する医療機関に医師として初期研修を合わせて9年間勤務していただきます。この場合、奨学金貸与額の全額の返還が免除されます。 (注) 離島・北部枠に該当する高等学校等出身者は、地域枠での出願不可</p>	
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、大学入試センター試験の成績、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考する。</p> <p>○大学入試センター試験利用教科・科目(5教科7科目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国 (国) ・地歴(世B、日B、地理B) ・公民(現社、倫・政経) <p style="text-align: right;">} から1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数 (数Ⅰ・数A) (数Ⅱ・数B) ・理 (物理、化学、生物から2) ・外 (英(リスニングを含む)) <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小論文 ・面接 	
出願期間	平成30年11月 1日(木)～11月 8日(木)	
選抜期日	平成30年12月 4日(火)	
合格発表	平成31年 2月 8日(金)	
その他	各高等学校等の長が推薦できる人数は、別表1(71ページ)に定めるとおりとする。	

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校をいう。

実施学部 ・学科等	医学部 保健学科
募集人員	9名（うち専門高校・総合学科卒業生枠 1名）
出願要件	<p>次の（１）～（４）又は（５）に該当する者</p> <p>（１）高等学校等（*）を平成31年3月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者</p> <p>（２）学習成績・人物が優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者 なお、学習成績概評が㊤に属する者</p> <p>（３）合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>（４）専門高校・総合学科卒業生枠にあつては、高等学校の総合学科を平成31年3月卒業見込みの者で福祉及び看護関係科目を20単位以上履修した者又は履修見込みの者又は看護関係学科を平成31年3月卒業見込みの者</p> <p>（５）本学において、個別の入学資格審査により、上記（１）～（４）と同等以上であると認められ、入学資格認定書の交付を受けた者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>○上記（５）に該当する志願者は、平成30年8月31日（金）までにあらかじめ本学入試課へ相談すること</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、大学入試センター試験の成績、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考する。</p> <p>○大学入試センター試験利用教科・科目（5教科7科目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国（国） ・地歴（世B、日B、地理B） ・公民（現社、倫・政経） <p style="text-align: right;">} から1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数（数Ⅰ・数A） （数Ⅱ・数B） ・理（物理、化学、生物から2） ・外（英（リスニングを含む）） <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接
出願期間	平成30年11月1日（木）～11月8日（木）
選抜期日	平成30年12月 4日（火）
合格発表	平成31年 2月 8日（金）
その他	各高等学校等の長が推薦できる人数は、別表1（71ページ）に定めるとおりとする。

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程をいう。

実施学部 ・学科等	工学部 工学科																					
募集人員	<table border="0"> <tr> <td>機械工学コース</td> <td>11名</td> <td>(うち専門高校卒業生枠2名)</td> </tr> <tr> <td>エネルギー環境工学コース</td> <td>7名</td> <td>(" 2名)</td> </tr> <tr> <td>電気システム工学コース</td> <td>9名</td> <td>(" 1名)</td> </tr> <tr> <td>電子情報通信コース</td> <td>7名</td> <td>(" 1名)</td> </tr> <tr> <td>社会基盤デザインコース</td> <td>10名</td> <td>(" 2名)</td> </tr> <tr> <td>建築学コース</td> <td>10名</td> <td>(" 1名)</td> </tr> <tr> <td>知能情報コース</td> <td>14名</td> <td>(" 3名)</td> </tr> </table>	機械工学コース	11名	(うち専門高校卒業生枠2名)	エネルギー環境工学コース	7名	(" 2名)	電気システム工学コース	9名	(" 1名)	電子情報通信コース	7名	(" 1名)	社会基盤デザインコース	10名	(" 2名)	建築学コース	10名	(" 1名)	知能情報コース	14名	(" 3名)
機械工学コース	11名	(うち専門高校卒業生枠2名)																				
エネルギー環境工学コース	7名	(" 2名)																				
電気システム工学コース	9名	(" 1名)																				
電子情報通信コース	7名	(" 1名)																				
社会基盤デザインコース	10名	(" 2名)																				
建築学コース	10名	(" 1名)																				
知能情報コース	14名	(" 3名)																				
出願要件	<p>次の(1)～(4)又は(5)に該当する者</p> <p>(1) 高等学校等(*)を平成31年3月卒業(修了)見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成30年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(2) 学習成績・人物が優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、全体の評定平均値が3.5以上のもの</p> <p>(3) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(4) 専門高校卒業生枠にあっては、工業高等学校、水産高等学校及び商工農高等学校等を平成31年3月卒業見込みの者又は卒業後1年以内の者</p> <p>(5) 本学において、個別の入学資格審査により、上記(1)～(4)と同等以上であると認められ、入学資格認定書の交付を受けた者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>○上記(5)に該当する志願者は、平成30年8月31日(金)までにあらかじめ本学入試課へ相談すること。</p>																					
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、大学入試センター試験の成績、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考する。</p> <p>出願を希望する者は、第1志望コースのみ出願することができます。自分の適性や将来に向けて学びたい専門性を考慮し記入してください。</p> <p>○大学入試センター試験利用教科・科目(3教科5科目又は3教科6科目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数 (数Ⅰ・数A) (数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報から1)(注)[計2科目] ・理 (物理) (化基, 生基, 地基から2)[計3科目] 又は (化学, 生物, 地学から1)[計2科目] ・外 (英(リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1) <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接 <p>備考 (注): 数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)の者に限る。</p>																					
出願期間	平成30年11月1日(木)～11月8日(木)																					
選抜期日	平成30年12月4日(火)																					
合格発表	平成31年2月8日(金)																					
その他	各高等学校等の長が推薦できる人数は、別表1(71ページ)に定めるとおりとする。																					

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程をいう。

別表 1

推薦入試の推薦人員

学部	学 科 等		推 薦 人 員	
人文社会学部	国際法政学科		1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む。）につき 2 名以内	
	人間社会学科	哲学・教育学プログラム	プログラムごとに 1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む。）につき 2 名以内	
		心理学プログラム		
	社会学プログラム			
	琉球アジア文化学科		1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む。）につき 2 名以内	
創造国際学地域	昼間主ス	国際地域創造学科	各高等学校等の長が推薦できる人員は、1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む。）につき昼間主は 6 名、夜間主は 3 名以内とする。ただし、専門高校卒業生枠については、昼間主は 2 名、夜間主は 2 名以内とし、専門高校卒業生枠は内数とする。	
	夜間主ス	国際地域創造学科		
教育学部	学校教育教員養成課程	学校教育専攻	①沖縄県内地域指定推薦	1 高等学校等（定時制の課程を含む。）につき 1 名
			②一般推薦	1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む。）につき 1 名
		※①の県内地域指定に推薦した高校は、②の一般推薦枠にも別に 1 名推薦できる。		
		教科教育専攻	国語教育専修	1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む。）につき、平成 29 年度に卒業(修了)した者から 1 名、平成 30 年度に卒業(修了)した者又は卒業(修了)見込みの者から 1 名、計 2 名以内
			社会科教育専修	1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む。）につき 2 名以内
			数学教育専修	1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む。）につき 2 名以内
			理科教育専修	1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む。）につき 2 名以内
			音楽教育専修	1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む。）につき 2 名以内
			美術教育専修	1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む。）につき 2 名以内
			保健体育専修	1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む。）につき 2 名以内
	技術教育専修		1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む。）につき 2 名以内	
生活科学教育専修	1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む。）につき 2 名以内			
英語教育専修	1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む。）につき 2 名以内			
中学校教育コース	教科教育専攻	技術教育専修	1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む。）につき 2 名以内	
特別支援教育コース	特別支援教育専攻	特別支援教育専修	1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む。）につき 2 名以内	
理学部	物質地球科学科		物理系	1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む。）につき 3 名以内
	海洋自然科学科	化学系		1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む。）につき 4 名以内
		生物系		各高等学校等の長が推薦できる人数は、制限しない
医学部	医 学 科		1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む。）につき 3 名以内	
	保 健 学 科		1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む。）につき 2 名以内	
工学部	工 学 科	機械工学コース	各高等学校等の長が推薦できる人数は、制限しない	
		エネルギー環境工学コース		
		電気システム工学コース		
		電子情報通信コース		
		社会基盤デザインコース		
		建築学コース		
知能情報コース				
農学部	亜熱帯地域農学科		各学科とも 1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む。）につき 2 名以内。ただし、1 高等学校等から農学部へ推薦可能な人員は 5 名とする。	
	亜熱帯農林環境科学科			
	地域農業工学科			
	亜熱帯生物資源科学科(健康栄養科学コースを含む)			

※推薦入試「英語重視」は高等学校等からの推薦人員を制限しない。

1.1. 社会人特別入試

社会人特別入試－1

実施学部 ・学科等	国際地域創造学部 国際地域創造学科（夜間主コース）
募集人員	10名
出願要件	<p>次の各号の1つに該当する者で、平成31年4月1日現在、社会人の経験（注）を2年以上有するもの</p> <p>（注）全日制の学校に在籍していた期間は社会人経験期間に含みませんが、就職しながら定時制・通信制の学校に在籍していた期間、家事・家業従事、非正規・パート職員の期間は社会人経験期間に含みます。</p> <p>（1）高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は平成31年3月までに卒業見込みの者</p> <p>（2）通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は平成31年3月までに修了見込みの者</p> <p>（3）外国において、学校教育における12年の課程を修了した者若しくは、平成31年3月修了見込みの者又はこれに準じる者で文部科学大臣の指定したもの</p> <p>（4）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は平成31年3月までに修了見込みの者</p> <p>（5）文部科学大臣が指定した者</p> <p>（6）高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により、文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）に基づく大学入学資格検定に合格した者を含む。）</p> <p>（7）本学において、入学資格認定書の交付を受けた者</p> <p>○上記（7）の入学資格審査を希望する者は、平成30年8月31日（金）までにあらかじめ本学入試課へ相談すること。</p>
選抜方法等	<p>大学入試センター試験を免除し、個別学力検査等の成績、調査書、履歴書、志願理由書を総合して選考する。</p> <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小論文 ・面接
出願期間	平成30年11月1日（木）～11月8日（木）
選抜期日	平成30年12月4日（火）
合格発表	平成30年12月14日（金）

実施学部 ・学科等	工学部 工学科
募集人員	機械工学コース エネルギー環境工学コース 電気システム工学コース 電子情報通信コース 社会基盤デザインコース 建築学コース 知能情報コース } 各コース若干名
出願要件	<p>次の各号の1つに該当する者で、平成31年4月1日現在で同一の企業等に継続して3年以上の勤務経験を有するもの</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者</p> <p>(3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの</p> <p>(4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者</p> <p>(5) 文部科学大臣が指定した者</p> <p>(6) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により、文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）に基づく大学入学資格検定に合格した者を含む。）</p> <p>(7) 本学において、入学資格認定書の交付を受けた者</p> <p>○上記（7）の入学資格審査を希望する者は、平成30年8月31日（金）までにあらかじめ本学入試課へ相談すること。</p>
選抜方法等	<p>大学入試センター試験を免除し、個別学力検査等の成績、調査書、履歴書、志願理由書を総合して選考する。</p> <p>出願を希望する者は、第1志望コースのみ出願することができます。</p> <p>○個別学力検査等</p> <p>・面接（口頭試問を含む）</p>
出願期間	平成31年1月21日（月）～1月25日（金）
選抜期日	平成31年 2月26日（火）
合格発表	平成31年 3月 7日（木）

12. 帰国子女特別入試

帰国子女特別入試－1

実施学部・学科等	A	人文社会学部	国際法政学科, 人間社会学科, 琉球アジア文化学科
		理学部	物質地球科学科 (物理系), 海洋自然科学科 (化学系・生物系)
		農学部	亜熱帯地域農学科, 亜熱帯農林環境科学科, 地域農業工学科, 亜熱帯生物資源科学科 (健康栄養科学コースを除く)
	B	理学部	物質地球科学科 (地学系)
募集人員	若干名		
出願要件	<p>日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で, 保護者の海外勤務等により外国で, 2年以上長期間滞在しており, 次のいずれかに該当するもの。ただし, 平成30年1月20日以前に帰国 (一時的な短期の帰国を除く。) した者は, 出願を認めない。</p> <p>(1) 学校教育における12年の課程を修了した者又は平成31年3月31日までに修了見込みの者で, 原則として, 外国において最終学年を含め, 2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けている者 (ただし, 外国に設置されたものであっても, 日本の学校教育法に準拠した教育を実施している学校に在学して教育を受けた期間は, 「2年以上」という期間には算入しない。)</p> <p>(2) 外国において, スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を授与された者, ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者, フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者及びジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格 (グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国) を有する者で, 平成31年3月31日までに18歳に達する者</p> <p>(3) 本学において, 入学資格認定書の交付を受けた者</p> <p>○上記(3)の入学資格審査を希望する者は, 平成30年8月31日 (金) までにあらかじめ本学入試課へ相談すること。</p>		
選抜方法等	大学入試センター試験を免除し, 成績証明書 (調査書), 小論文及び面接を総合して選考する。		
出願期間	A	平成30年11月 1日 (木) ~ 11月 8日 (木)	
	B	平成31年 1月21日 (月) ~ 1月25日 (金) (理学部物質地球科学科地学系)	
選抜期日	A	平成30年12月 4日 (火)	
	B	平成31年 3月12日 (火) (理学部物質地球科学科地学系)	
合格発表	A	平成30年12月14日 (金)	
	B	平成31年 3月21日 (木) (理学部物質地球科学科地学系)	
その他	<p>1. 出願書類</p> <p>(1) 入学志願票, 卒業 (修了) 証明書又は同見込み証明書, 成績証明書, 保護者の在外勤務などに関する証明書等</p> <p>(2) 国際バカロレア資格を取得した者は, その証明書の写しと最終試験6科目の成績評価証明書</p> <p>(3) アビトゥア資格の取得者は, 一般的大学入学資格証明書 (Zeugnis der allgemeinen Hochschulreife) の写し</p> <p>(4) バカロレア資格 (フランス共和国) を取得した者はその証明書の写し</p> <p>(5) ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンス・レベル資格 (グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国) を有する者は, 成績評価証明書</p> <p>※ 外国の学校又は機関が作成する書類について, 日本語以外の場合は, 日本語訳を添付すること。</p> <p>※ 表彰を受けた者は, 関係書類の写しを添付すること。</p> <p>2. 本学他学部・学科等の帰国子女特別入試との併願は認めません。</p>		

実施学部・学科等	国際地域創造学部 国際地域創造学科（昼間主コース）
募集人員	若干名
出願要件	<p>日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務等により外国で、2年以上長期間滞在しており、次のいずれかに該当するもの。ただし、平成30年1月20日以前に帰国（一時的な短期の帰国を除く。）した者は、出願を認めない。</p> <p>(1) 学校教育における12年の課程を修了した者又は平成31年3月31日までに修了見込みの者で、原則として、外国において最終学年を含め、2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けているもの（ただし、外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を実施している学校に在学して教育を受けた期間は、「2年以上」という期間には算入しない。）</p> <p>(2) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を授与された者、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者、フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者及びジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国）を有する者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>(3) 本学において、入学資格認定書の交付を受けた者</p> <p>○上記（3）の入学資格審査を希望する者は、平成30年8月31日（金）までにあらかじめ本学入試課へ相談すること。</p>
選抜方法等	大学入試センター試験を免除し、成績証明書（調査書）、個別学力検査等（英語（リーディング・ライティング）及び面接）を総合して選考する。
出願期間	平成31年1月21日（月）～1月25日（金）
選抜期日	平成31年 2月25日（月）
合格発表	平成31年 3月 7日（木）
その他	<p>1. 出願書類</p> <p>(1) 入学志願票、卒業（修了）証明書又は同見込み証明書、成績証明書、保護者の在外勤務などに関する証明書等</p> <p>(2) 国際バカロレア資格を取得した者は、その証明書の写しと最終試験6科目の成績評価証明書</p> <p>(3) アビトゥア資格の取得者は、一般的大学入学資格証明書（Zeugnis der allgemeinen Hochschulreife）の写し</p> <p>(4) バカロレア資格（フランス共和国）を取得した者はその証明書の写し</p> <p>(5) ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンス・レベル資格（グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国）を有する者は、成績評価証明書</p> <p>※ 外国の学校又は機関が作成する書類について、日本語以外の場合は、日本語訳を添付すること。</p> <p>※ 表彰を受けた者は、関係書類の写しを添付すること。</p> <p>2. 本学他学部・学科等の帰国子女特別入試との併願は認めません。</p>

実施学部 ・学科等	教育学部 学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻 美術教育専修
募集人員	若干名
出願要件	<p>日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務等により外国で、2年以上長期間滞在しており、次のいずれかに該当するもの。ただし、平成30年1月20日以前に帰国（一時的な短期の帰国を除く。）した者は、出願を認めない。</p> <p>(1) 学校教育における12年の課程を修了した者又は平成31年3月31日までに修了見込みの者で、原則として、外国において最終学年を含め、2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けているもの（ただし、外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を実施している学校に在学して教育を受けた期間は、「2年以上」という期間には算入しない。）</p> <p>(2) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を授与された者、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者、フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者及びジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国）を有する者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>(3) 本学において、入学資格認定書の交付を受けた者</p> <p>○上記(3)の入学資格審査を希望する者は、平成30年8月31日（金）までにあらかじめ本学入試課へ相談すること。</p>
選抜方法等	大学入試センター試験を免除し、成績証明書（調査書）、小論文及び面接を総合して選考する。また、美術教育専修は実技検査、筆記試験も課す。
出願期間	平成31年1月21日（月）～1月25日（金）
選抜期日	平成31年2月25日（月）・26日（火）
合格発表	平成31年3月7日（木）
その他	<p>1. 出願書類</p> <p>(1) 入学志願票、卒業（修了）証明書又は同見込み証明書、成績証明書、保護者の在外勤務などに関する証明書等</p> <p>(2) 国際バカロレア資格を取得した者は、その証明書の写しと最終試験6科目の成績評価証明書</p> <p>(3) アビトゥア資格の取得者は、一般的大学入学資格証明書（Zeugnis der allgemeinen Hochschulreife）の写し</p> <p>(4) バカロレア資格（フランス共和国）を取得した者はその証明書の写し</p> <p>(5) ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンス・レベル資格（グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国）を有する者は、成績評価証明書</p> <p>※ 外国の学校又は機関が作成する書類について、日本語以外の場合は、日本語訳を添付すること。</p> <p>※ 表彰を受けた者は、関係書類の写しを添付すること。</p> <p>2. 本学他学部・学科等の帰国子女特別入試との併願は認めない。</p>

実施学部 ・学科等	医学部 保健学科
募集人員	若干名
出願要件	<p>日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務等により外国で、２年以上長期間滞在しており、次のいずれかに該当するもの。ただし、平成２９年３月３１日以前に帰国（一時的な短期の帰国を除く。）した者は、出願を認めない。</p> <p>(１) 学校教育における１２年の課程を修了した者又は平成３１年３月３１日までに修了見込みの者で、原則として、外国において最終学年を含め、２年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けているもの（ただし、外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を実施している学校に在学して教育を受けた期間は、「２年以上」という期間には算入しない。）</p> <p>(２) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を授与された者、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者、フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者及びジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国）を有する者で、平成３１年３月３１日までに１８歳に達するもの</p> <p>(３) 本学において、入学資格認定書の交付を受けた者</p> <p>○上記（３）の入学資格審査を希望する者は、平成３０年８月３１日（金）までにあらかじめ本学入試課へ相談すること。</p>
選抜方法等	大学入試センター試験を免除し、成績証明書（調査書）、小論文及び面接を総合して行う。
出願期間	平成３０年１１月１日（木）～１１月８日（木）
選抜期日	平成３０年１２月４日（火）
合格発表	平成３０年１２月１４日（金）
その他	<p>１. 出願書類</p> <p>(１) 入学志願票、卒業（修了）証明書又は同見込み証明書、成績証明書、保護者の在外勤務などに関する証明書等</p> <p>(２) 国際バカロレア資格を取得した者は、その証明書の写しと最終試験６科目の成績評価証明書</p> <p>(３) アビトゥア資格の取得者は、一般的大学入学資格証明書（Zeugnis der allgemeinen Hochschulreife）の写し</p> <p>(４) バカロレア資格（フランス共和国）を取得した者はその証明書の写し</p> <p>(５) ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンス・レベル資格（グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国）を有する者は、成績評価証明書</p> <p>※ 外国の学校又は機関が作成する書類について、日本語以外の場合は、日本語訳を添付すること。</p> <p>※ 表彰を受けた者は、関係書類の写しを添付すること。</p> <p>２. 本学他学部・学科等の帰国子女特別入試との併願は認めません。</p>

13. 私費外国人留学生入試

(1) 実施学部及び募集人員

別表2の各学部・学科等においては、各々若干名について、次のとおり私費外国人留学生入試を行います。

(2) 出願期間：平成31年1月21日（月）～1月25日（金）

（※本学他学部・学科等の私費外国人留学生入試との併願は認めません。）

(3) 選抜期日：平成31年2月25日（月）・26日（火）

(4) 合格発表：平成31年3月7日（木）

(5) 出願資格

次の各号のすべてに該当する者とし、ただし、⑤は農学部各学科の志願者のみとし、

① 日本の国籍を有しない者

② 次のいずれかに該当する者

(1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者（平成31年3月修了見込みの者を含む。）又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格（ドイツ連邦共和国）取得者、バカロレア資格（フランス共和国）取得者及びジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国）取得者で、平成31年3月31日までに18歳に達する者

(2) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。）に合格した者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの

③ 出入国管理及び難民認定法に基づく大学入学に支障のない在留資格を有する者及び取得できる見込みの者

④ 独立行政法人日本学生支援機構が平成30年6月と11月に実施する「日本留学試験」のいずれかにおいて、別表2のとおり各学部・学科等が指定する文系又は理系の全教科を受験している者で、「日本留学試験」の得点が、それぞれ「日本語200点以上（記述含む）」かつ「基礎学力（文系は「総合科目」「数学」の合計、理系は「理科」「数学」の合計）200点以上」であること。

⑤ 農学部の志願者においては、「日本留学試験」の『日本語』『理科（2科目）』『数学』の4教科・科目のうち3教科・科目が、各教科・科目（『数学』においては、コース）の受験者全体の平均点（『日本語』については、「聴解・聴読解」及び「読解」の「合計」の平均点）以上であること。

注意：日本の国籍を有しない者で、日本の高等学校又は大学（短期大学を含む。）において、それぞれの教育課程を履修し、かつ卒業した者（平成31年3月卒業見込みの者を含む。）については、私費外国人留学生としてではなく一般学生と同様に取扱います。

(6) 選抜方法等

大学入試センター試験を免除し、独立行政法人日本学生支援機構が平成30年6月と11月に実施する「日本留学試験」のいずれかの成績及び別表2の個別学力検査等の成績等を総合判定して行います。

「日本留学試験」を2回受験した場合は、成績利用を希望する回の「日本留学試験成績通知書（写）」を提出してください。

※日本留学試験については、独立行政法人日本学生支援機構に照会してください。

（〒153-8503 東京都目黒区駒場 4-5-29 電話 03-6407-7457 E-mail : eju@jasso.go.jp）

日本留学試験の試験教科・科目の指定及び個別学力検査等

学部	学科等			区分	出題教科・科目の指定	出題言語の指定	渡日前入学許可	個別学力検査等
人文社会学部	国際法政学科			文系	日本語, 総合科目, 数学(コース1又はコース2)	日本語	不可	面接
	人間社会学科							
	琉球アジア文化学科							
国際地域創造学部	国際地域創造学科 (昼間主コース)			文系	日本語, 総合科目, 数学(コース1又はコース2)	日本語 又は 英語	不可	面接 (一部英語で行う)
教育学部	学校教育教員養成課程	中学校教育コース	教科教育専攻	文系又は理系	(文系の場合) 日本語, 総合科目, 数学(コース1又はコース2)	日本語 又は 英語	不可	実技検査, 筆記試験, 面接
			美術教育専攻	理系	(理系の場合) 日本語, 理科(物理, 化学, 生物から2科目), 数学(コース1又はコース2)			
理学部	数理学科			理系	日本語, 理科(物理, 化学, 生物から2科目), 数学(コース2)	日本語 又は 英語	不可	面接
	物質地球科学科	物理系						
		地学系						
	海洋自然科学科	化学系						
		生物系						
医学部	保健学科			理系	日本語, 理科(物理, 化学, 生物から2科目), 数学(コース1又はコース2)	日本語	不可	面接
工学部	工学科	機械工学コース		理系	日本語, 理科(物理, 化学), 数学(コース2)	日本語	不可	面接 (口頭試問を含む)
		エネルギー環境工学コース						
		電気システム工学コース						
		電子情報通信コース						
		社会基盤デザインコース						
		建築学コース						
		知能情報コース						

学部	学科等	区分	出題教科・科目の指定	出題言語の指定	渡日前入学許可	個別学力検査等
農学部	亜熱帯地域農学科	理系	日本語, 理科(物理, 化学, 生物から2科目), 数学(コース1又はコース2)	日本語	不可	面接
	亜熱帯農林環境科学科				不可	面接
	地域農業工学科				不可	面接
	亜熱帯生物資源科学科 (健康栄養科学コースを除く)				不可	面接

1 4. 出願に関する第2志望の取扱い(理学部数理科学科, 物質地球科学科, 海洋自然科学科化学系)

(1) 物質地球科学科物理系を第2志望とする出願について

次の①に該当する志願者に限り物質地球科学科物理系を第2志望として出願することができます。

① 理学部数理科学科及び物質地球科学科地学系(以下「第1志望学科等」)の前期日程志願者で、物質地球科学科物理系(以下「物理系」)が課す大学入試センター試験の教科・科目を受験し、物理系が課す個別学力検査の教科・科目を選択する者は、物理系への第2志望を認めます。ただし、試験当日、物理系が課す個別学力検査の教科・科目を受験しなかった者は、第2志望を取り消したものとみなします。

(「6. 平成31年度入学者選抜の実施教科・科目等(一般入試)」参照)

② 物理系を第2志望とする者が第1志望学科等の合格者となった場合は、第2志望である物理系の合否判定の対象者とはしません。

③ 物理系の合否判定においては、物理系の志願者(物理系のみを志望している者)及び物理系を第2志望とする者(第1志望学科等の合格者を除く)を対象者とし、総合得点(物理系の配点に基づく得点)の上位から順次合格者とします。ただし、物理系を第2志望とする者の合格者数は3名を上限とします。

④ 上記③において、物理系を第2志望とする者が合格者となった場合は、その者を第1志望学科等の追加合格候補者としません。

(2) 物質地球科学科地学系を第2志望とする出願について

次の①に該当する志願者に限り物質地球科学科地学系を第2志望として出願することができます。

① 理学部数理科学科, 物質地球科学科物理系及び海洋自然科学科化学系(以下「第1志望学科等」)の前期日程志願者で、物質地球科学科地学系(以下「地学系」)が課す大学入試センター試験の教科・科目を受験し、地学系が課す個別学力検査の教科・科目を選択する者は、地学系への第2志望を認めます。ただし、試験当日、地学系が課す個別学力検査の教科・科目を受験しなかった者は、第2志望を取り消したものとみなします。

(「6. 平成31年度入学者選抜の実施教科・科目等(一般入試)」参照)

② 地学系を第2志望とする者が第1志望学科等の合格者となった場合は、第2志望である地学系の合否判定の対象者とはしません。

③ 地学系の合否判定においては、地学系の志願者(地学系のみを志望している者)及び地学系を第2志望とする者(第1志望学科等の合格者を除く)を対象者とし、総合得点(地学系の配点に基づく得点)の上位から順次合格者とします。ただし、地学系を第2志望とする者の合格者数は3名を上限とします。

④ 上記③において、地学系を第2志望とする者が合格者となった場合は、その者を第1志望学科等の追加合格候補者としません。

15. 人文社会学部のプログラムの配属等について

各学科単位で募集（人間社会学科の推薦入試を除く）を行い、1年次は合格した学科に所属します。どの入試区分で合格しても入学後は、1年次後学期を終了した時点で、本人の希望と1年次の成績等に基づき各プログラムに配属を決定します。

（全ての学生は、2年次前学期から各プログラムに配属されます。）

国際法政学科	法学プログラム	40名
	政治・国際関係学プログラム	40名
人間社会学科	哲学・教育学プログラム	18名
	心理学プログラム	30名
	社会学プログラム	32名
琉球アジア文化学科	歴史・民俗学プログラム	14名
	言語学プログラム	13名
	文学プログラム	13名

上記に示すプログラムに記した人数は、受入人数の目安であり、各プログラムへの配属数は最終的に変動する場合があります。また、学生本人の成績やプログラムの受入人数等により、全学生の希望どおりの配属とならない可能性があります。

16. 国際地域創造学部のプログラムの配属等について

国際地域創造学部の一般入試は、昼間主コースと夜間主コースに分かれたうえで、学科一括で募集します。また、一般入試は入試方法毎に募集人員を設けますが、どの入試方法で合格し、入学してもプログラムの配属には影響しません。

【昼間主コース】

学科単位で募集を行い、2年次前学期までは学科に配属します。

2年次前学期を終了した時点で、本人の希望と3箇学期（2年次前学期まで）の成績等に基づき下記の5つのプログラムに配属を決定します。（全ての学生は、2年次後学期から各プログラムに配属されます。）

なお、配属までの学び方については、指導教員が「履修モデル」や「科目番号」等を活用しながら、配属を希望するプログラムに応じたカリキュラムの履修のアドバイスを行います。

国際地域創造学科 (昼間主コース)	観光地域デザインプログラム	60名
	経営プログラム	60名
	経済学プログラム	65名
	国際言語文化プログラム	48名
	地域文化科学プログラム	32名

【夜間主コース】

学科単位で募集を行い、1年次は学科に配属します。

1年次後学期を終了した時点で、本人の希望と2箇学期（1年次後学期まで）の成績等に基づき次の3つのプログラムに配属を決定します。（全ての学生は、2年次前学期から各プログラムに配属されます。）

なお、配属までの学び方については、指導教員が「履修モデル」や「科目番号」等を活用しながら、配属を希望するプログラムに応じたカリキュラムの履修のアドバイスを行います。

国際地域創造学科 (夜間主コース)	経営プログラム	20名
	経済学プログラム	30名
	国際言語文化プログラム	30名

各プログラム（昼間主・夜間主）に記した人数は、受入人数の目安であり、各プログラムへの配属数は最終的に変動する場合があります。また、学生本人の成績やプログラムの受入人数等により、全学生の希望どおりの配属とならない可能性があります。

17. 教育学部の専修の決定方法等について

学校教育教員養成課程小学校教育コース学校教育専攻の一般入試は、学校教育専攻一括で募集します。大学入試センター試験と個別学力検査等の総合点の上位者から順に、学校教育専攻全体として合格者を決定します。合格者は学校教育専攻に所属します。2年次前学期開始前に、本人の希望と入学後の成績等に基づき、専修配属を行います。

学校教育教員養成課程小学校教育コース教科教育専攻の一般入試は、教科教育専攻一括で募集します。大学入試センター試験と個別学力検査等の総合点の上位者から順に、教科教育専攻全体として合格者を決定します。出願時に教科教育専攻10専修に対する志望順位を第3志望まで記入してもらい、その志望に沿って合格者を各専修に仮配属します。得点上位者から順に第1志望の専修に配属し、第3志望まで、専修の受入人員以内になるよう配属します。

各専修の最大の受入人員の目安は、前期日程試験7名程度、後期日程試験2名程度です。志望順位を第3志望まで記入していない場合は、志望していない専修に配属されることもあります。仮配属専修名は、合格通知書に同封して通知します。

2年次前学期開始前に、本人の希望と入学後の成績等に基づき、最終的な専修配属を行います。専修変更は、それを希望する学生のみで、希望しない学生の専修変更はありません。なお、希望する専修への変更を確約するものではありません。

18. 工学部の選抜方法等について

工学部の一般入試は、工学科で入学者選抜試験を実施します。出願を希望する者は、出願時に工学科7コースに対する志望順位を記入してください。

大学入試センター試験と個別学力検査等の総合点の上位から順に、工学科として合格者を決定します。その上で、志望に沿って以下の方法により合格者を各コースに配属します。まず、各コースの受入人員の目安を考慮して、第1志望のコースに総合点の上位者から順に合格者を配属します。次に、同様な手順を第2志望、第3志望の順に第7志望まで繰り返して合格者を配属します。志望順位を第7志望まで記入していない場合には、志望していないコースに配属されることがあります。

配属コース名は合格通知書に同封して通知します。

各コースの受入人員の目安は下記のとおりです。

	(前期日程)	(後期日程)
○機械工学コース	32人程度	6人程度
○エネルギー環境工学コース	32人程度	6人程度
○電気システム工学コース	28人程度	6人程度
○電子情報通信コース	28人程度	6人程度
○社会基盤デザインコース	25人程度	5人程度
○建築学コース	28人程度	5人程度
○知能情報コース	33人程度	6人程度

コース配属の確定は、1年次のキャリア教育等を踏まえて、2年次前期開始前に本人の希望と学力成果に応じて行います。コース変更は、それを希望する学生のみで、希望しない学生のコース変更はありません。なお、希望するコースへの変更を確約するものではありません。

19. 2段階選抜（医学部医学科）

医学部医学科（一般入試（前期日程・後期日程））において、入学志願者が募集人員の約5倍を超えた場合には、大学入試センター試験の成績（「6. 平成31年度入学選抜の実施教科・科目等（一般入試）」の配点による成績）による第1段階選抜を行い、その合格者について個別学力検査等による第2段階選抜を行うことがあります。実施の有無は、本学ホームページ（<http://www.u-ryukyu.ac.jp> → [入試情報]）でお知らせします。

20. 欠員補充

入学手続完了者が入学定員に達しなかった場合は、追加合格によりますが、場合によっては欠員補充第2次募集を行うことがあります。

21. 受験時における合理的配慮等について

本学の選抜試験志願者で、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成25年法律第65号）第2条第1号に定める障害者〔身体障害、知的障害、精神障害（発達障害を含む）その他の心身の機能の障害（以下「障害」と総称する）がある者であって、障害及び社会的障壁により継続的に日常生活又は社会生活に相当な制限を受ける状態にあるものをいう。〕で、受験時に合理的配慮を必要とする志願者は、あらかじめ本学障がい学生支援室に申請してください。

本学において申請された配慮事項について検討し、その結果を「受験時における合理的配慮の検討結果通知書」により郵送にて通知します。検討結果通知書の受領後は、記載事項を確認し同封の書類をご返送ください。

なお、合理的配慮の内容によっては対応に時間を要する場合がありますので、できる限り早めに申請してください。

また、上記申し出に基づき書面による相談が必要となった場合は、以下によってください。

（1）申請の時期

- ① 一般入試，社会人特別入試（平成31年2月試験実施），帰国子女特別入試（平成31年2月又は3月試験実施），私費外国人特別入試：平成31年1月25日（金）まで
- ② AO入試：平成30年8月7日（火）まで
- ③ 推薦入試，社会人特別入試（平成30年12月試験実施），帰国子女特別入試（平成30年12月試験実施）：平成30年11月8日（木）まで

（2）申請の方法

本学指定の様式による「受験時における合理的配慮申請書」を提出してください。障がい学生支援室が必要と判断した場合は、本学において志願者，保護者又はその立場を代弁し得る出身学校担当者等との面談等を行います。

「受験時における合理的配慮申請書」の様式は、本学障がい学生支援室ホームページ（<http://g-support.std.u-ryukyu.ac.jp/>）「支援を希望される皆さまへ」からダウンロードできます。

また、上記以外で疾病・負傷等により、受験時に特別な配慮を必要とする者も、各試験の申請の時期に合わせて、本学障がい学生支援室に電話，FAX又はメールでご相談ください。

連絡先：〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地（大学会館2階）

国立大学法人琉球大学障がい学生支援室

電話（098）895-8750 FAX（098）895-8791

メールアドレス g-support@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

2.2. 入試情報開示に関する事項

※「社会人」は社会人特別入試、「帰国」は帰国子女特別入試、「私費」は私費外国人留学生入試を意味する。

(1) 個別学力検査等の採点・評価基準

① 教科・科目

外国語	○読解力，記述力，表現力等を評価する。
国語	○小説・評論等の現代文分野では，基本的な語彙力・漢字力をみるほか，設問において問われていることを正確に把握し，問題文の内容を踏まえて的確に記述・表現する力を求める。 ○古文分野では，古典語彙や解釈，文法等の基本的な知識を踏まえた読解力を求め，なおかつそれについて論述する能力をみる。 ○漢文分野では，書き下しや解釈，句法等の基本的な知識を踏まえた読解力を求める。
数学	○問題用紙に明記された配点に従って得点を合計する。 ○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与える。 ○記述式の問題の場合，途中の推論及び計算を記述せずに結論（最終的な答え）のみを書いて得点を与えない。
物理	○自然科学についての思考力，独創性，発想力及び表現力などを総合的に判断，評価する。 ○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与える。
化学	○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与える。
生物	○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与える。
地学	○設問の趣旨をよく理解しているか。また，これに基づいて自然科学についての思考力，独創性，発想力及び表現力などを総合的に判断，評価する。

② 教科科目以外の科目

1) 人文社会学部

ア) 国際法政学科

一般入試	小論文 (後期日程)	○理解力，考察力，論理的思考力，記述力，完結度等を評価する。 ○誤字，脱字及び指定の字数の過不足は減点の対象となる。
推薦入試Ⅱ	小論文	○理解力，考察力，論理的思考力，記述力，完結度等を評価する。 ○誤字，脱字及び指定の字数の過不足は減点の対象となる。
	面接	○意欲，目的意識，適性，表現力等を評価する。
	調査書	○学業成績，就学状況，課外活動，特技・資格等を評価する。
	推薦書	○受験生の人物，学校生活状況，学業成績，課外活動・特技・資格，将来への取り組み等を評価する。
	志願理由書	○進学のための目的，将来の計画及び長所・特技等を評価する。面接の評価に含める。
帰国	小論文	○理解力，考察力，論理的思考力，記述力，完結度等を評価する。 ○誤字，脱字及び指定の字数の過不足は減点の対象となる。
	面接	○意欲，目的意識，適性，表現力等を評価する。
	成績証明書 (調査書)	○面接の際の参考にする。
私費	面接	○進学の動機，学習意欲，日本語能力を総合的に評価する。

イ) 人間社会学科

一般入試	小論文 (前期日程)	○理解力, 考察力, 論理的思考力, 記述力, 完結度等を評価する。 ○誤字, 脱字及び指定の字数の過不足は減点の対象となる。
	面接 (後期日程)	○意欲, 目的意識, 適性, 表現力等を評価する。
推薦入試Ⅱ	小論文	○理解力, 考察力, 論理的思考力, 記述力, 完結度等を評価する。 ○誤字, 脱字及び指定の字数の過不足は減点の対象となる。
	面接	○意欲, 目的意識, 適性, 表現力等を評価する。
	調査書	○学業成績, 就学状況, 課外活動, 特技・資格等を評価する。学業成績以外は面接の基礎資料とし, 面接評価にも含む。
	推薦書	○学業, 人物, 課外活動等について, 面接の基礎資料とし, 面接の評価に含む。
	志願理由書	○目的意識, 意欲, 志望に至った経緯, 記述力等について面接の基礎資料とし, 面接の評価に含む。
帰国	小論文	○理解力, 考察力, 論理的思考力, 記述力, 完結度等を評価する。 ○誤字, 脱字及び指定の字数の過不足は減点の対象となる。
	面接	○意欲, 目的意識, 適性, 表現力等を評価する。
国	成績証明書 (調査書)	○学業成績, 就学状況, 課外活動, 特技・資格等を評価する。
私費	面接	○進学動機, 学習意欲, 日本語能力を総合的に評価する。

ウ) 琉球アジア文化学科

一般入試	小論文 (前期日程)	○理解力, 考察力, 論理的思考力, 記述力, 完結度等を評価する。 ○誤字, 脱字及び指定の字数の過不足は減点の対象となる。
	面接 (前期日程)	○意欲, 目的意識, 適性, 表現力等を評価する。
	調査書 (前期日程)	○学業成績, 就学状況, 課外活動, 特技・資格等を評価する。
	口頭試問 (後期日程)	○論理的思考力, 積極性, 表現力等を評価する。
推薦入試Ⅱ	小論文	○理解力, 考察力, 論理的思考力, 記述力, 完結度等を評価する。 ○誤字, 脱字及び指定の字数の過不足は減点の対象となる。
	面接	○意欲, 目的意識, 適性, 表現力等を評価する。
	調査書	○学業成績, 就学状況, 課外活動, 特技・資格等を評価する。
	推薦書	○学業, 人物, 課外活動等について, 面接の基礎資料とし, 面接の評価に含む。
	志願理由書	○志願理由・動機, 将来計画及び長所・特技・アピール点等を総合的に評価し, 面接の評価に含む。
帰国	小論文	○理解力, 考察力, 論理的思考力, 記述力, 完結度等を評価する。 ○誤字, 脱字及び指定の字数の過不足は減点の対象となる。
	面接	○意欲, 目的意識, 適性, 表現力等を評価する。
国	成績証明書 (調査書)	○学業成績, 就学状況, 課外活動, 特技・資格等を評価する。
私費	面接	○進学動機, 学習意欲, 日本語能力を総合的に評価する。

2) 国際地域創造学部

国際地域創造学科

一般入試	小論文 (前期日程は論理的思考系のみ)	○理解力, 考察力, 論理的思考力, 記述力, 完結度等を評価する。 ○誤字, 脱字及び指定の字数の過不足は減点の対象となる。
推薦入試Ⅰ	小論文	○考察力や論理的思考力等を評価する。
	面接	○学びに対しての意欲, 目的, 志向性を総合的に評価する。
	調査書 推薦理由書	○学業成績全般についてみる。 ○課外活動, 社会的活動等をみる。
社会人	小論文	○考察力や論理的思考力等を評価する。
	面接	○学びに対しての意欲, 目的, 志向性を総合的に評価する。
	調査書 履歴理由書	○学業成績全般についてみる。 ○課外活動, 社会的活動等をみる。 ○履歴書については, これまでの経歴等を確認するための参考とする。 ○志願理由, 動機, これまでのキャリア及び将来計画等を評価する。
帰国	英語	○読解力, 記述力, 表現力等を評価する。
	面接	○学びに対しての意欲, 目的, 志向性を総合的に評価する。
	成績証明書 (調査書)	○学業成績, 就学状況, 課外活動, 社会的活動等全般についてみる。
私費	面接	○進学動機, 学習意欲, 基礎的な日本語及び英語能力を総合的に評価する。

3) 教育学部

学校教育教員養成課程

一般入試	小学校教育コース	学校教育専攻	小論文 (前期日程)	○小学校教育に対する意欲・関心・適性をみる。 ○理解力, 分析力, 考察力, 論理的な思考力および記述力を評価する。
			面接 (前期日程)	○小学校教育に対する意欲・関心・適性をみる。 ○自分の意見をまとめ, 適切に表現する力をみる。 ○教育や子どもに関する問題について自分なりの視点で分析し, 議論する力をみる。
			調査書 (前期日程)	○「教科全体の評定平均値」を評点化する。(前期日程のみ)
			実技検査 (後期日程)	○課題についての理解力・思考力・表現力を評価する。 ○課題に対応した創造的な表現力を評価する。 ○表現についての説明の説得性を評価する。
	教科教育専攻	教科教育専攻	小論文 (後期日程)	○小学校教育や教科に対する意欲・関心・適性をみる。 ○理解力, 分析力, 考察力, 論理的な思考力および記述力を評価する。
			面接	○小学校教育や教科に対する意欲・関心・適性をみる。 ○個人面接または集団面接により, 思考力・判断力・表現力を評価する。
			調査書	○「教科全体の評定平均値」を評点化する。

一般入試	中学校教育コース	教科教育専攻	国語教育専修	面接	○意欲，目的意識，適性，表現力等を評価する。
			社会科教育専修	小論文	○資料等の読解力・分析力，および設問の趣旨をふまえて論述する構想力・表現力について評価する。
				面接	○目的意識，学習意欲，適性，表現力等を評価する。
			数学教育専修	面接	○数学科教師への意欲・関心・適性をみる。
			理科教育専修	面接	○意欲，目的意識，適性，表現力等を評価する。
			音楽教育専修	実技検査	○正確な音程とリズムで音楽性豊かに演奏できるかをみる。
				筆記試験	○基礎的な楽典，用語，音楽史などの知識・理解をみる。
				面接 (口頭試問を含む)	○大学生生活に対する熱意や目的意識の高さをみる。 ○音楽教育への理解度や学習意欲をみる。 ○面接態度，表現力等をみる。 ○基礎的な理論，楽典，用語，音楽史の知識・理解をみる。
				調査書	○「教科全体の評定平均値」を評点化する。
			美術教育専修	実技検査	○発想力及び造形力を評価する。
				筆記試験	○鑑賞力や知識，造形教育への関心度及び発想力を評価する。
				面接	○受験の動機，学習意欲，表現力及び適性を評価する。
			保健体育専修	実技検査	○「新体力テスト」を実施し，体力・運動能力を評価する。
				面接	○学校教員としての資質や適性を評価する。 ○運動・スポーツの専門家となるための資質や適性を評価する。
				調査書	○「教科全体の評定平均値」を評点化する。
				競技歴書	○専門種目についての競技実績や成績を判断していくための基礎資料とする。高等学校等の長が責任をもって記載した所定の「競技歴調査書」を精査し，面接でも聴取する。なお，競技歴調査書には本人の競技大会・試合への出場や競技成績が客観的に証明できる資料を添付すること。(競技歴調査書の記入上の注意事項を必読のこと。)
			技術教育専修	面接	○技術科教師への意欲をみる。 ○技術に関する基礎的な知識と技術的体験及び技術的思考力をみる。
			生活科学教育専修	面接	○家庭科教師への意欲をみる。 ○家庭総合に関する知識と実践力をみる。
				調査書	○「教科全体の評定平均値」及び特記事項を評点化する。
	英語教育専修	面接	○筆記試験では測れない英語のコミュニケーション能力をみる。		
調査書		○「教科全体の評定平均値」を評点化する。			
特別支援教育コース	特別支援教育専攻	面接	○志望理由，特別支援教育に関する学習及び研究意欲，将来の進路計画，社会貢献への意識などについて評価する。		
		調査書	○調査書は独立しては評点化せず，面接の評点に反映させる。		
		小論文	○特別支援教育に対する意欲・関心・適性をみる。 ○理解力，分析力，考察力，論理的な思考力および記述力を評価する。		

推薦入試Ⅰ	中学校教育コース	教科教育専攻	技術教育専修	口頭試問を含む面接	○技術科教師への意欲をみる。 ○技術に関する基礎的な知識と技術的体験及び技術的思考力をみる。
			技術教育専修	調査書	○理数系科目の評定及び総合評定をみる。 ○取得資格、研究発表等の受賞、課外活動、社会的活動等をみる。
			英語教育専修	面接	○志望理由、動機、将来の進路計画、英語学習や英語教育に関する意欲、興味などについて英語による面接を行う。
			英語教育専修	調査書	○「教科全体の評定平均値」を評点化する。
推薦入試Ⅱ	小学校教育コース	学校教育専攻		面接	○小学校教育に対する意欲・関心・適性をみる。 ○自分の意見をまとめ、適切に表現する力をみる。 ○教育や子どもに関する問題について自分なりの視点で分析し、議論する力をみる。
				小論文	○小学校教育に対する意欲・関心・適性をみる。 ○理解力、分析力、考察力、論理的な思考力および記述力を評価する。
				調査書	○「教科全体の評定平均値」を評点化する。
		教科教育専攻	国語教育専修	口頭試問を含む面接	○現代文・古文・漢文の著名かつ基礎的な作品（の一部）を提示し、読解力や思考力をみる。 ○意欲、目的意識、適性、表現力等をみる。
				小論文	○国語教育や言語の問題等に関するまとまった分量の文章を読んだうえで、その内容を正確に把握していることを前提に、しっかりとした根拠に基づいて自らの意見を的確に論述・表現できる能力を求める。
				調査書	○面接の参考資料とする。
			社会科教育専修	面接	○小学校教員として適性、意欲、目的意識、論理的思考力、表現力等を評価する。
				小論文	○資料等の読解力・分析力、および設問の趣旨をふまえて論述する構想力・表現力について評価する。
				調査書	○面接の参考資料とする。
			数学教育専修	口頭試問を含む面接	○小学校教師としての適性、及び数学についての理解の程度と論理的思考力について評価する。
			理科教育専修	口頭試問を含む面接	○意欲、目的意識、適性、表現力等を評価する。 ○口頭試問は、自然科学についての理解の程度及び論理的思考力について評価する。
				調査書	○学業成績、就学状況、課外活動、特技等を総合的に評価する。
		音楽教育専修	実技検査	○正確な音程とリズムで音楽性豊かに演奏できるかをみる。	
			口頭試問を含む面接	○大学生活に対する熱意や目的意識の高さをみる。 ○音楽教育への理解度や学習意欲をみる。 ○面接態度、表現力等をみる。 ○基礎的な理論、楽典、用語、音楽史の知識・理解をみる。	
			小論文	○出題の意図を把握し、問題の解決のための分析力や意見、主張に論理性があり説得力があるかをみる。	
			調査書	○「教科全体の評定平均値」を評点化する。	
美術教育専修	面接	○受験の動機、学習意欲、表現力及び適性を評価する。			
	小論文	○発想力や鑑賞力、造形教育への関心度を評価する。			

推薦入試Ⅱ	小学校教育コース	教科教育専攻	保健体育専修	面接	○小学校の教員としての資質や適性を評価する。 ○運動・スポーツの専門家となるための資質や適性を評価する。 ○専門種目についての理解と競技実績・成績（出願書類の競技歴調査書）を評価する。	
				調査書	○学業成績：「教科全体の評定平均値」を評点化する。 ○特記事項：部活動，学級・生徒会活動，特技や表彰・受賞等について評点化する。	
				競技歴調査書	○専門種目についての競技実績や成績を判断していくための基礎資料とする。高等学校等の長が責任をもって記載した所定の「競技歴調査書」を精査し，面接でも聴取する。なお，競技歴調査書には本人の競技大会・試合への出場や競技成績が客観的に証明できる資料を添付すること。（競技歴調査書の記入上の注意事項を必読のこと。）	
			技術教育専修	口頭試問を含む面接	○学校教員への意欲をみる。 ○ものづくりに関する基礎的な知識とものづくり体験及び技術的思考力をみる。	
				調査書	○「教科全体の評定平均値」を評点化する。	
			生活科学教育専修	面接	○教師への意欲をみる。 ○家庭総合に関する知識と実践力をみる。	
		調査書		○「教科全体の評定平均値」及び特記事項を評点化する。		
		英語教育専修	面接	○志望理由，動機，将来の進路計画，英語学習や英語教育に関する意欲，興味などについて面接を行う。面接は一部英語で行う。		
			調査書	○「教科全体の評定平均値」を評点化する。		
		特別支援教育コース	特別支援教育専修	面接	○志望理由，特別支援教育に関する学習及び研究意欲，将来の進路計画，社会貢献への意識などについて評価する。	
	調査書			○調査書は独立しては評点化せず，面接の評点に反映させる。		
	帰国	中学校教育コース	教科教育専攻	美術教育専修	実技検査	○発想力及び造形力を評価する。
					筆記試験	○鑑賞力や知識，造形教育への関心度及び発想力を評価する。
					面接	○受験の動機，学習意欲及び基礎的な会話能力を評価する。
小論文					○美術・美術教育への関心度，創造性及び基礎的な文章表現能力を評価する。	
私費	中学校教育コース	教科教育専攻	美術教育専修	実技検査	○発想力及び造形力を評価する。	
				筆記試験	○鑑賞力や知識，造形教育への関心度及び発想力を評価する。	
				面接	○受験の動機，学習意欲及び基礎的な会話能力を評価する。	
			技術教育専修	面接	○技術に関する基礎的な知識と技術的体験及び技術的思考力をみる。 ○基礎的な会話能力をみる。	

4) 理学部

ア) 数理科学科

私 費	面接	○数学の基礎学力と学習意欲を総合的に評価する。
-----	----	-------------------------

イ) 物質地球科学科

一般入試	地学系	小論文 (後期日程)	○自然科学についての思考力, 独創性, 発想力及び表現力などを総合的に判断, 評価する。
推薦Ⅱ	物理系	面接	○動機, 意欲, 長所, 将来計画, 物理学の基礎学力 (数学の基礎学力も含む), 適性等を総合的に評価する。その際に, 調査書 (* 下記の記述を参照), 推薦書, 志願理由書の記載内容も含めて評価する。
		* 調査書	○学業成績, 就学状況, 課外活動, 特技, 資格等を総合的に評価する。
帰 国	物理系	小論文	○自然科学についての思考力, 独創性, 発想力及び表現力等を総合的に判断, 評価する。
		面接	○志願理由, 学習への意欲, 適性, 物理学の基礎学力 (数学の基礎学力も含む) 等を総合的に評価する。
		成績証明書 (調査書)	○学業成績, 就学状況, 課外活動, 特技, 資格等を総合的に評価する。
	地学系	小論文	○自然科学についての思考力, 独創力, 発想力及び表現力等を総合的に判断, 評価する。
		面接	○志望理由, 学習への意欲, 適性等などを総合的に評価する。
		成績証明書 (調査書)	○学業成績, 就学状況, 課外活動, 特技・資格等を総合的に評価する。
私 費	物理系	面接	○志願理由, 学習への意欲, 適性, 物理学の基礎学力 (数学の基礎学力も含む) 等を総合的に評価する。
	地学系	面接	○志望理由, 学習への意欲, 適性等を総合的に評価する。

ウ) 海洋自然科学科

一般入試	生物系	小論文 (後期日程)	○設問に関する理解力, 考察力, 発想力及び表現力などを総合的に評価する。
推薦Ⅱ	化学系	面接	○意欲 [動機, 長所, 将来計画等。ただし, 調査書 (* 下記の記述を参照), 推薦書, 志願理由書の記載内容も含める。], 化学の基礎学力, 適性等を総合的に評価する。
		* 調査書	○主に化学 (あるいは科学全般) に関する活動および特記事項を評価する。
	生物系	面接	○生物学に対する関心と基礎知識, 学習意欲, 動機, 適性等を総合的に評価する。その際に, 調査書, 推薦書, 志願理由書の記載内容も含めて評価する。
		調査書	○生物学に関する活動や資格, 特記事項等を評価する。
		志願理由書	○生物学に関する関心の程度や, 学習意欲, 文章力や論理性などを総合的に評価する。

帰 国	化学系	小 論 文	○化学の基礎及びトピックス的内容からいくつかの設問を出題し、その設問に対する解答内容を点数化し、評価する。
		面 接	○意欲（動機、長所、将来計画）、化学の基礎学力、海外生活経験、適性等を総合的に評価する。
		成績証明書 (調査書)	○学業成績ならびに主に化学（あるいは科学全般）に関する活動及び特記事項を評価する。
	生物系	小 論 文	○設問に関する理解力、考察力、発想力及び表現力などを総合的に評価する。
		面 接	○生物学に対する関心と基礎知識、学習意欲、動機、適性等を総合的に評価する。
成績証明書 (調査書)	○学業成績及び生物学に関する特記事項等を評価する。		
私 費	化学系	面 接	○意欲（動機、興味のある化学の分野、大学で学びたいこと、将来計画、進路）および化学の基礎学力（日本留学試験の化学の出題範囲）を点数化し、評価する。
	生物系	面 接	○生物学に対する関心と基礎知識、学習意欲、動機、適性等を総合的に評価する。

5) 医学部

ア) 医学科

一般入試	小 論 文 (後期日程)	○思考力、独創性、発想力、表現力等を総合的に評価する。
	面 接	○適性、意欲、表現力等を総合的に評価する。
	調 査 書	○面接等の参考にする。
	志願理由書	○面接等の参考にする。
推 薦 入 試 II	小 論 文	○思考力、独創性、発想力、表現力等を総合的に評価する。
	面 接	○適性、意欲、表現力等を総合的に評価する。

イ) 保健学科

一般入試	小 論 文 (後期日程)	○課題に対する理解力及び文章表現力（論理性、独創性、表現力等）を総合的に評価する。
	面 接	○動機、意欲、適性、表現力等を総合的に評価する。
	調 査 書	○面接等の参考にする。
	志願理由書	○面接等の参考にする。
推 薦 入 試 II	面 接	○動機、意欲、適性、表現力等を総合的に評価する。
	調 査 書	○学力、リーダーシップ、課外活動、表彰等を総合的に評価する。
帰 国	小 論 文	○課題に対する理解力及び文章表現力（論理性、独創性、表現力等）を総合的に評価する。
	面 接	○動機、意欲、適性、表現力等を総合的に評価する。
	成績証明書 (調査書)	○面接等の参考にする。
私 費	面 接	○動機、意欲、適性、表現力等を総合的に評価する。

6) 工学部

工学科

A○入試	志願理由書	○目的意識, 論理性, 計画性などを評価し, 点数化する。
	自己推薦書	○学業に関わる活動の状況, その他の活動の状況などを評価し, 点数化する。
	活動内容資料	○自己推薦書を点数化するための資料とする。
	調査書	○評定平均値を点数化する。
	1次面接	○志願理由・動機, 将来計画及び長所・特技・自己アピールなどの質疑をとおして, 意欲や個性などを評価し, 点数化する。 ○数学, 物理の基礎学力を評価する口頭試問を行い, 点数化する。
	2次面接	○プレゼンテーション(質疑応答含む)をとおして総合的な能力を評価し, 点数化する。
推薦入試Ⅱ	面接	○志願理由・動機, 将来計画及び長所・特技・自己アピールなどの質疑をとおして, 意欲や個性などを評価し, 点数化する。
	志願理由書	○志願理由書(志望動機, 将来計画, 長所・特技, 自己アピール等)を総合的に評価し, 点数化する。
	調査書	○評定平均値を点数化する。
	推薦書	○学校等の長の推薦書(学業, 人物, 課外活動等)を評価し, 点数化する。
社会人	面接(口頭試問を含む)	○志願理由・動機, 将来計画及び長所・特技・自己アピールなどの質疑をとおして, 意欲や個性などを評価し, 点数化する。 ○数学, 物理の基礎学力を評価する口頭試問を行い, 点数化する。
	志願理由書	○志願理由書(志望動機, 将来計画, 長所・特技, 免許類, 自己アピール等)を総合的に評価し, 点数化する。
私費	面接(口頭試問を含む)	○志望理由・動機, 将来計画及び長所・特技・自己アピールなどの質疑をとおして, 意欲や個性などを評価し, 点数化する。 ○数学, 物理の基礎学力を評価する口頭試問を行い, 点数化する。

7) 農学部

ア) 亜熱帯地域農学科, 亜熱帯農林環境科学科, 地域農業工学科,
 亜熱帯資源科学科 (健康栄養科学コースを含む)

推薦入試 I	小論文	○設問に合わせた文章の構成力, 理解力, 論理的表現力を総合的に評価し, 点数化する。
	面接	○志願理由・農学分野における学習意欲, 長所, 特技等に関する自己アピールなどの質疑をとおして, 意欲や個性などを評価し, これらを総合的に点数化する。
	調査書	○評定平均値を10倍し, 点数化する。
	志願理由書	○進学のための目的, 将来の計画及び長所・特技等・アピールなどを総合的に評価し点数化する。

イ) 亜熱帯地域農学科, 亜熱帯農林環境科学科, 地域農業工学科,
 亜熱帯資源科学科 (健康栄養科学コースを除く)

推薦入試 I (英語重視)	面接	○志願理由, 農学分野に対する学習意欲, 長所, 特技等に関する自己アピールなどの質疑をとおして, 意欲や個性および英語によるコミュニケーション能力などを総合的に点数化する。
	調査書	○評定平均値を10倍し, 点数化する。
	志願理由書	○進学のための目的, 将来の計画及び長所・特技等・アピールなどを総合的に評価し点数化する。
帰国	小論文	○設問に合わせた文章の構成力, 理解力, 論理的表現力などを総合的に評価し, 点数化する。
	面接	○志願理由, 農学分野に対する学習意欲, 長所・特技等に関する自己アピールなどの質疑応答をとおして, 意欲や個性などを評価し, これらを総合的に点数化する。
	成績証明書 (調査書)	○面接の際の参考にする。
私費	面接	○志願理由, 農学分野に対する学習意欲, 長所・特技等に関する自己アピールなどの質疑応答をとおして, 意欲や個性および日本語能力を評価する。

(2) 合否判定基準

① 全学部の基本的な基準

一般入試

- 大学入試センター試験の成績と個別学力検査等の成績の総合得点により、上位から順次合格者とする。
- 大学入試センター試験及び個別学力検査等（実技検査、小論文、面接等を含む）のいずれか1科目でも欠席又は0点の者については、不合格とする。

A O入試

- 個別学力検査等の成績の総合得点により、上位から順次合格者とする。
- 個別学力検査等（実技検査、小論文、面接等を含む）のいずれか1科目でも欠席又は0点の者については、不合格とする。

推薦入試 I

- 個別学力検査等の成績の総合得点により、上位から順次合格者とする。
- 個別学力検査等（実技検査、小論文、面接等を含む）のいずれか1科目でも欠席又は0点の者については、不合格とする。

推薦入試 II

- 大学入試センター試験の成績と個別学力検査等の成績等、「学生募集要項」に記載された配点に基づく総合得点により、上位から順次合格者とする。（ただし、人文社会学部の間社会学科、教育学部の学校教育教員養成課程小学校教育コース学校教育専攻、小学校教育コース教科教育専攻（国語教育専修・社会科教育専修・音楽教育専修・保健体育専修・英語教育専修）を除く）
- 大学入試センター試験及び個別学力検査等のいずれか1科目（実技検査、小論文、面接等を含む）でも欠席又は0点の者については、不合格とする。

社会人

- 個別学力検査等の成績の総合得点により、上位から順次合格者とする。
- 個別学力検査等（実技検査、小論文、面接等を含む）のいずれか1科目でも欠席又は0点の者については、不合格とする。

帰国

- 個別学力検査等の成績の総合得点により、上位から順次合格者とする。
- 個別学力検査等（実技検査、小論文、面接等を含む）のいずれか1科目でも欠席又は0点の者については、不合格とする。

私費

- 日本留学試験及び個別学力検査等の成績の総合得点により、上位から順次合格者とする。
- 日本留学試験及び個別学力検査等（実技検査、小論文、面接等を含む）のいずれか1科目でも欠席又は0点の者については、不合格とする。

② 学部ごとの基準

1) 人文社会学部

ア) 国際法政学科

一般入試	○総合得点が同点の場合は、次の順序に従って順位付けを行う。 1. 大学入試センター試験の得点上位者 2. 上記が同点の場合は同順位とし、その順位が合格者の最下位である場合は、全員合格とする。
推薦入試Ⅱ	○大学入試センター試験の成績、小論文、面接及び出願書類を総合的に判定する。
帰国	○小論文、面接及び出願書類を総合的に判定する。
私費	○日本留学試験、および面接を総合的に判定する。

イ) 人間社会学科

一般入試	○総合得点が同点の場合は、次の順序に従って順位付けを行う。 1. 大学入試センター試験の得点上位者 2. 上記が同点の場合は同順位とし、その順位が合格者の最下位である場合は、全員合格とする。
推薦入試Ⅱ	○大学入試センター試験の成績、小論文、面接及び出願書類を総合的に判定する。 ○大学入試センター試験の合計点が50%に満たない場合は不合格とする。
帰国	○小論文、面接及び出願書類を総合的に判定する。
私費	○日本留学試験、および面接を総合的に判定する。

ウ) 琉球アジア文化学科

一般入試	○総合得点が同点の場合は、次の順序に従って順位付けを行う。 1. 大学入試センター試験の得点上位者 2. 上記が同点の場合は同順位とし、その順位が合格者の最下位である場合は、全員合格とする。
推薦入試Ⅱ	○大学入試センター試験の成績、小論文、面接及び出願書類を総合的に判定する。
帰国	○小論文、面接及び出願書類を総合的に判定する。
私費	○日本留学試験、および面接を総合的に判定する。

2) 国際地域創造学部

国際地域創造学科

一般入試	○同点者の順位決定は、大学入試センター試験の外国語の得点で判定する。
推薦入試Ⅰ	○小論文、面接及び提出書類（調査書等）と合わせて総合的に判定する。
社会人 (夜間主のみ)	○小論文、面接及び提出書類と合わせて総合的に判定する。
帰国 (昼間主のみ)	○英語、面接及び提出書類（成績証明書等）と合わせて総合的に判定する。
私費 (昼間主のみ)	○日本留学試験、面接の総合評価により判定する。

3) 教育学部

学校教育教員養成課程

一般入試	学 部 共 通			○同点者は同順位とし、その順位が合格者の最下位である場合は、その順位の者をすべて合格者とする。	
推薦入試Ⅰ	育 中 コ 学 ー 校 校 ス 教	専 教 科 科 教 教 攻 育	技術教育専修	○面接（口頭試問を含む）及び出願書類を総合的に判断する。	
			(英語重視) 英語教育専修	○面接（英語で行う）及び出願書類を総合的に判断する。	
推薦入試Ⅱ	学 部 共 通			○大学入試センター試験の成績、個別学力試験等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考する。	
	小 学 校 教 育 コ ー ス	学 校 教 育 専 攻		○小論文と面接の成績を中心に、出願書類を総合して判定する。大学入試センター試験は資格審査として用いるので、配点には影響しない。	
		教 科 教 育 専 攻	国語教育専修		○小論文と面接（口頭試問を含む）の成績を中心に、出願書類を総合して判定する。大学入試センター試験は資格審査として用いるので、配点には影響しない。
			社会科教育専修		○小論文と面接の成績を中心に、出願書類を総合して判定する。大学入試センター試験は資格審査として用いるので、配点には影響しない。
			数学教育専修		○大学入試センター試験と面接（口頭試問を含む）の総合評価により判定する。
			理科教育専修		○大学入試センター試験、面接（口頭試問を含む）及び出願書類の総合評価により判定する。
			音楽教育専修		○大学入試センター試験、実技検査、小論文、面接（口頭試問を含む）及び出願書類を総合的に判断する。 ○大学入試センター試験の成績配点合計の50%に満たない場合は不合格とする。
			美術教育専修		○大学入試センター試験、小論文、面接の総合評価により判定する。
			保健体育専修		○大学入試センター試験の合計点に1/2を乗じた値をセンター試験の得点とする。 ○面接を中心に、大学入試センター試験、調査書、推薦書、志願理由書及び競技歴調査書を総合して選考する。 ○大学入試センター試験の成績が配点合計の55%に満たない場合は不合格とする。
			技術教育専修		○大学入試センター試験と面接（口頭試問を含む）及び出願書類を総合評価により判定する。
			生活科学教育専修		○大学入試センター試験と面接（口頭試問を含む）の成績を中心に、出願書類を総合して判定する。
			英語教育専修		○大学入試センター試験、面接（口頭試問を含む、一部英語で行う）及び出願書類を総合的に判定する。
教育特別支援コース	専 特別 科 教育 攻 教育	特別教育専修	○大学入試センター試験と面接及び調査書の総合評価により判定する。		
帰国	学 部 共 通			○募集要項の選抜方法により、専門的能力及び日本語能力等について総合的に判定する。	
私費	教 育 コ ー ス 中 学 校	専 教 科 科 教 教 攻 育	美術教育専修	○日本留学試験、実技検査・筆記試験、面接の総合評価により判定する。	
			技術教育専修	○日本留学試験、面接の総合評価により判定する。	

4) 理学部

ア) 数理科学科

一般入試	○同点者の順位決定は、個別学力検査の数学の得点、次に大学入試センター試験の数学の得点で判定する。
私 費	○日本留学試験及び面接の成績等を総合して判定する。

イ) 物質地球科学科

一般入試	物 理 系	前期日程	○同点者の順位決定は、換算前の個別学力検査の物理の得点、次に換算前の大学入試センター試験の理科の得点で判定する。
		後期日程	○同点者の順位決定は、大学入試センター試験の理科の得点で判定する。
	地 学 系	前期日程	○同点者の順位決定は、大学入試センター試験及び個別学力検査の理科の合計点で判定する。
		後期日程	○同点者の順位決定は、大学入試センター試験の理科の合計点で判定する。
推薦入試Ⅱ	物 理 系	○大学入試センター試験及び面接の総合点により判定する。	
帰 国	物 理 系	○小論文、面接、成績証明書（調査書）の評価に基づいて総合的に判定する。	
	地 学 系	○小論文・面接等の評価に基づいて総合的に判定する。	
私 費	物 理 系	○日本留学試験及び面接の成績を総合して判定する。	
	地 学 系	○総合点で判定する。	

ウ) 海洋自然科学科

一般入試	化 学 系	前期日程	○同点者の順位決定は、大学入試センター試験の理科の合計点で判定する。
		後期日程	○同点者の順位決定は、大学入試センター試験の理科の合計点で判定する。
	生 物 系	前期日程	○同点者の順位決定は、大学入試センター試験の理科の合計点で判定する。
		後期日程	○大学入試センター試験の成績、小論文を総合的に判定する。 ○同点者の順位決定は、大学入試センター試験の理科の合計点で判定する。
推薦入試Ⅱ	化 学 系	○大学入試センター試験及び面接の総合点により判定する。	
	生 物 系	○大学入試センター試験、面接、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考する。	
帰 国	化 学 系	○総合点で判定する。	
	生 物 系	○成績証明書（調査書）・小論文及び面接の成績等を総合して選考する。	
私 費	化 学 系	○総合点で判定する。	
	生 物 系	○日本留学試験及び面接の成績等を総合して選考する。	

5) 医学部

ア) 医学科

一般入試	○合格ラインに同点者がいる場合には、次の順序に従って順位を付して合格者とする。 ①面接の高得点者 ②小論文の高得点者 ③大学入試センター試験の外国語の高得点者 ④大学入試センター試験の数学の高得点者 ⑤大学入試センター試験の理科の高得点者
推薦入試Ⅱ	○合格ラインに同点者がいる場合には、次の順序に従って順位を付して合格者とする。 ①面接の高得点者 ②小論文の高得点者 ③大学入試センター試験の外国語の高得点者 ④大学入試センター試験の数学の高得点者 ⑤大学入試センター試験の理科の高得点者

イ) 保健学科

一般入試	○合格ライン上に同点者がいる場合は、次の順序に従って合格者を決める。 ①個別学力検査等の高得点者 ②大学入試センター試験の英語の高得点者
推薦入試Ⅱ	○大学入試センター試験 550点, 調査書 300点, 面接 250点の配点とし, 総合点 1100点満点で上位者から合格者とする。
帰国	○小論文, 面接等の評価に基づいて総合的に判定する。
私費	○日本留学試験, 面接の評価に基づいて総合的に判定する。

6) 工学部

工学科

一般入試	○総合得点が同点の場合は, 大学入試センター試験の得点に基づき順位付けを行う。その結果, 同点の場合は全員同順位とし, その順位が合格者の最下位である場合は, 全員合格とする。
A O 入試	○第1次選考では, 志願理由書, 自己推薦書, 調査書を点数化し, 総合得点で順位付けを行い, 合否を判定する。 ○第2次選考では, 1次面接(口頭試問を含む)・2次面接の点数と第1次選考の点数を加えた合計点で順位付けを行い, 合否を判定する。
推薦入試Ⅱ	○大学入試センター試験, 調査書, 推薦書, 志願理由書, 面接を点数化し, 総合得点で順位付けを行い, 合否を判定する。
社会人	○面接(口頭試問を含む), 志願理由書を点数化し, 総合得点で順位付けを行い, 合否を判定する。
私費	○日本留学試験, 面接(口頭試問を含む)を点数化し, 総合得点で順位付けを行い, 合否を判定する。

7) 農学部

ア) 亜熱帯地域農学科, 亜熱帯農林環境科学科, 地域農業工学科, 亜熱帯生物資源科学科 (健康栄養科学コースを含む)

一般入試 (前期日程)	○総合得点が同点の場合は、次の順序に従って順位付けを行う。 1. 大学入試センター試験の得点上位者 2. 調査書 (全体の評定平均値) の得点上位者
推薦入試 I	○小論文150点, 面接150点, 調査書50点, 志願理由書50点の配点とし, 総合得点(400点)の順位で判定する。

イ) 亜熱帯地域農学科, 亜熱帯農林環境科学科, 地域農業工学科, 亜熱帯生物資源科学科 (健康栄養科学コースを除く)

一般入試 (後期日程)	○総合得点が同点の場合は、次の順序に従って順位付けを行う。 1. 大学入試センター試験の理科の得点上位者 2. 調査書 (全体の評定平均値) の得点上位者
推薦入試 I (英語重視)	○面接300点, 調査書50点, 志願理由書50点の配点とし, 総合得点(400点)の順位で判定する。
帰国	○小論文, 面接を点数化し, 総合得点により判定する。
私費	○日本留学試験, 面接の評価に基づいて総合的に判定する。

(3) 入学試験問題及び解答例又は出題意図等

本学個別学力検査等の試験問題については、当該試験終了後、報道機関に提供します。

また、著作権法に抵触しない試験問題等については、平成31年5月に本学公式ホームページ (<http://www.u-ryukyu.ac.jp> → [入試情報]) に掲載します。

(4) 合格者の成績 (合格者の最高点, 最低点, 平均点)

合格者の成績 (大学入試センター試験と個別学力検査の総合点の最高点, 最低点, 平均点) を平成31年5月に本学ホームページ (<http://www.u-ryukyu.ac.jp> → [入試情報]) に掲載します。

ただし、合格者が少人数の学科等については、公表しない場合があります。

(5) 試験成績開示

平成31年度一般入試受験者の個人成績は、インターネット出願時に希望選択した受験者本人に開示します。詳細については、一般入試学生募集要項 (平成30年12月上旬発表予定) に掲載します。

(6) 調査書開示

平成31年度一般入試受験者の調査書を、受験者本人に開示します。詳細については、一般入試学生募集要項 (平成30年12月上旬発表予定) に掲載します。

2.3. 学生募集要項等の発表時期等について

(1) 学生募集要項等の発表時期

出願手続、出願書類、個別学力検査等の実施日時及び試験場等を記載した「学生募集要項」等を以下のとおり発表する予定です。


※学生募集要項は本学入試課ホームページで発表します。今年度入試から、冊子としての発行はありませんので、ご注意ください。

学生募集要項等	発表時期
AO入試（アドミッション・オフィス入試）学生募集要項	平成30年 6月中旬
琉球大学案内	平成30年 7月中旬
一般入試学生募集要項	平成30年12月上旬
推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない）学生募集要項	平成30年 9月中旬
推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す）学生募集要項	
社会人特別入試学生募集要項	
帰国子女特別入試学生募集要項	
私費外国人留学生入試学生募集要項	

(2) 「大学案内」の請求方法


～《テレメール》での請求（郵便配達を利用する場合）～

① 本学のホームページから請求する場合

本学ホームページからテレメールを利用して大学案内及び募集要項等の資料が請求できます。詳しくは、本学ホームページ（<http://www.u-ryukyu.ac.jp> → [入試情報]）をご覧ください。

② インターネット（パソコン・スマートフォン・携帯電話）または自動音声応答電話で請求する場合

1) 下記のいずれかの方法でテレメールにアクセスしてください。

インターネット (パソコン・スマートフォン・携帯電話)	http://telemail.jp パソコン・携帯電話とも共通アドレス	携帯電話でバーコードを読み取り、アクセスした場合は資料請求番号の入力は不要です。 
自動音声応答電話	IP電話 050-8601-0101 ※IP電話への通話料金は、一般電話回線からは日本全国どこからでも3分毎に約12円です。	

2) 請求を希望する資料請求番号（6桁）をプッシュまたは入力してください。

資料名	資料請求番号	発送開始予定
琉球大学案内	568292	平成30年7月下旬

3) 音声ガイダンスに従って登録してください。

③ テレメールでの請求方法に関する注意事項

○発送開始日以前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日になりましたら一斉に発送されます。その際は、発送開始日の翌日から3日程で資料が届きます。

○発送開始日以降に請求された資料は請求してから2～3日程で届きます。ただし、受付日時や地域、配達事情によっては、4日以上かかる場合もあります（お届けまでの日数は請求日の翌日を起算日とします）。なお、5日以上経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターへお問い合わせください。

《IP電話 050-8601-0102（9：30～18：00）》

○送料はお届けする資料に同封されている支払方法に従い、表示料金をお支払いください。支払方法は「郵便局・ゆうちょ銀行での払込み」「コンビニ支払い」「ケータイ払い（携帯電話通話料金と一緒にのお支払い）」がご利用になれます。なお、支払いに際して手数料が別途必要になります（手数料は支払い方法によって異なります）。送料は資料の重量変更により変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

○自動音声応答電話によるご請求の場合、住所・名前の録音時は、ゆっくりはっきりとお話してください。録音された音声の不鮮明な場合は、電話で住所・名前を確認することがありますので、電話番号は必ずご登録ください。

○請求時期によっては資料がなくなり、早期終了する場合がありますのであらかじめご了承ください。

テレメールでの請求方法についてのお問い合わせ先：

テレメールカスタマーセンター IP電話 050-8601-0102（9：30～18：00）

～《モバっちょ》での請求（宅配を利用する場合）～

① 本学のホームページから請求する場合

本学ホームページからモバっちょを利用して大学案内及び募集要項等の資料が請求できます。詳しくは、本学ホームページ（<http://www.u-ryukyu.ac.jp> → [入試情報]）をご覧ください。

② インターネット（パソコン・スマートフォン・携帯電話）で請求する場合

<http://djcm-b.jp/u-ryukyu3/>

パソコン・スマートフォン・携帯電話とも共通アドレス



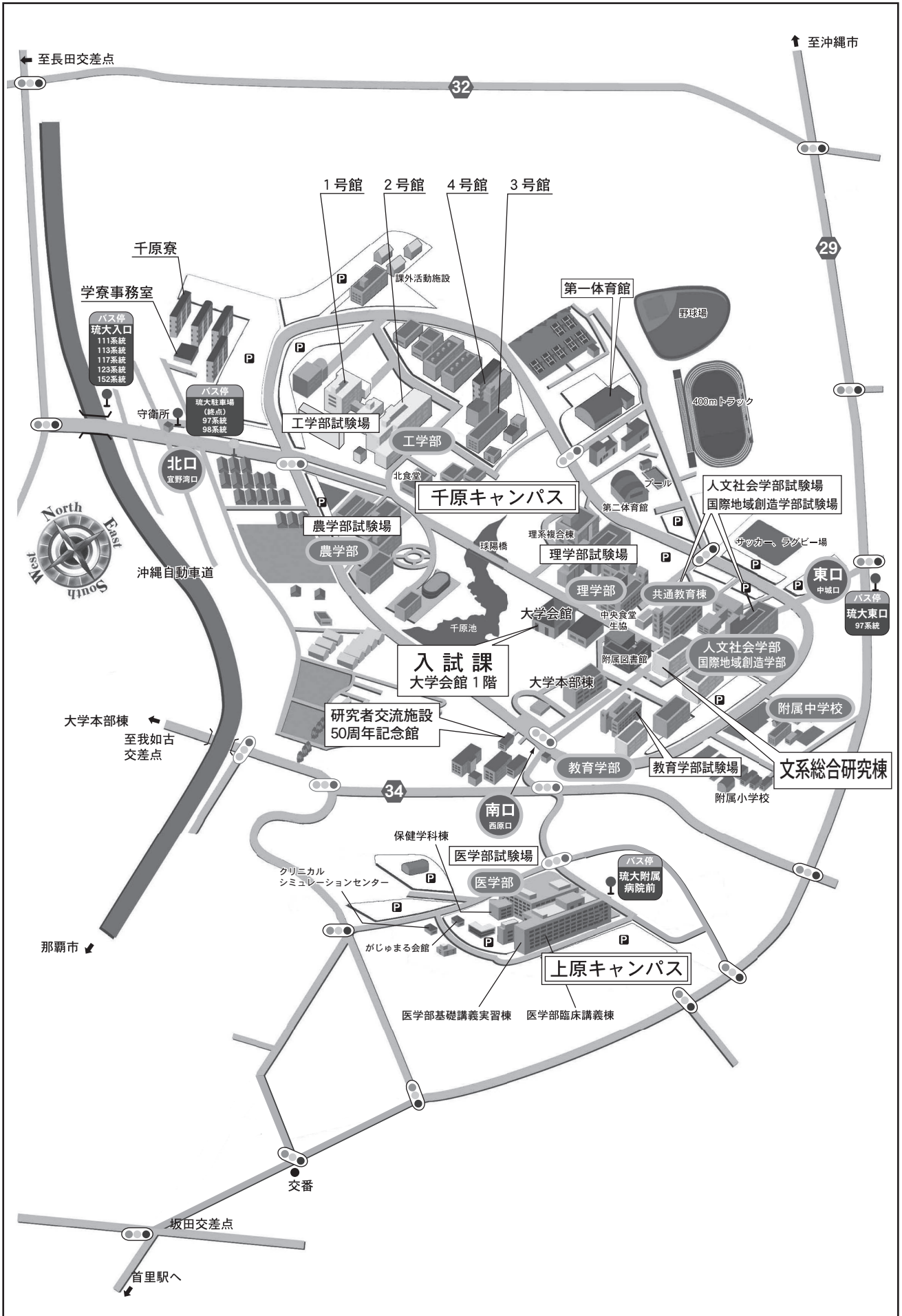
※携帯電話の機種等によっては、利用できない場合があります。

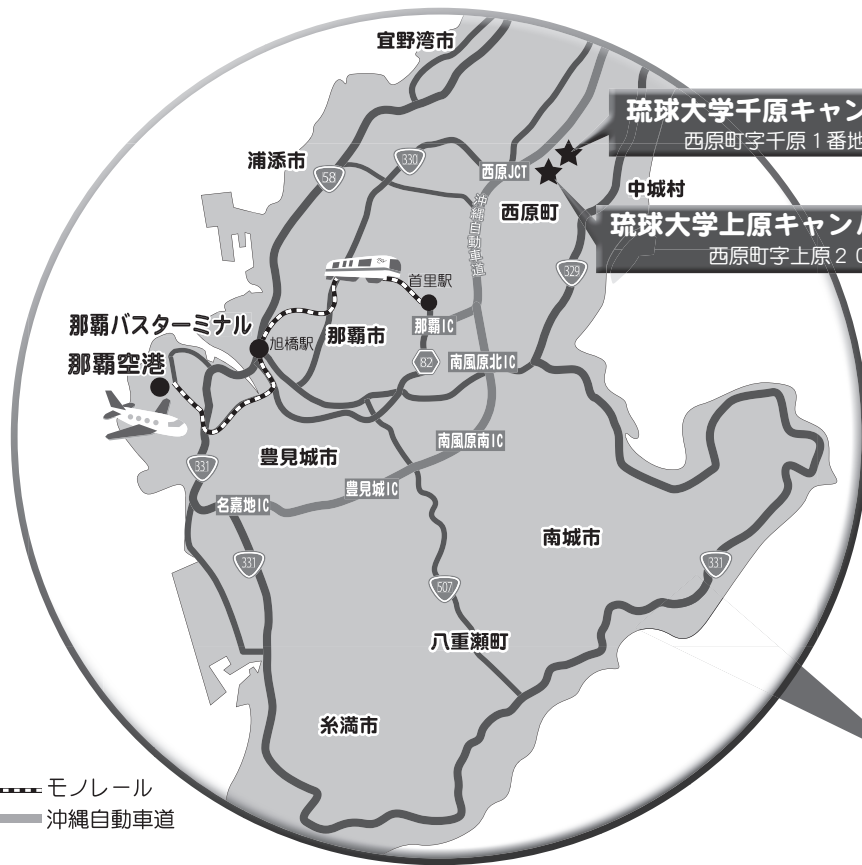
※支払い方法は、携帯電話の場合は通話料金と一緒にのお支払い、パソコンの場合はクレジットカード決済のみとなります。

モバっちょでの請求方法についてのお問い合わせ先：

モバっちょカスタマーセンター 050-3540-5005（平日10：00～18：00）

○琉球大学案内図





沖縄県
県庁所在地：那覇市

--- モノレール
— 沖縄自動車道

琉球大学千原キャンパス
西原町字千原1番地

琉球大学上原キャンパス (医学部)
西原町字上原207番地

学部	試験場	最寄りのバス停	交通機関
人文社会学部 国際地域創造学部	文系講義棟 共通教育棟	琉大東口 琉大 駐車場	那覇バスターミナル発 ▶ 琉大(首里)線「97番」琉大東口又は琉大駐車場(終点)で下車 ▶ 琉大(バイパス)線「98番」琉大駐車場(終点)で下車 那覇空港発 ▶ 高速バス「111番・113番・117番・123番・152番」琉大入口で下車 ▶ やんばる急行バス琉大入口で下車(101便(通過便)を除く) ▶ 沖縄都市モノレール(ゆいレール)首里駅で下車、タクシー利用または首里駅琉大快速線「94番」(琉大敷地内下車) ▶ 沖縄都市モノレール(ゆいレール)儀保駅で下車、琉大(首里)線「97番」琉大東口又は琉大駐車場(終点)で下車
教育学部	教育学部棟、附属中学校、本学第一体育館(保健体育専修)		
理学部	理学部棟(理系複合棟を含む)		
工学部 農学部	工学部棟(1号館~4号館) 農学部棟		
医学部	医学部基礎講義実習棟 医学部臨床講義棟 医学部保健学科棟 医学部臨床研究棟 がじゅまる会館 クリニックシミュレーションセンター	琉大附属病院前	那覇バスターミナル発 ▶ 琉大(首里)線「97番」、琉大附属病院前で下車 那覇空港発 ▶ 沖縄都市モノレール(ゆいレール)首里駅で下車、タクシー利用 ▶ 沖縄都市モノレール(ゆいレール)儀保駅で下車、路線バス「97番」琉大附属病院前で下車

那覇空港 ▶ 琉球大学

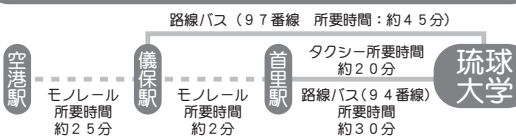
高速バス 1時間に1本程度/所要時間: 35~45分

- 111 番線 琉球バス・沖縄バス・那覇バス・東陽バスの4社が交互運行
- 113 117 123 152 番線 琉球バス

経路 空港→沖縄自動車道→琉大入口下車(琉大入口にて下車、琉大北口まで徒歩約4分)

その他、やんばる急行バスも運行しています。

モノレール



那覇空港 ▶ 那覇バスターミナル

路線バス 各50~60分に1本程度/所要時間: 10~20分

- 99 120 113 番線 琉球バス
- 120 番線 沖縄バス
- 25 番線 那覇バス

モノレール 各6~12分に1本程度/所要時間: 11分

旭橋駅下車

那覇バスターミナル ▶ 琉球大学

路線バス 各20~40分に1本程度/所要時間: 40~50分

- 琉大東口北口方面 97 番線 那覇バス
経路 バスターミナル→国際通り(牧志)→儀保(首里)→琉大附属病院→琉大東口→琉大駐車場(終点)
- 琉大北口方面 98 番線 琉球バス
経路 バスターミナル→国際通り(牧志)→バイパス→真栄原→沖国大前→琉大駐車場(終点)

発行

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
 国立大学法人 琉球大学入試課
 電話 (098) 895-8141, 8142

琉球大学ホームページ (<http://www.u-ryukyu.ac.jp/>)
 ※落丁・乱丁等がありましたらご連絡ください。